

# 八尾市こころの健康に関する市民意識調査 調査結果報告書

令和 5 年 11 月

八尾市

# 目次

I 調査概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
II 回答者の属性.....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 家族構成.....	3
(4) 職業.....	3
(5) 精神的健康状態.....	4
III 調査結果.....	5
1 ころの健康について.....	5
(1) ころの健康への関心度.....	5
(2) 最近2週間の精神状態.....	6
(3) 実施しているストレス解消法.....	12
(4) 「自分の居場所(ころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか.....	19
(5) ソーシャルキャピタル.....	20
2 日常の悩みやストレスについて.....	29
(1) 悩みやストレスの有無.....	29
(2) 悩みやストレスの内容.....	30
(3) 悩みやストレスの相談状況.....	33
(4) 悩みやストレスの相談相手.....	34
(5) インターネットの使用状況.....	37
(6) インターネットを介したコミュニケーションの頻度.....	38
(7) インターネットを介した悩みの相談状況.....	39
(8) ソーシャルサポート.....	40
(9) 新型コロナウイルス感染症流行による影響.....	46
3 自殺について.....	55
(1) 自殺に関する認識.....	55
4 相談することについて.....	65
(1) 自殺を考えたことがあるか.....	65
(2) 自殺を考えたときに相談をしたか.....	66
(3) 自殺を考えたときにだれに相談したか.....	67
(4) 自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか.....	69
(5) 八尾市保健所の相談窓口の認知度.....	71
(6) 相談窓口の認知度.....	73
5 自殺対策・予防等について.....	85
(1) 身近な方の自殺を経験した方の有無.....	85
(2) 身近な方の自殺を経験した方に起きた影響.....	86

# I 調査概要

## 1. 調査目的

本市における自殺対策を推進していくための総合的な計画「八尾市自殺対策推進計画～ほっとかれへん、自殺予防はみんなの思い～(第2次)」を策定するにあたり、こころの健康に関する市民の現状や考えなどを把握し、自殺対策に限らず、総合的なこころの健康づくりを推進するための基礎資料として活用するために調査を実施しました。

## 2. 調査設計

- ①調査対象：八尾市在住の18歳以上市民3,000人
- ②抽出方法：無作為抽出
- ③調査方法：郵送法
- ④調査期間：令和5年8月10日～8月25日

## 3. 回収結果

標本数	実質配付数	有効回答数	有効回答率
3,000	2,992	882	29.5%

表 年齢別 母集団人口・標本数・有効回答数

	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不詳	合計
母集団人口	4,945 2.2%	26,527 11.9%	26,741 12.0%	34,331 15.4%	41,356 18.6%	27,957 12.5%	33,879 15.2%	27,124 12.2%	- -	222,860 100.0%
標本数	73 2.4%	336 11.2%	384 12.8%	478 15.9%	566 18.9%	372 12.4%	418 13.9%	373 12.4%	- -	3,000 100.0%
有効回答数	18 2.0%	49 5.6%	84 9.5%	122 13.8%	155 17.6%	128 14.5%	170 19.3%	128 14.5%	28 3.2%	882 100.0%

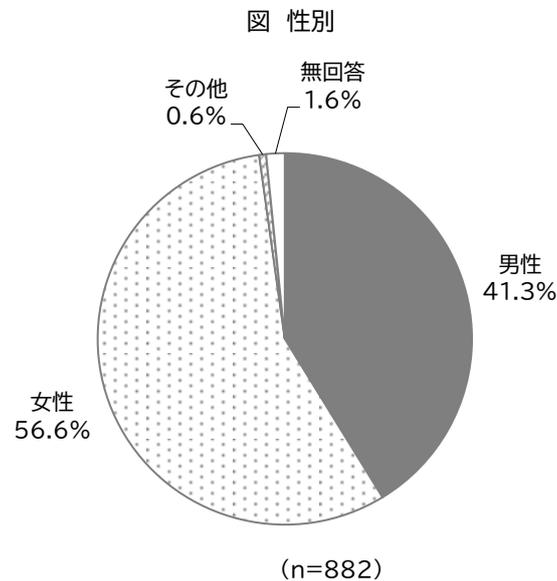
## 4. 報告書の見方

- ・ 図表中の「n」とは、集計対象者実数(あるいは該当者対象実数)のことである。
- ・ 図表の数値(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- ・ 1つの設問に2つ以上の回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える。
- ・ 母集団人口の年齢構成と有効回答数の年齢構成を比較すると、50歳代以下では母集団人口の構成比に比べて有効回答数の構成比が下回っており、60歳代以上では上回っていることから、全体の回答結果は60歳代以上の回答の影響がやや大きいといえます。

## II 回答者の属性

### (1)性別

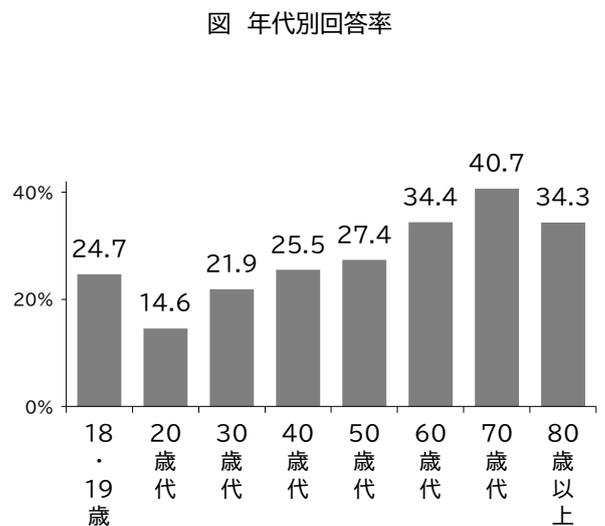
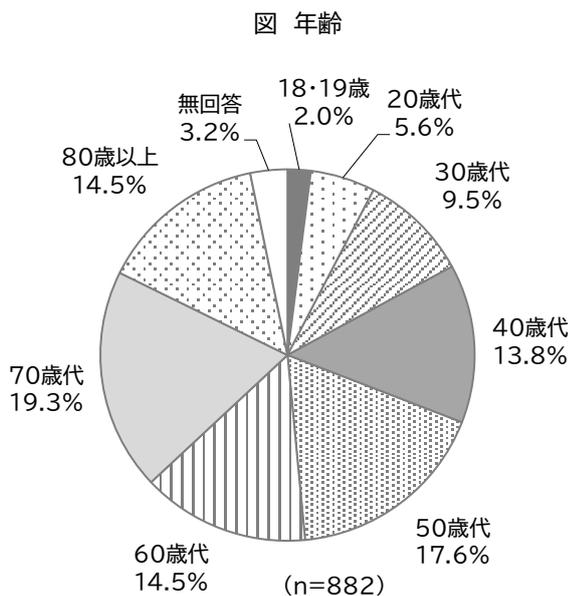
回答者の性別をみると、「男性」と回答した割合が 41.3%、「女性」と回答した割合が 56.6%、「その他」と回答した割合が 0.6%となっています。



### (2)年齢

回答者の年齢をみると、「70 歳代」と回答した割合が 19.3%で最も高く、次いで「50 歳代」と回答した割合が 17.6%、「60 歳代」と「80 歳以上」で回答した割合がともに 14.5%、「40 歳代」と回答した割合が 13.8%、「30 歳代」と回答した割合が 9.5%となっています。

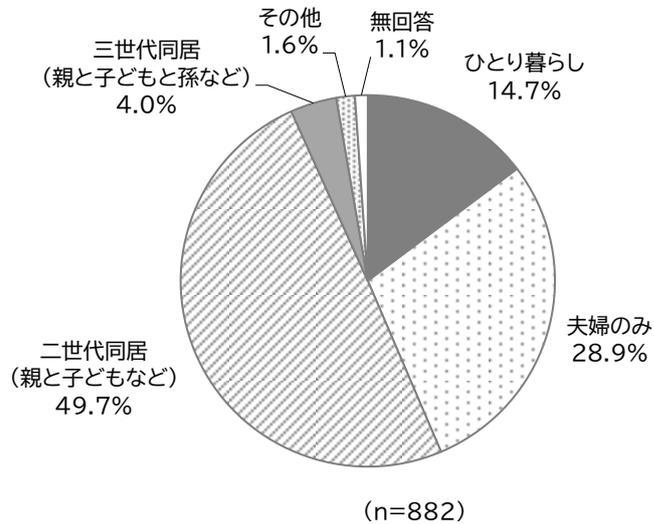
年代別の回答率をみると、「70 歳代」と回答した割合が 40.7%で最も高く、次いで「60 歳代」と回答した割合が 34.4%、「80 歳以上」と回答した割合が 34.3%、「50 歳代」と回答した割合が 27.4%、「40 歳代」と回答した割合が 25.5%となっています。



### (3) 家族構成

回答者の家族構成をみると、「二世世代同居(親と子どもなど)」と回答した割合が 49.7%で最も高く、次いで「夫婦のみ」と回答した割合が 28.9%、「ひとり暮らし」と回答した割合が 14.7%、「三世世代同居(親と子どもと孫など)」と回答した割合が 4.0%となっています。

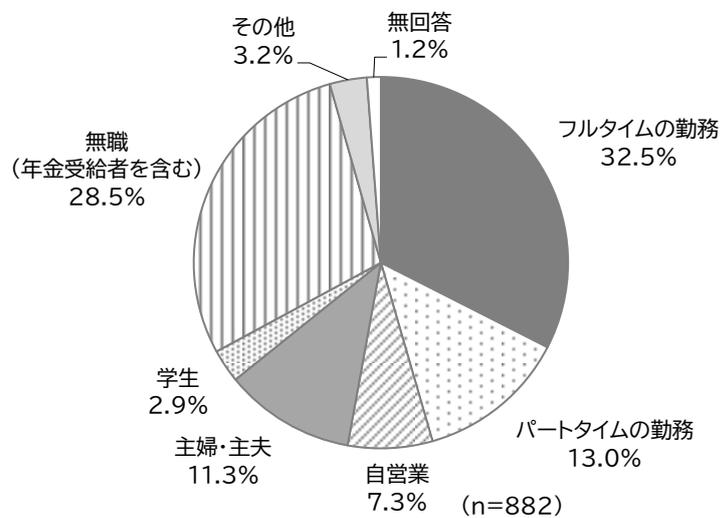
図 家族構成



### (4) 職業

回答者の職業をみると、「フルタイムの勤務」と回答した割合が 32.5%で最も高く、次いで「無職(年金受給者を含む)」と回答した割合が 28.5%、「パートタイムの勤務」と回答した割合が 13.0%、「主婦・主夫」と回答した割合が 11.3%、「自営業」と回答した割合が 7.3%となっています。

図 職業



## (5) 精神的健康状態

本調査では、属性の他に問2で、WHO-5 精神的健康状態表1の5つの設問を用いて、精神的健康状態が「良好グループ」と「低いグループ」の2群に分けてクロス集計を行いました。

選択肢	点数
まったくない	0点
ほんのたまに	1点
半分以下の期間を	2点
半分以上の期間を	3点
ほとんどいつも	4点
いつも	5点

### WHO-5 精神的健康状態

下記5項目の各選択肢に対して左表のとおり配点し、数値が高いほど精神的健康状態が良好であることを示しています。

5項目の回答の点数を合計し、粗数の範囲は0～25点で、13点以上を精神的健康状態が「良好」、13点未満が「低い」とされます。

表 精神的健康状態表の設問（問2）

	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも
①明るく、楽しい気分で過ごした	1	2	3	4	5	6
②落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	1	2	3	4	5	6
③意欲的で、活動的に過ごした	1	2	3	4	5	6
④ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	1	2	3	4	5	6
⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	1	2	3	4	5	6

精神的健康状態の得点の分布状況は以下のとおりです。「良好グループ」と「低いグループ」の割合は、前回調査結果と大きな違いはありません。

図 精神的健康状態得点の分布

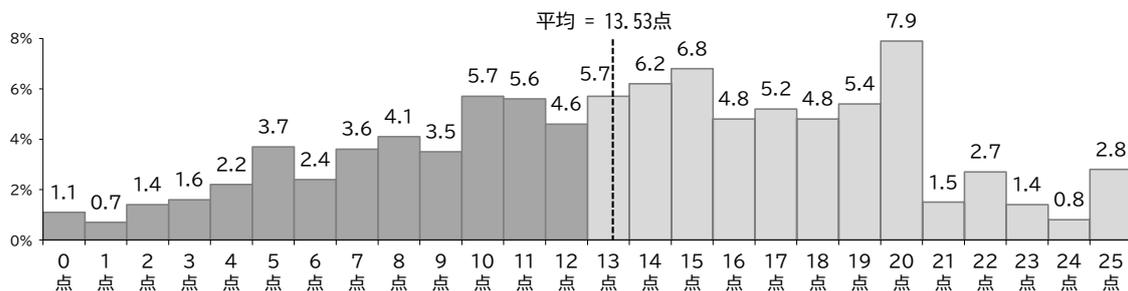
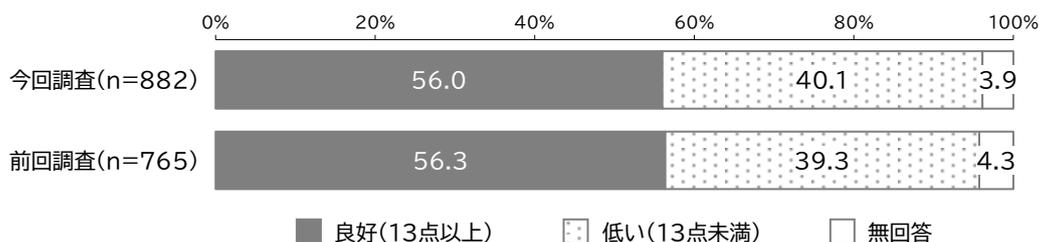


図 精神的健康状態



<sup>1</sup> WHO-5 精神的健康状態表：WHO（世界保健機構）が開発し、使用を推奨している簡便な精神的健康の測定尺度です。

### Ⅲ 調査結果

#### 1 こころの健康について

##### (1)こころの健康への関心度

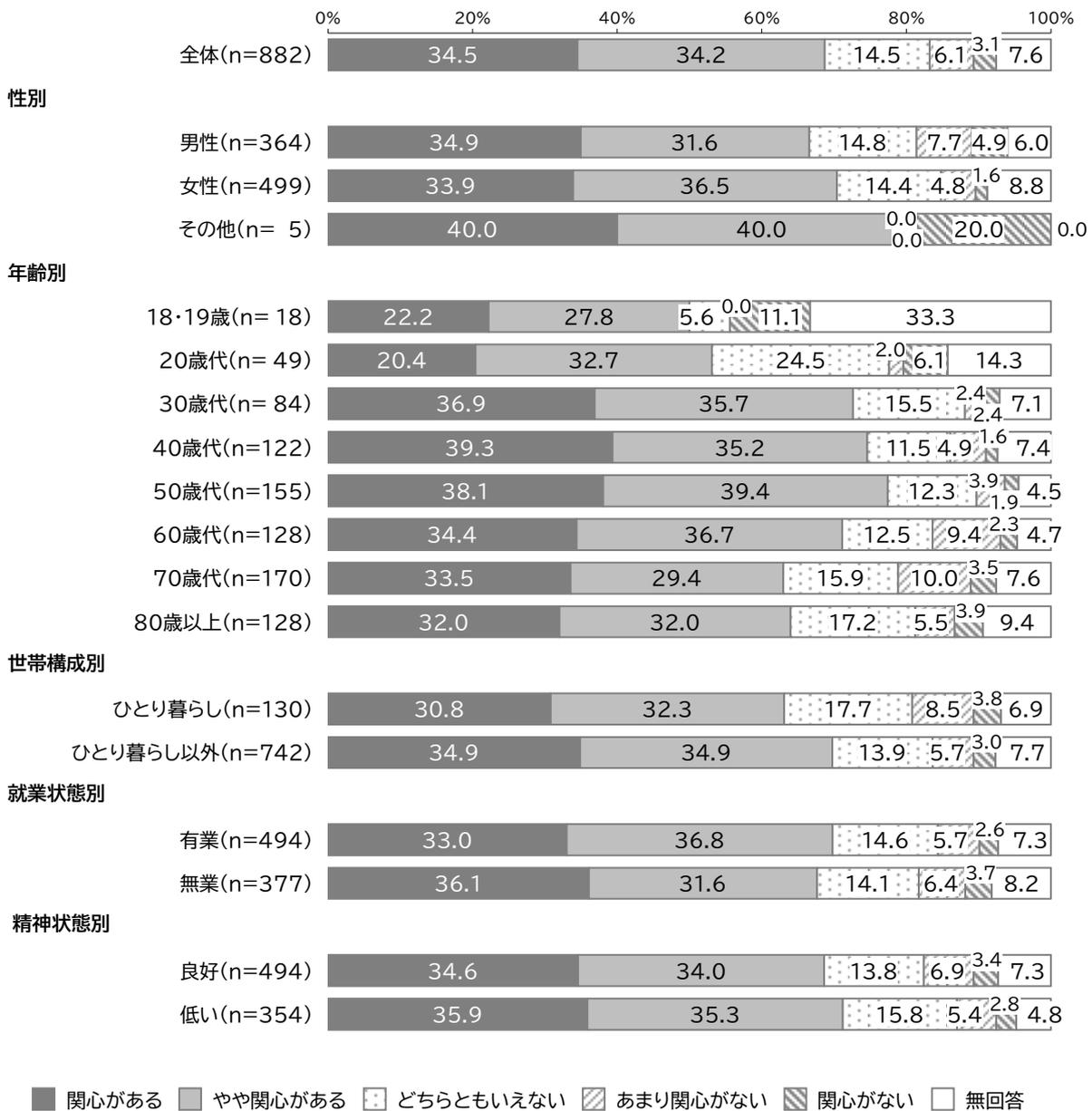
問1 あなたは、こころの健康にどのくらい関心がありますか。(〇は1つ)

こころの健康への関心度をみると、「関心がある」と回答した割合が 34.5%で最も高く、次いで「やや関心がある」と回答した割合が 34.2%、「どちらともいえない」と回答した割合が 14.5%となっています。「関心がある」と「やや関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が約7割を占めています。

性別にみると、女性の“関心がある”の割合が、男性よりも 3.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、“関心がある”の割合は 30 歳代～60 歳代が他の年代に比べて高く、50 歳代で 77.5%となっています。

図 こころの健康への関心度

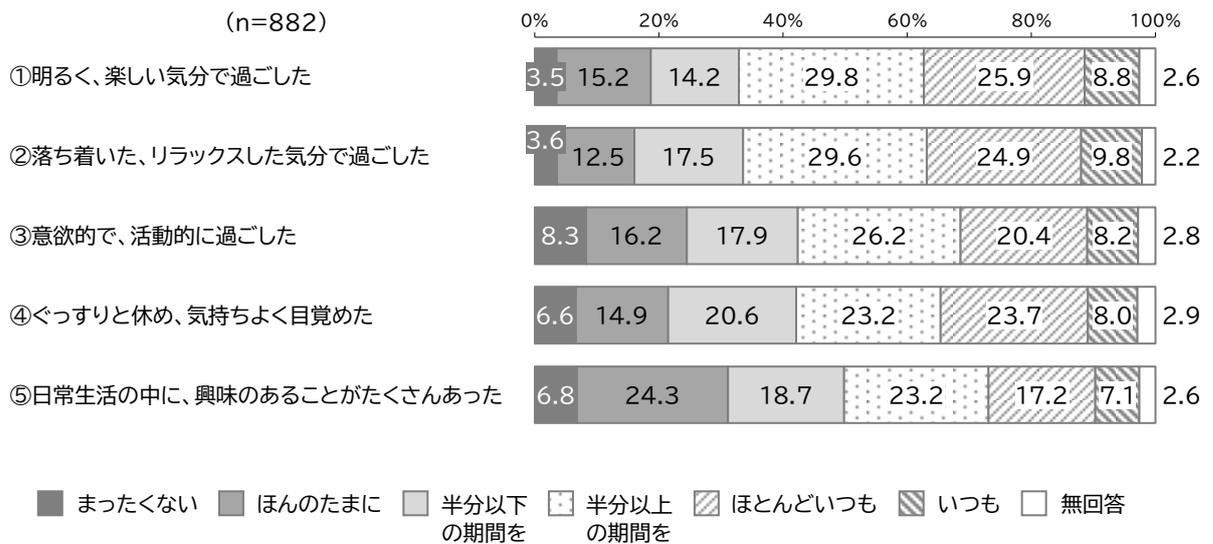


## (2)最近 2 週間の精神状態

問2 以下の5つの各項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものに○をつけてください。(①から⑤について○はそれぞれ1つ)

最近 2 週間の精神状態をみると、いずれの項目も「まったくない」と「ほんのたまに」と「半分以下の期間を」をあわせた“期間が1週間以下”の割合が3割以上を占めており、「⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の割合は約半数となっています。

図 最近2週間の精神状態



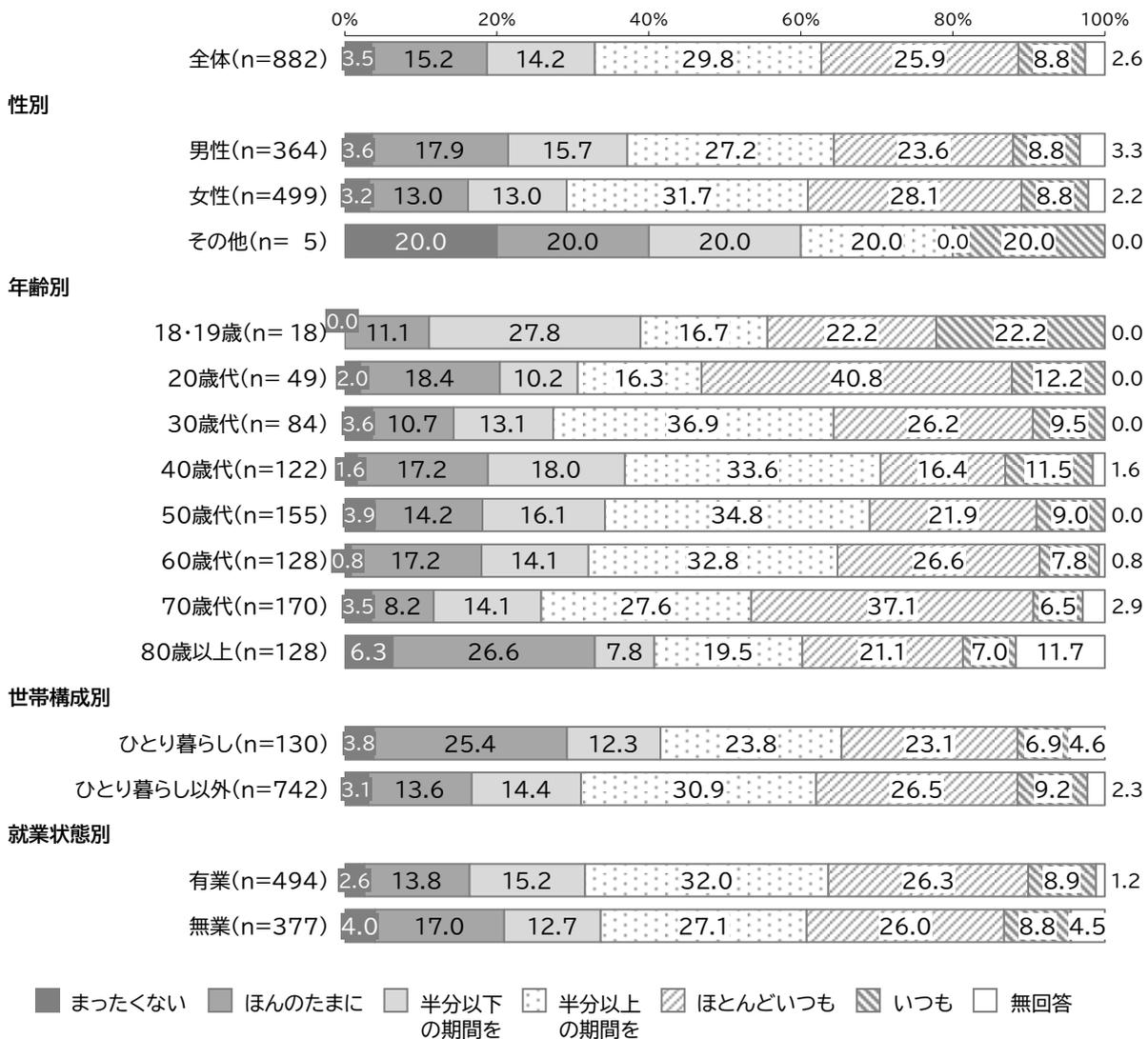
### ①明るく、楽しい気分で過ごした

最近2週間で明るく、楽しい気分で過ごしたことについて、「半分以上の期間を」と回答した割合が29.8%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」と回答した割合が25.9%、「ほんのたまに」と回答した割合が15.2%となっています。“期間が1週間以下”の割合が32.9%となっています。

性別にみると、男性の“期間が1週間以下”の割合が、女性よりも8.0ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“期間が1週間以下”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約10ポイント高くなっています。

図 ①明るく、楽しい気分で過ごした



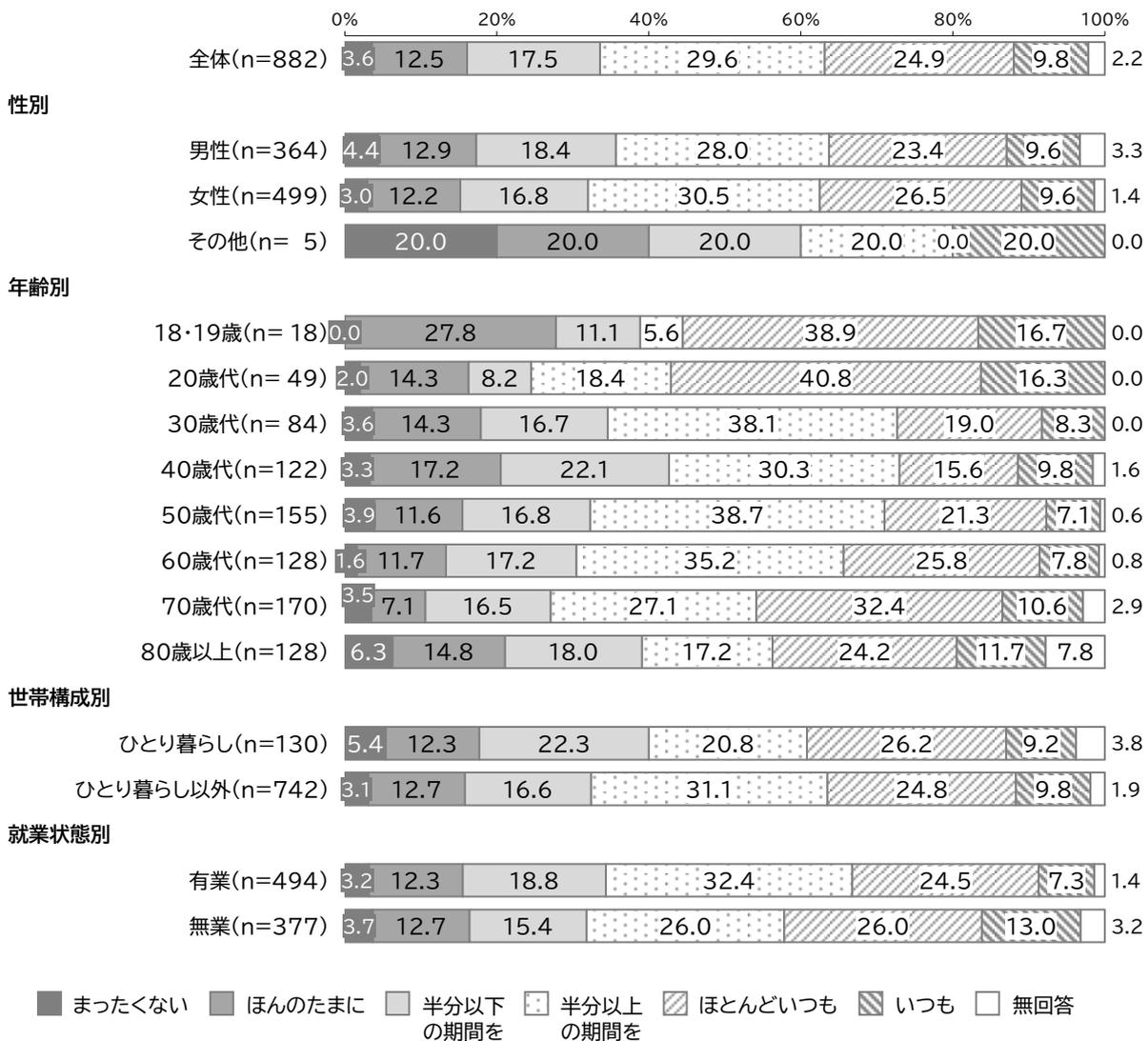
## ②落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

最近2週間で落ち着いた、リラックスした気分で過ごしたことについて、「半分以上の期間を」と回答した割合が 29.6%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」と回答した割合が 24.9%、「半分以上の期間を」と回答した割合が 17.5%となっています。「期間が1週間以下」の割合が 33.6%となっています。

年齢別にみると、40歳代で“期間が1週間以下”の割合が4割台と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“期間が1週間以下”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 7.6ポイント高くなっています。

図 ②落ち着いた、リラックスした気分で過ごした



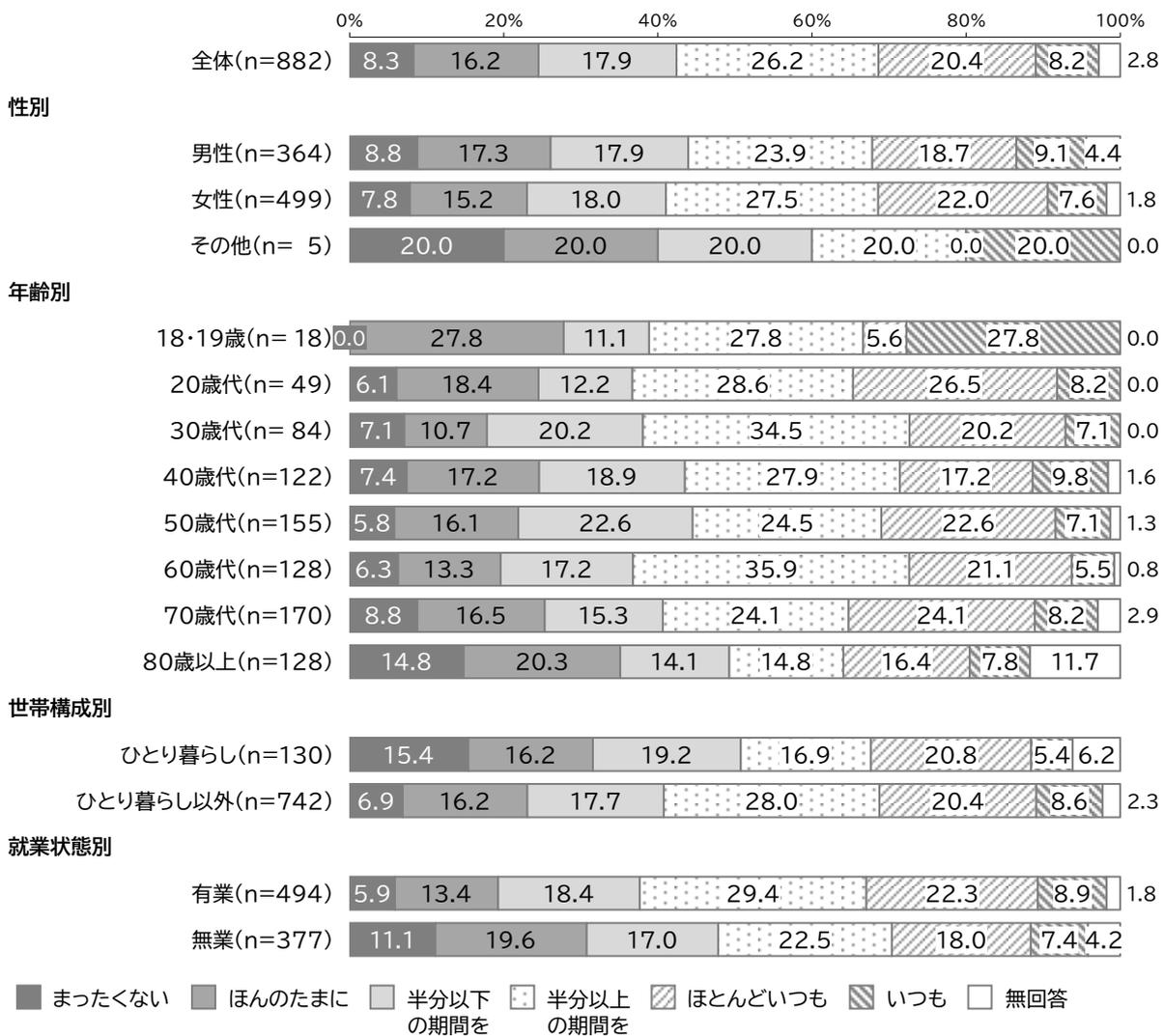
### ③意欲的で、活動的に過ごした

最近2週間で意欲的で、活動的に過ごしたことについて、「半分以上の期間を」と回答した割合が 26.2%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」と回答した割合が 20.4%、「半分以下の期間を」と回答した割合が 17.9%となっています。“期間が1週間以下”の割合が 42.4%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“期間が1週間以下”の割合は高くなる傾向にあり、80歳以上で約半数となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“期間が1週間以下”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10ポイント高くなっています。

図 ③意欲的で、活動的に過ごした

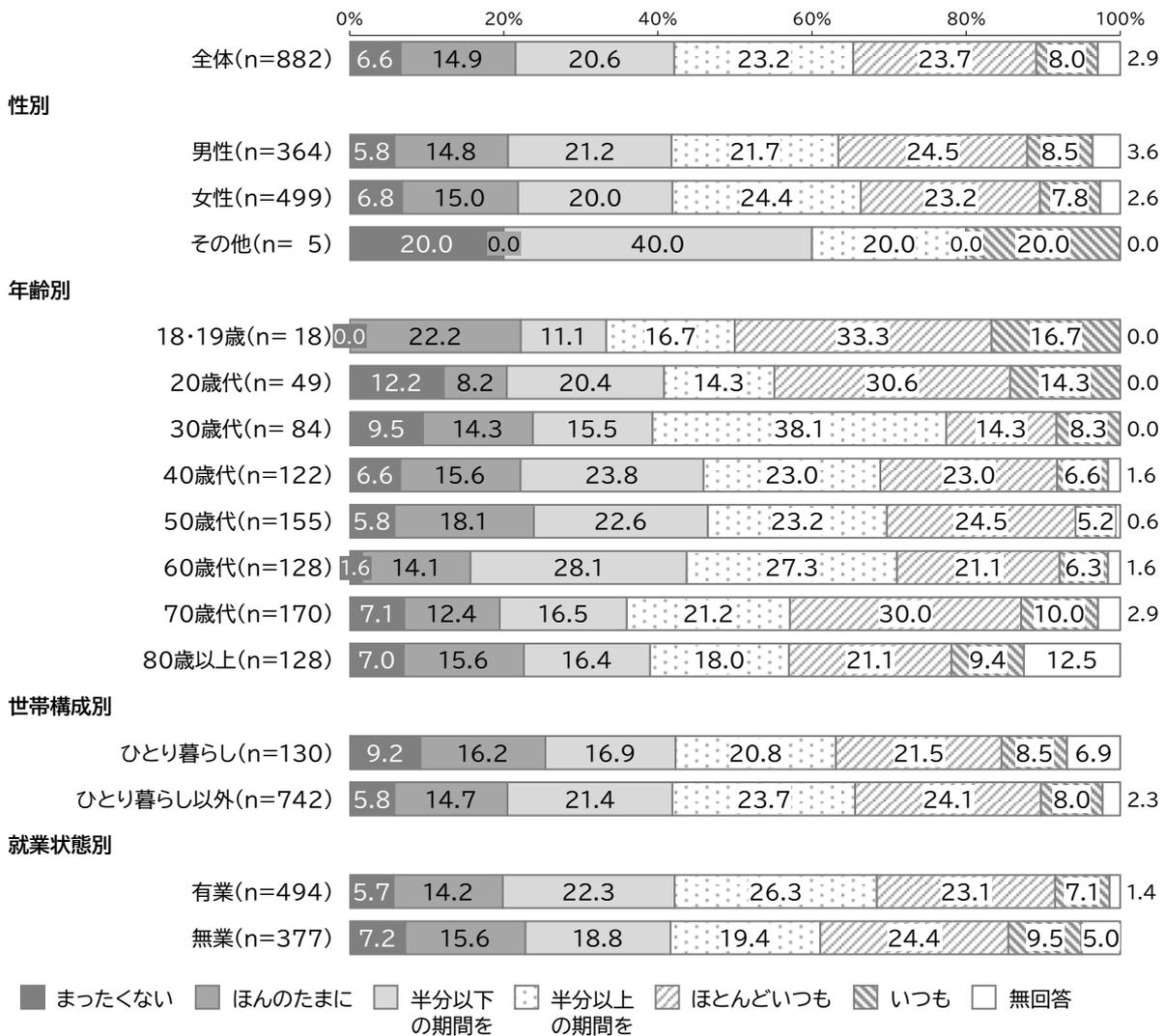


#### ④ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

最近2週間でぐっすりと休め、気持ちよく目覚めたことについて、「ほとんどいつも」と回答した割合が 23.7%で最も高く、次いで「半分以上の期間を」と回答した割合が 23.2%、「半分以下の期間を」と回答した割合が 20.6%となっています。“期間が1週間以下”の割合が 42.1%となっています。

年齢別にみると、“期間が1週間以下”の割合は 40 歳代～50 歳代が他の年代に比べてやや高く、50 歳代で 46.5%となっています。

図 ④ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた



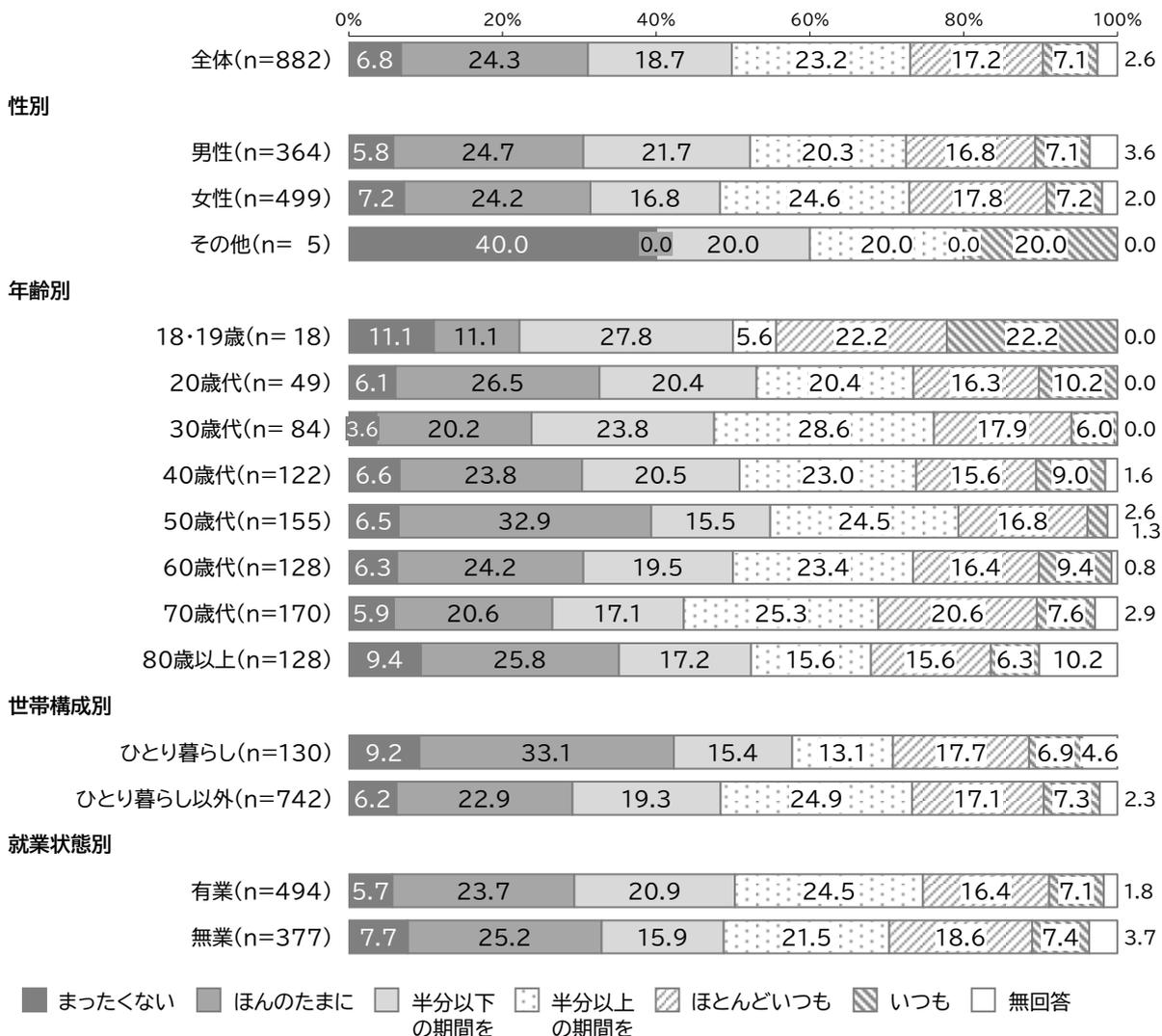
### ⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

最近2週間で日常生活の中に、興味のあることがたくさんあったことについて、「ほんのたまに」と回答した割合が 24.3%で最も高く、次いで「半分以上の期間を」と回答した割合が 23.2%、「半分以下の期間を」と回答した割合が 18.7%となっています。“期間が1週間以下”の割合が 49.8%となっています。

年齢別にみると、50歳代で「ほんのたまに」の割合が3割台と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“期間が1週間以下”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 9.3ポイント高くなっています。

図 ⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

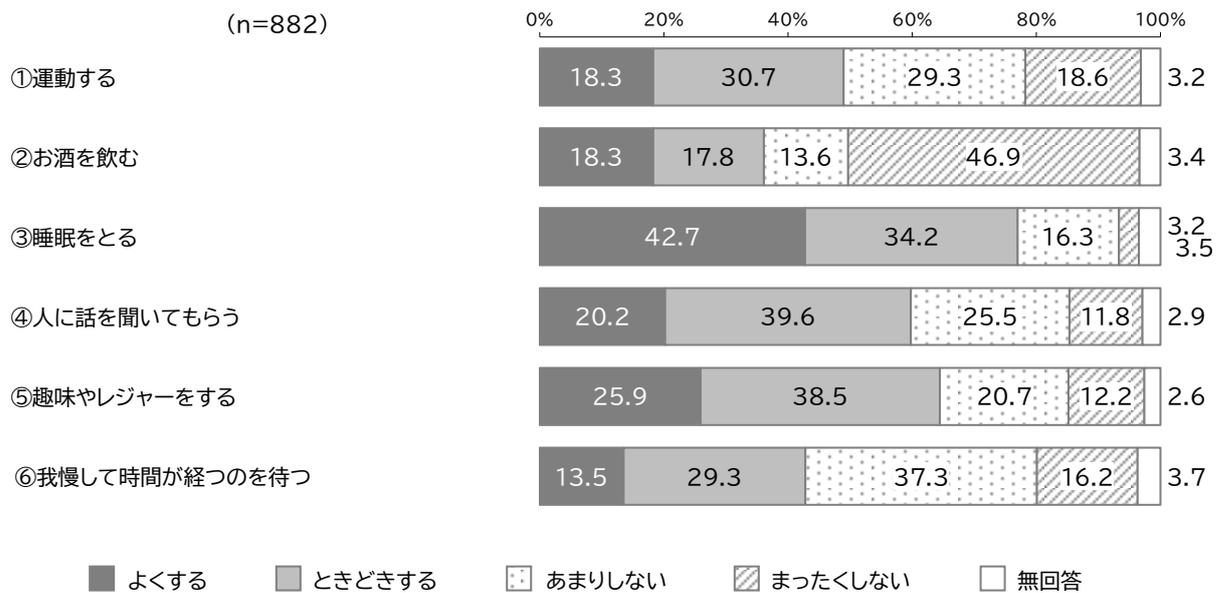


### (3)実施しているストレス解消法

問3 あなたは、日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレス等を解消するためにどのようなことをしていますか。(①から⑥について、それぞれ〇は1つ)

実施しているストレス解消法をみると、「よくする」と「ときどきする」をあわせた“実践している”の割合が、「③睡眠をとる」(76.9%)、「⑤趣味やレジャーをする」(64.4%)、「④人に話を聞いてもらう」(59.8%)の順で高くなっています。

図 実施しているストレス解消法



## ①運動する

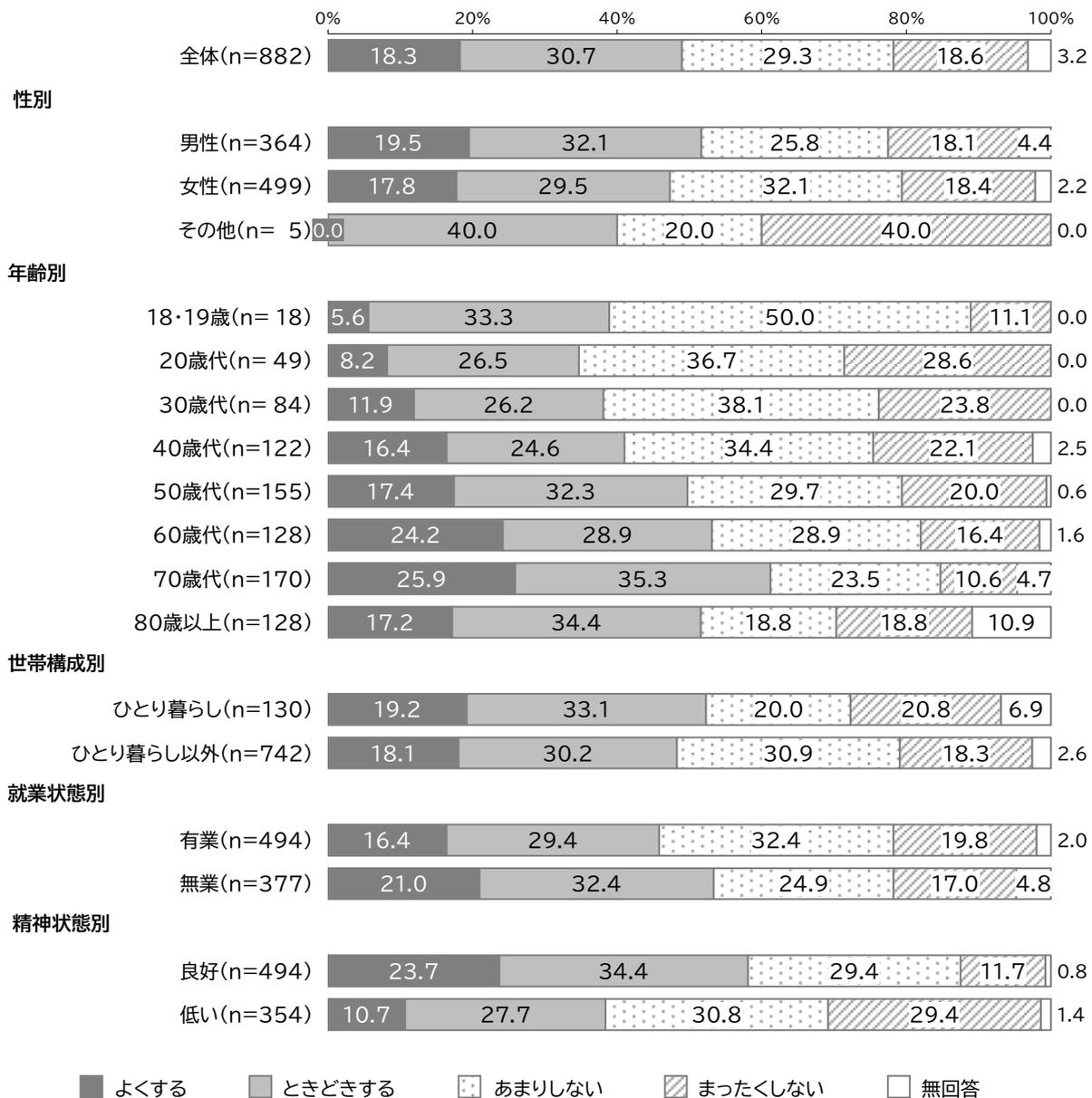
実施しているストレス解消法として運動することについて、「ときどきする」と回答した割合が 30.7%で最も高く、次いで「あまりしない」と回答した割合が 29.3%、「まったくしない」と回答した割合が 18.6%、「よくする」と回答した割合が 18.3%となっています。“実践している”の割合が 49.0%となっています。

性別にみると、男性の“実践している”の割合が、女性よりも 4.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“実践している”の割合は高くなる傾向にあり、70 歳代で6割程度となっています。

精神状態別にみると、低いグループの“実践している”の割合が、良好なグループよりも約 20 ポイント低くなっています。

図 ①運動する



## ②お酒を飲む

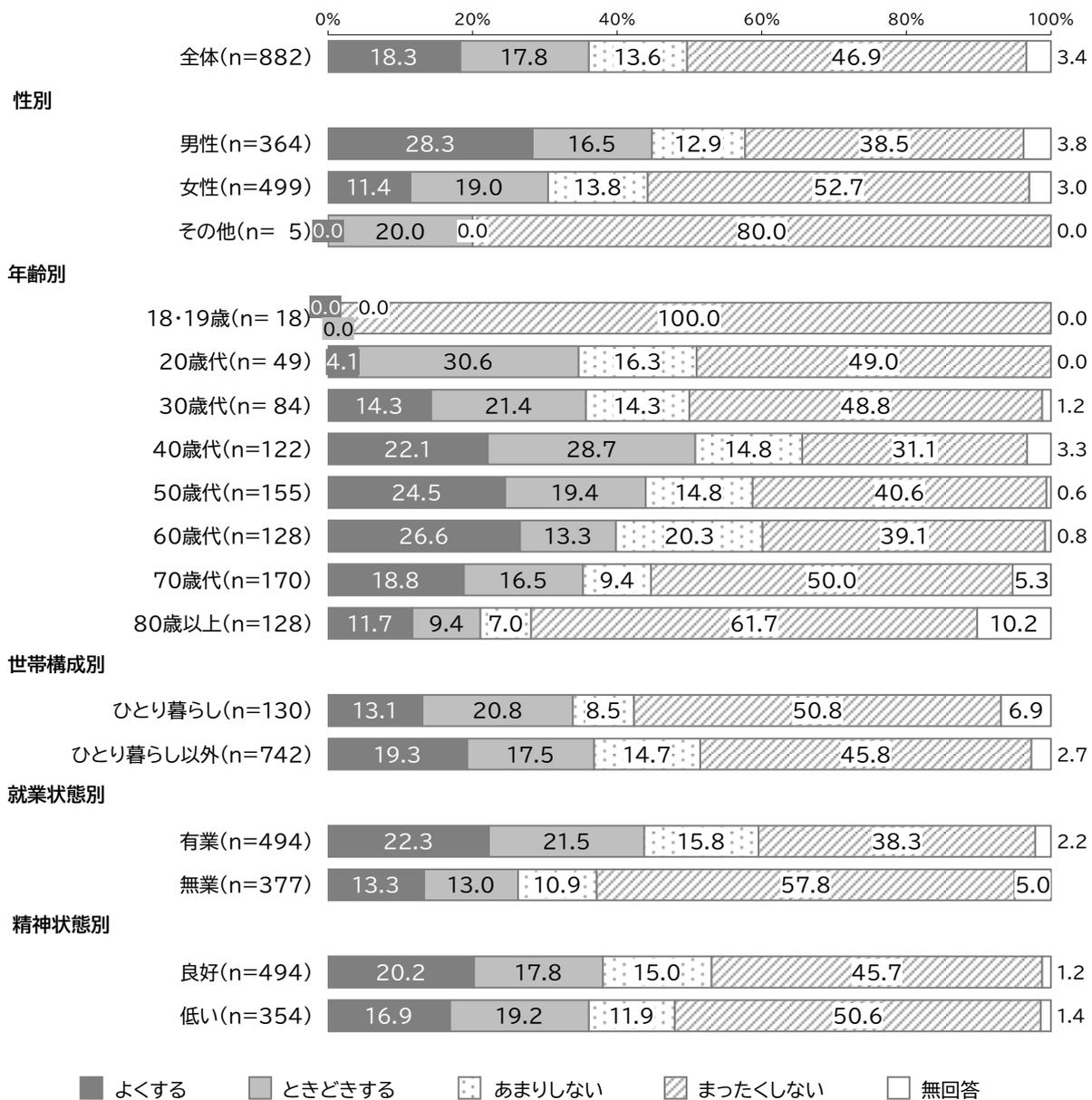
実施しているストレス解消法としてお酒を飲むことについて、「まったくしない」と回答した割合が 46.9%で最も高く、次いで「よくする」と回答した割合が 18.3%、「ときどきする」と回答した割合が 17.8%、「あまりしない」と回答した割合が 13.6%となっています。“実践している”の割合が 36.1%となっています。

性別にみると、男性の“実践している”の割合が、女性よりも 10 ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、“実践している”の割合は 40 歳代～50 歳代が他の年代に比べて高く、40 歳代で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の“実践している”の割合が、無業者の約2倍となっています。

図 ②お酒を飲む



### ③睡眠をとる

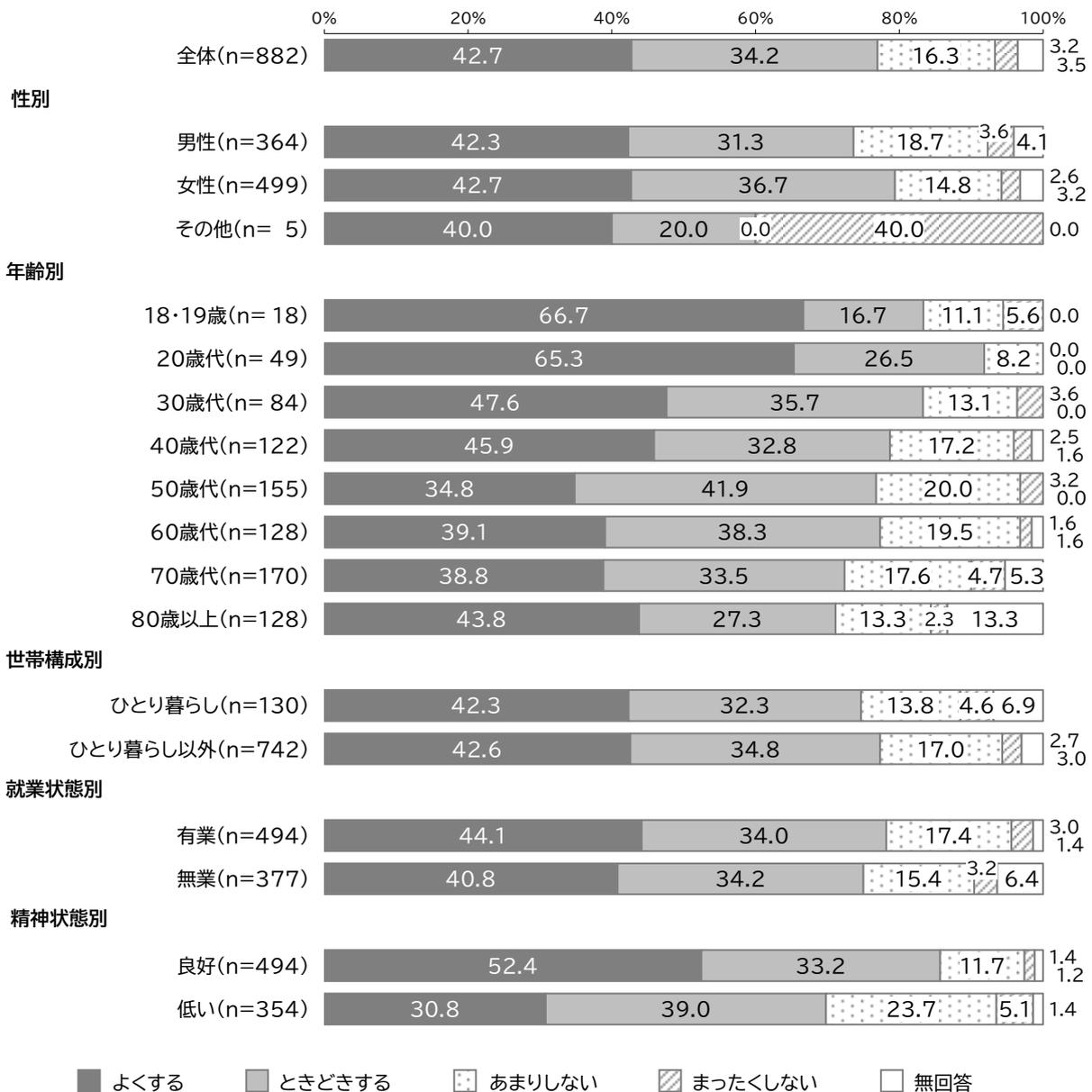
実施しているストレス解消法として睡眠をとることについて、「よくする」と回答した割合が 42.7%で最も高く、次いで「ときどきする」と回答した割合が 34.2%、「あまりしない」と回答した割合が 16.3%となっています。“実践している”の割合が 76.9%となっています。

性別にみると、女性の“実践している”の割合が、男性よりも 5.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“実践している”の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代で9割以上となっています。

精神状態別にみると、低いグループの“実践している”の割合が、良好なグループよりも約 15 ポイント低くなっています。

図 ③睡眠をとる



#### ④人に話を聞いてもらう

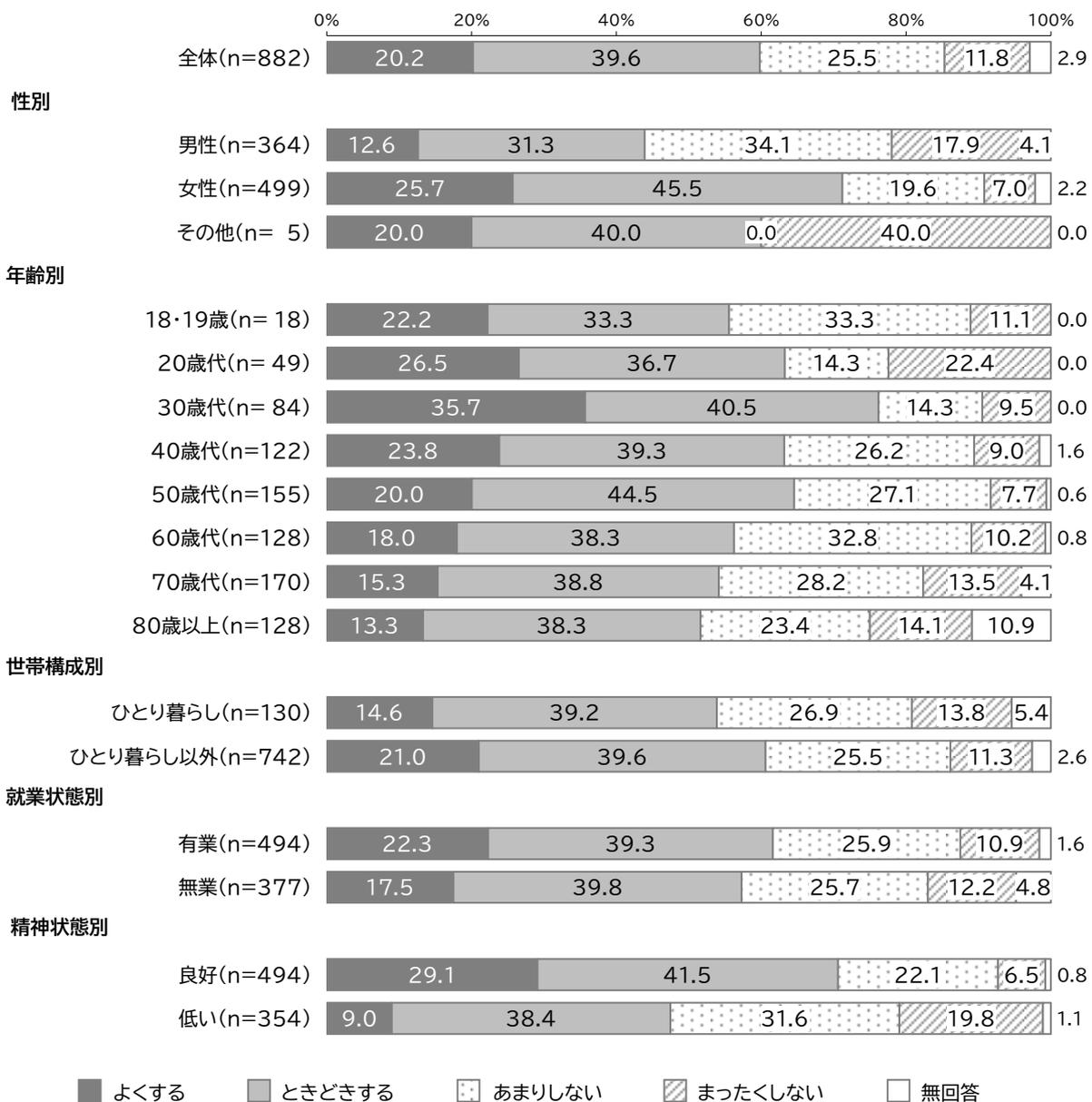
実施しているストレス解消法として人に話を聞いてもらうことについて、「ときどきする」と回答した割合が39.6%で最も高く、次いで「あまりしない」と回答した割合が25.5%、「よくする」と回答した割合が20.2%となっています。“実践している”の割合が59.8%となっています。

性別にみると、女性の“実践している”の割合が、男性よりも20ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“実践している”の割合は高くなる傾向にあり、30歳代以下で7割台となっています。

精神状態別にみると、低いグループの“実践している”の割合が、良好なグループよりも20ポイント以上低くなっています。

図 ④人に話を聞いてもらう



### ⑤趣味やレジャーをする

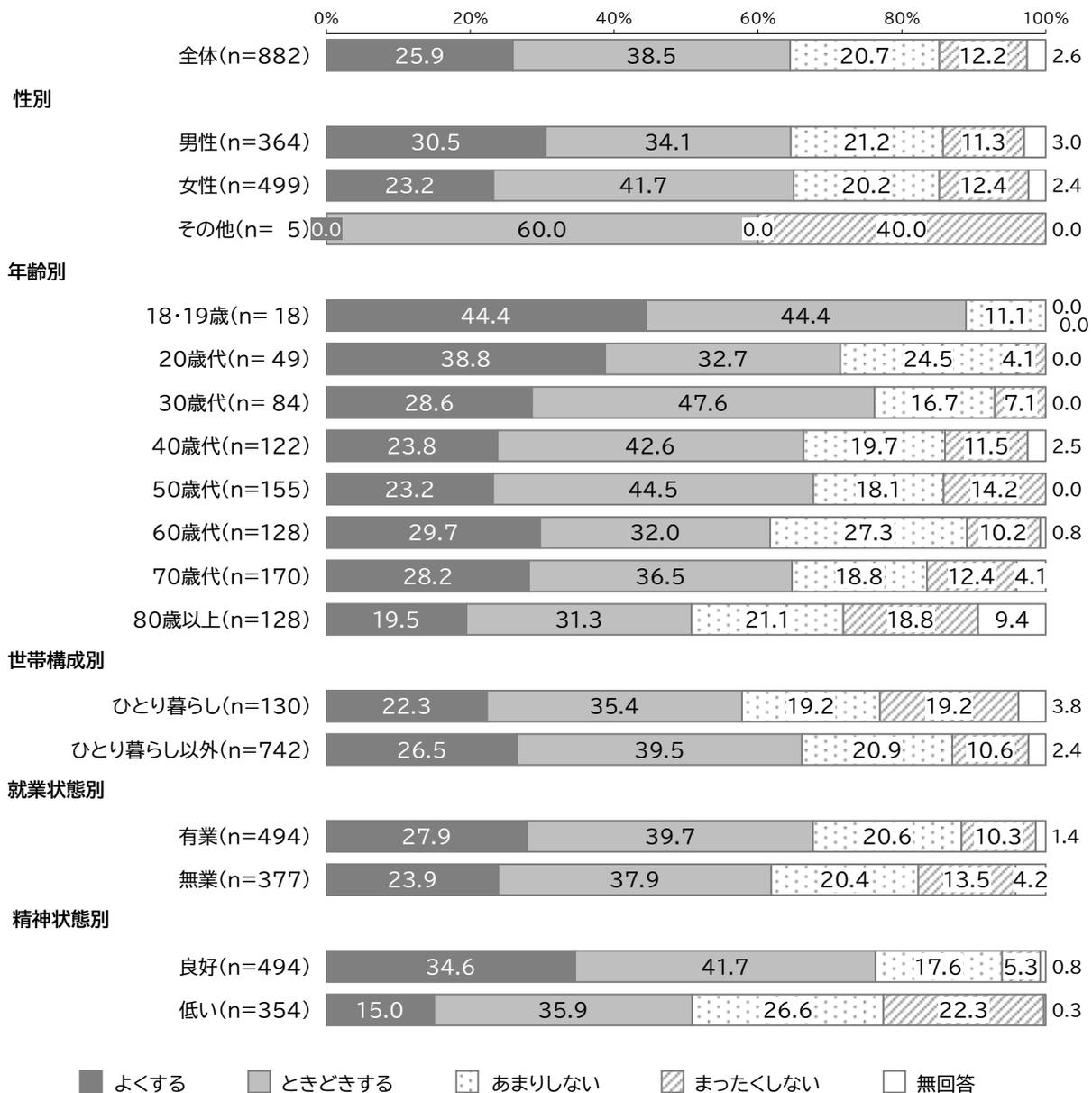
実施しているストレス解消法として趣味やレジャーをすることについて、「ときどきする」と回答した割合が38.5%で最も高く、次いで「よくする」と回答した割合が25.9%、「あまりしない」と回答した割合が20.7%となっています。“実践している”の割合が64.4%となっています。

性別にみると、男性の「よくする」の割合が、女性よりも7.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“実践している”の割合は高くなる傾向にあり、18・19歳で9割程度となっています。

精神状態別にみると、低いグループの“実践している”の割合が、良好なグループよりも20ポイント以上低くなっています。

図 ⑤趣味やレジャーをする



## ⑥我慢して時間が経つのを待つ

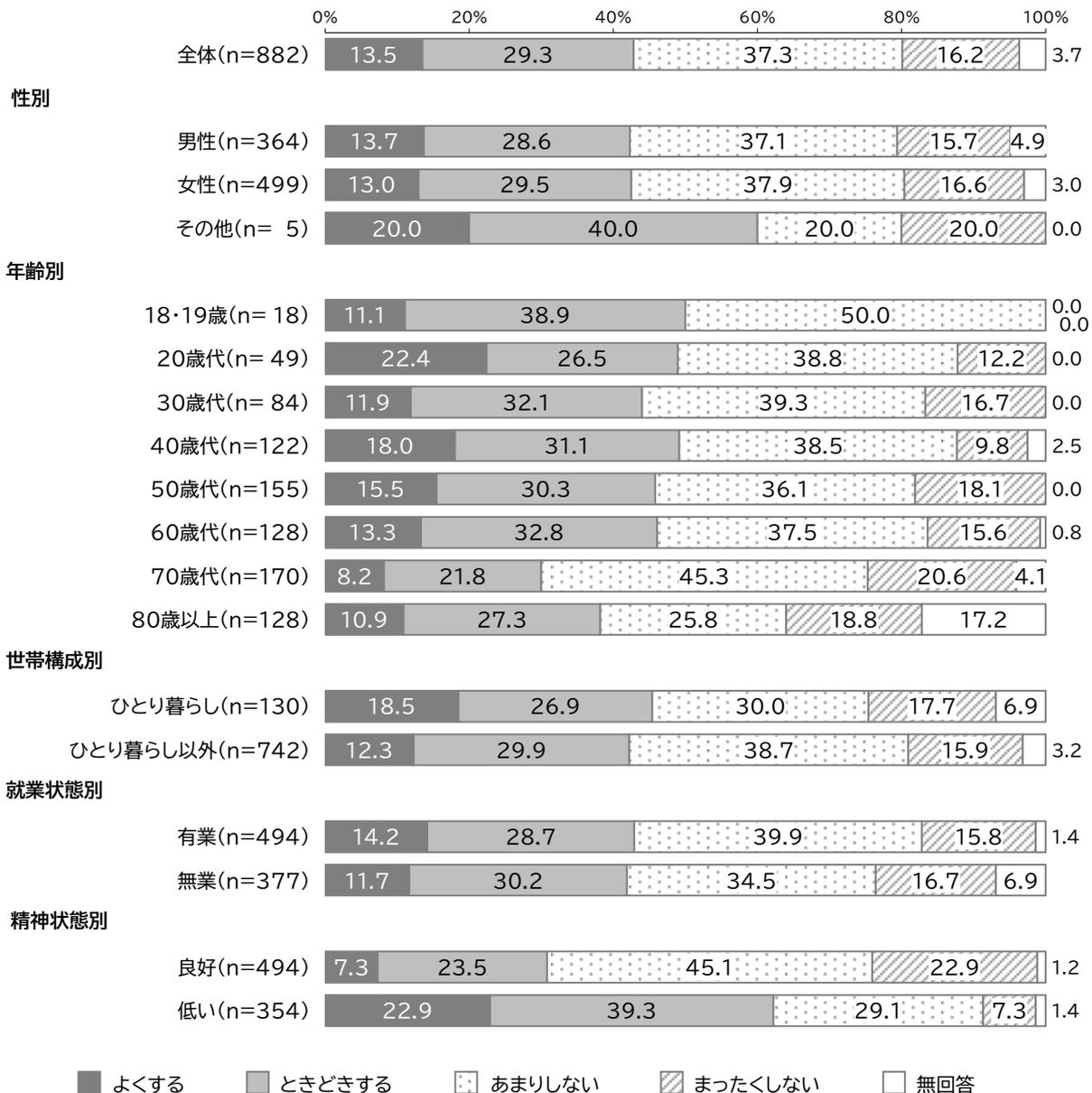
実施しているストレス解消法として我慢して時間が経つのを待つことについて、「あまりしない」と回答した割合が 37.3%で最も高く、次いで「ときどきする」と回答した割合が 29.3%、「まったくしない」と回答した割合が 16.2%、「よくする」と回答した割合が 13.5%となっています。“実践している”の割合が 42.8%となっています。

年齢別にみると、70 歳以上で“実践している”の割合が他の年代と比べてやや低く、70 歳代で3割となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「よくする」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 6.2 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“実践している”の割合が、良好なグループの2倍以上となっています。

図 ⑥我慢して時間が経つのを待つ



#### (4)「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか

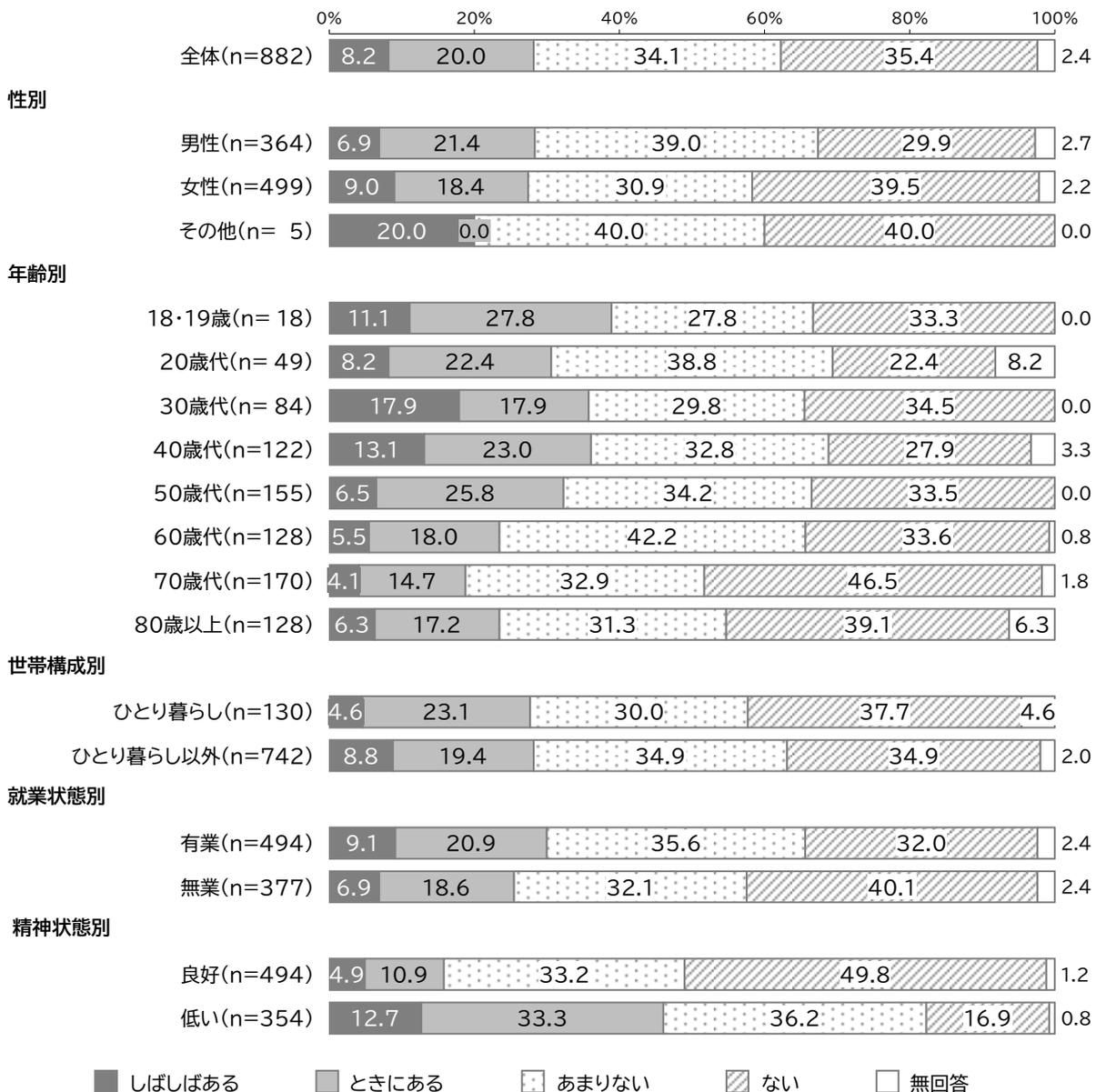
問4 あなたは、普段の生活の中で「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることはありませんか。(〇は1つ)

「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるかをみると、「ない」と回答した割合が35.4%で最も高く、次いで「あまりない」と回答した割合が34.1%、「ときにある」と回答した割合が20.0%となっています。「しばしばある」と「ときにある」をあわせた“感じることもある”の割合が3割弱を占めています。

性別にみると、女性の「しばしばある」と「ない」の割合が、それぞれ男性よりも高く、2極化の傾向があります。年齢別にみると、年代が低くなるほど“感じることもある”の割合は高くなる傾向にあります。

精神状態別にみると、低いグループの“感じることもある”の割合が、良好なグループよりも30ポイント以上高くなっています。

図 「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか

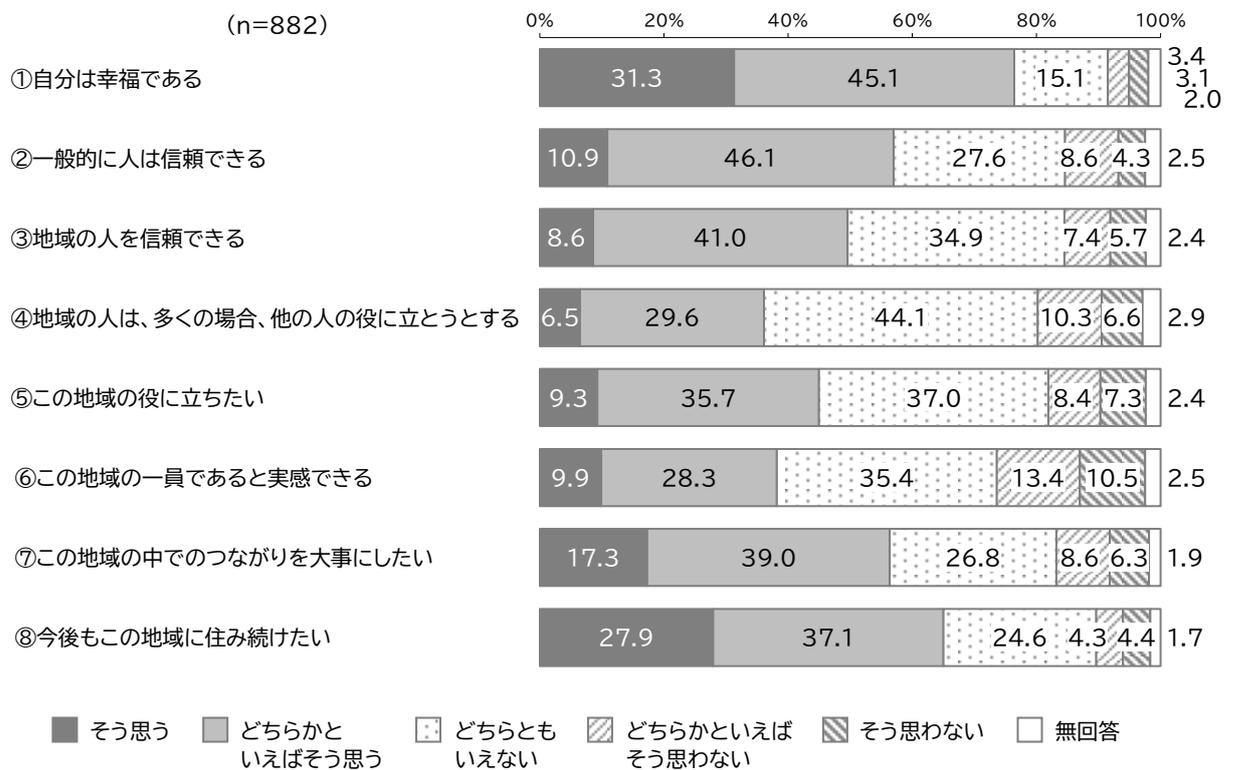


## (5) ソーシャルキャピタル

問5 次の項目について、あなたの考えに最も近い番号を選んでください。「地域」とは、お住まいの「町内」をイメージしています。(①から⑧について、それぞれ〇は1つ)

人との関係性や社会的なつながりを資源としてとらえる概念である社会関係資本(ソーシャルキャピタル)について8項目でたずねたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が「①自分は幸福である」「②一般的に人は信頼できる」「⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい」「⑧今後もこの地域に住み続けたい」で半数を超えています。

図 ソーシャルキャピタル



### ①自分は幸福である

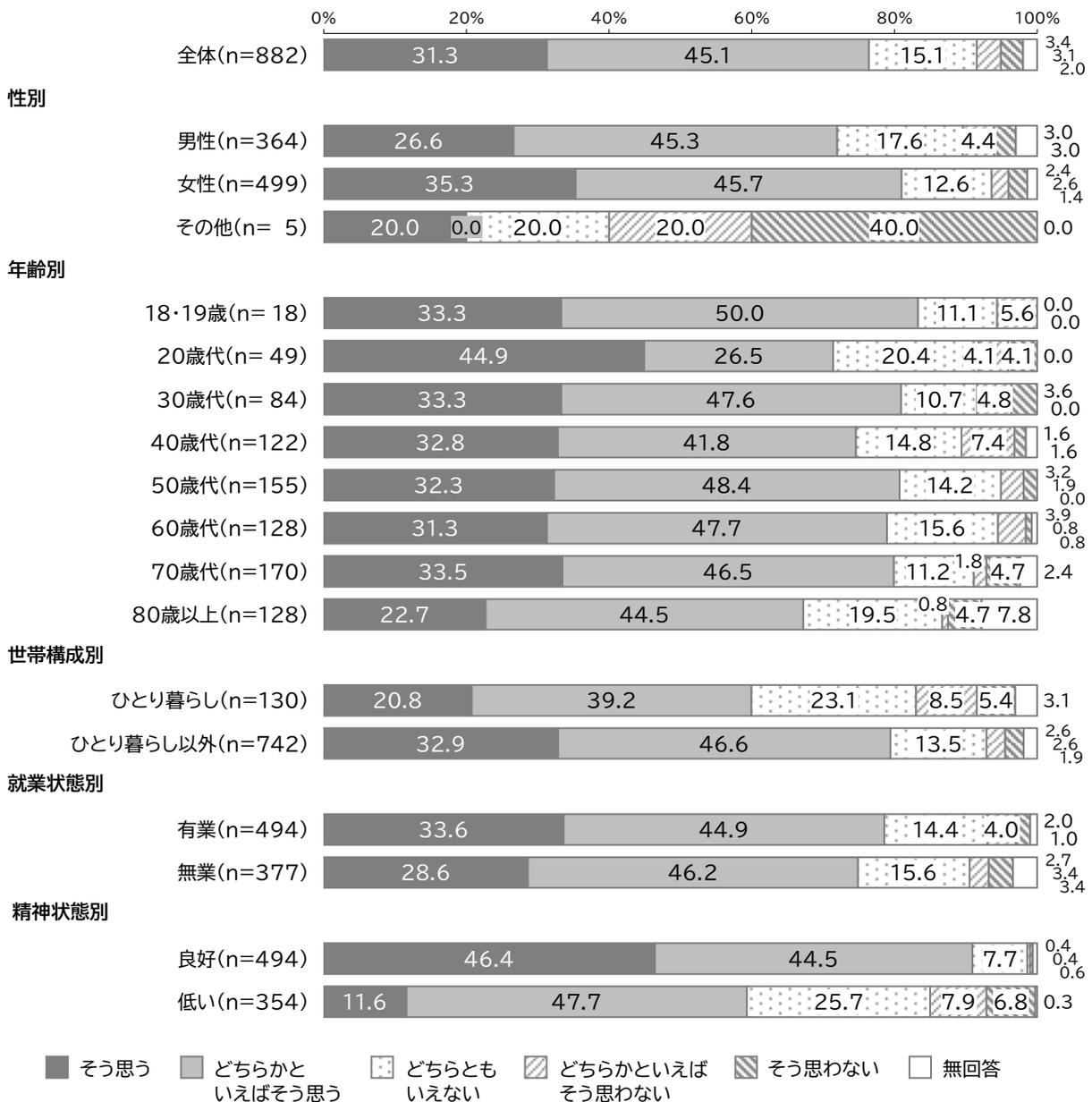
自分は幸福であるということについて、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 45.1%で最も高く、次いで「そう思う」と回答した割合が 31.3%、「どちらともいえない」と回答した割合が 15.1%となっています。“そう思う”の割合が 76.4%となっています。

性別にみると、女性の“そう思う”の割合が、男性よりも 9.1 ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そう思う”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 20 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そう思う”の割合が、良好なグループよりも 30 ポイント以上低くなっています。

図 ①自分は幸福である



## ②一般的に人は信頼できる

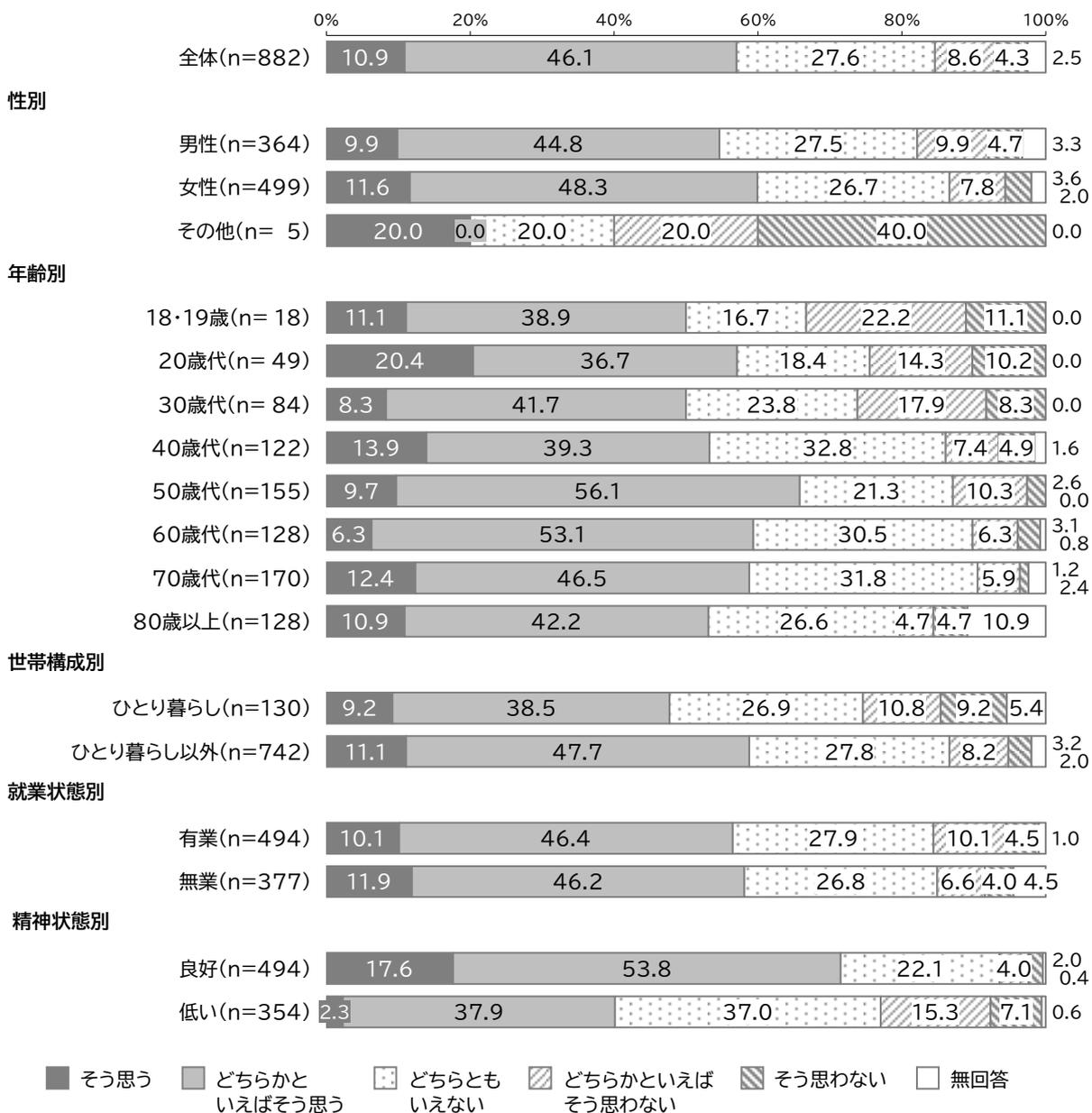
一般的に人は信頼できるということについて、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 46.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 27.6%、「そう思う」と回答した割合が 10.9%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 8.6%となっています。“そう思う”の割合が 57.0%となっています。

性別にみると、女性の“そう思う”の割合が、男性よりも 5.2 ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そう思う”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10 ポイント程低くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そう思う”の割合が、良好なグループよりも 30 ポイント以上低くなっています。

図 ②一般的に人は信頼できる



### ③地域の人を信頼できる

地域の人を信頼できるということについて、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 41.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 34.9%、「そう思う」と回答した割合が 8.6%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 7.4%となっています。「そう思う」の割合が 49.6%となっています。

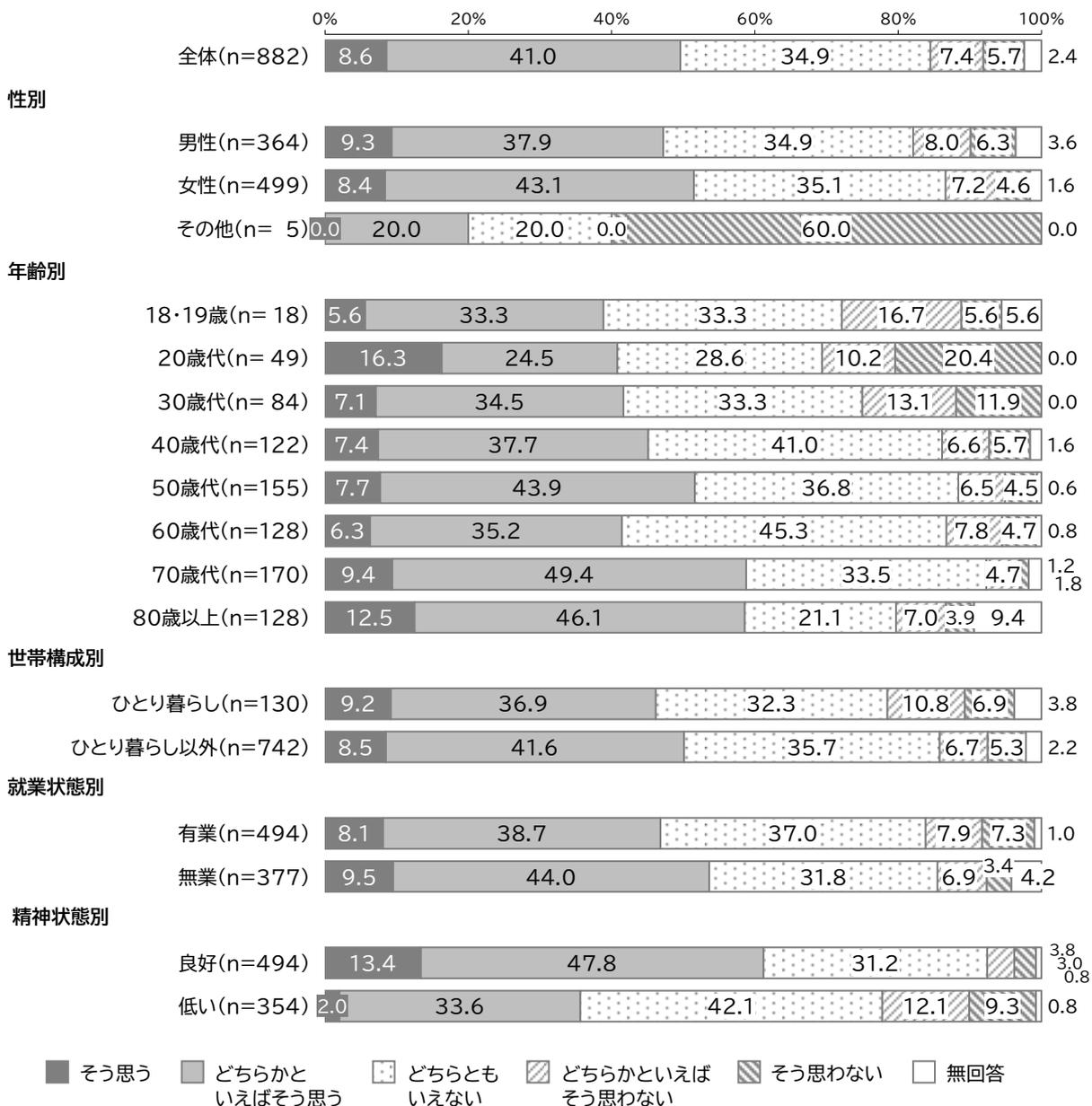
性別にみると、女性の「そう思う」の割合が、男性よりも 4.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど「そう思う」の割合は高くなる傾向にあり、70 歳以上で6割近くとなっています。

就業状態別にみると、無業者の「そう思う」の割合が、有業者よりも 6.7 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「そう思う」の割合が、良好なグループよりも約 25 ポイント低くなっています。

図 ③地域の人を信頼できる



#### ④地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとする

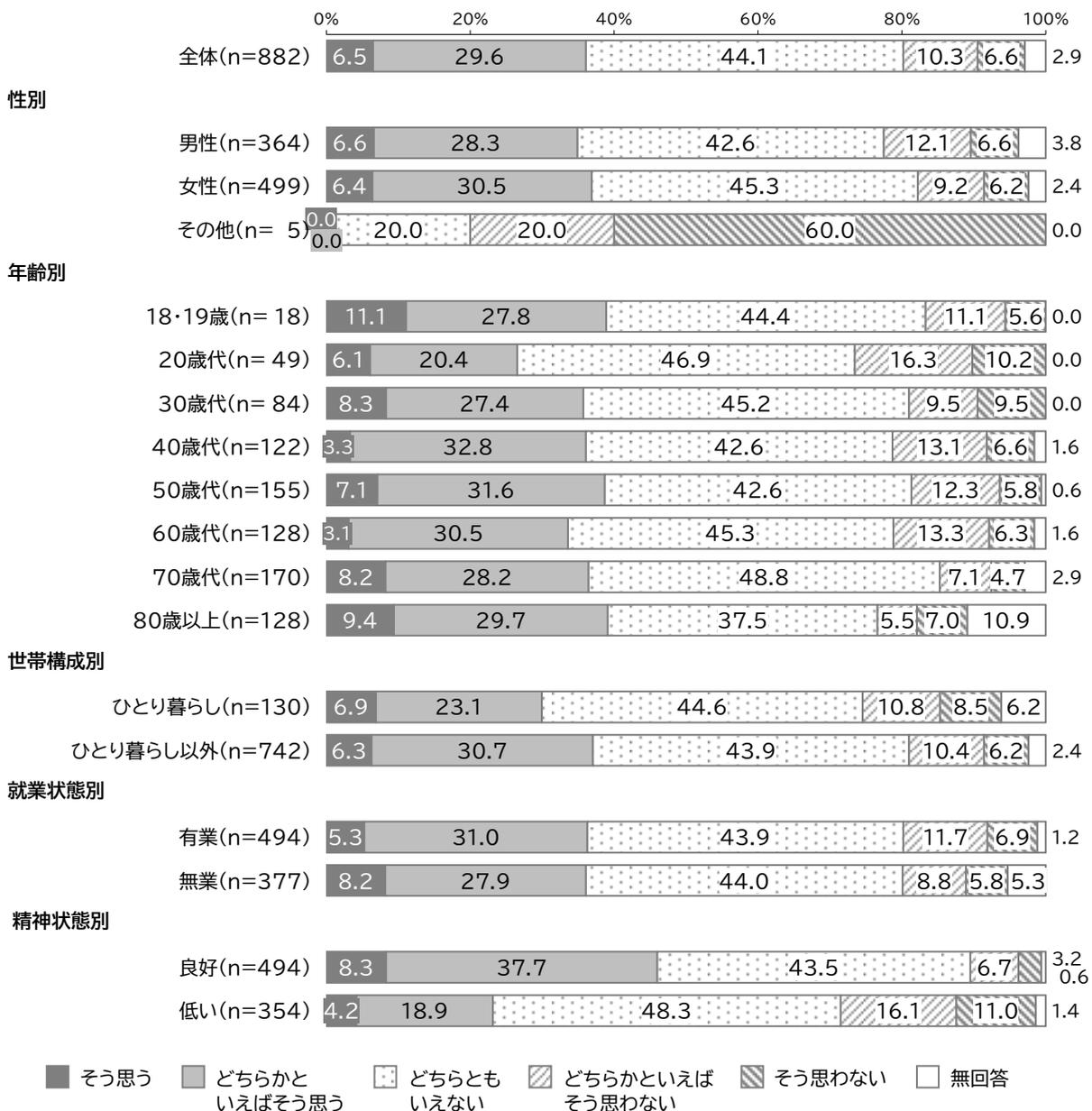
地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとするということについて、「どちらともいえない」と回答した割合が 44.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 29.6%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 10.3%、「そう思わない」と回答した割合が 6.6%となっています。“そう思う”の割合が 36.1%となっています。

年齢別にみると、20 歳代で“そう思う”の割合が 26.5%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「どちらかといえばそう思う」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 7.6 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そう思う”の割合が、良好なグループよりも 20 ポイント以上低くなっています。

図 ④地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとする



⑤この地域の役に立ちたい

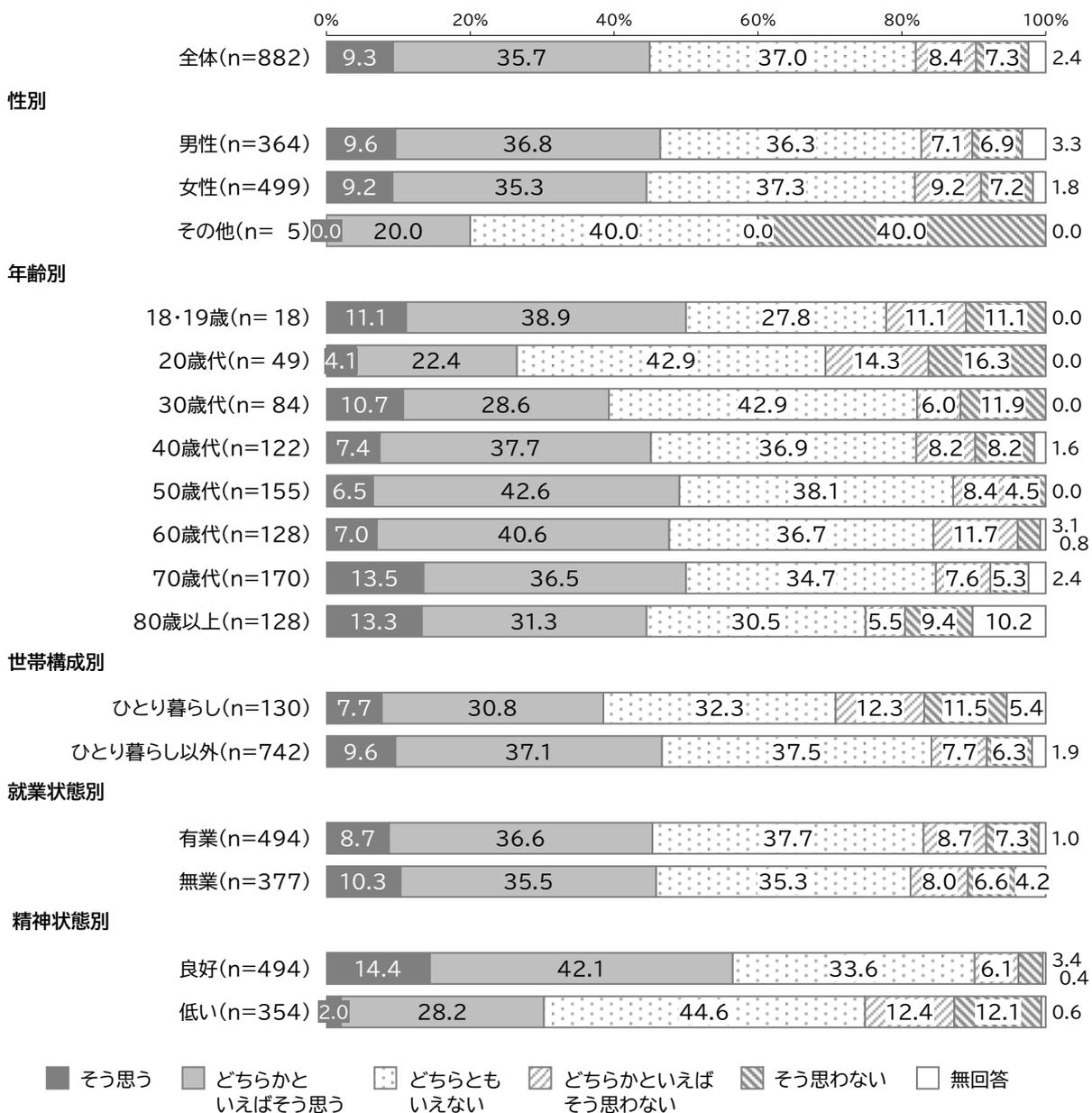
この地域の役に立ちたいということについて、「どちらともいえない」と回答した割合が 37.0%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 35.7%、「そう思う」と回答した割合が 9.3%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 8.4%となっています。“そう思う”の割合が 45.0%となっています。

年齢別にみると、20 歳代で“そう思う”の割合が 26.5%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「どちらかといえばそう思う」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 6.3 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そう思う”の割合が、良好なグループよりも 25 ポイント以上低くなっています。

図 ⑤この地域の役に立ちたい



### ⑥この地域の一員であると実感できる

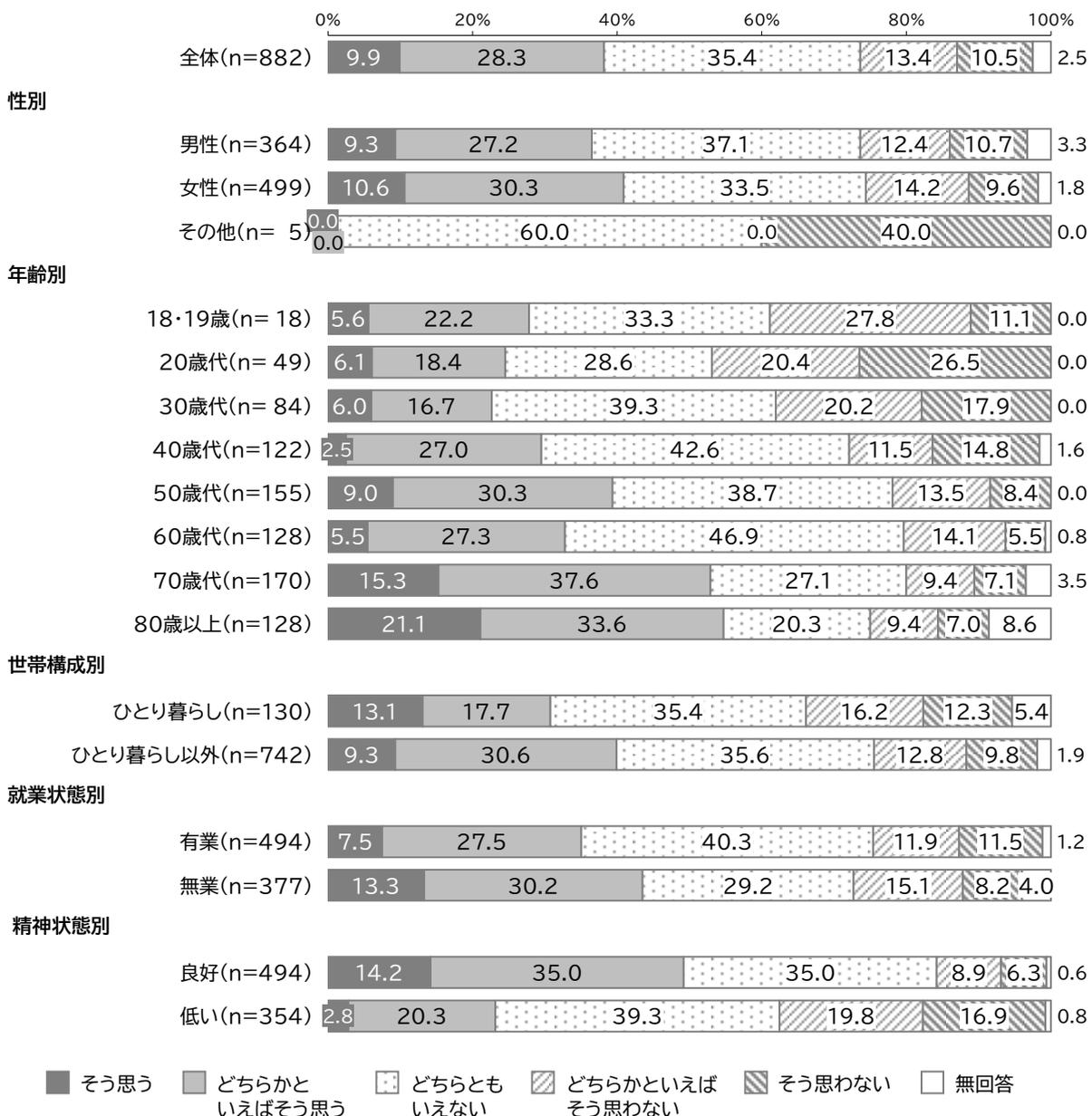
この地域の一員であると実感できるということについて、「どちらともいえない」と回答した割合が 35.4%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 28.3%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 13.4%、「そう思わない」と回答した割合が 10.5%となっています。「そう思う」の割合が 38.2%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そう思う”の割合は高くなる傾向にあり、70 歳以上で5割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そう思う”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 9.1 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そう思う”の割合が、良好なグループよりも 25 ポイント以上低くなっています。

図 ⑥この地域の一員であると実感できる



⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい

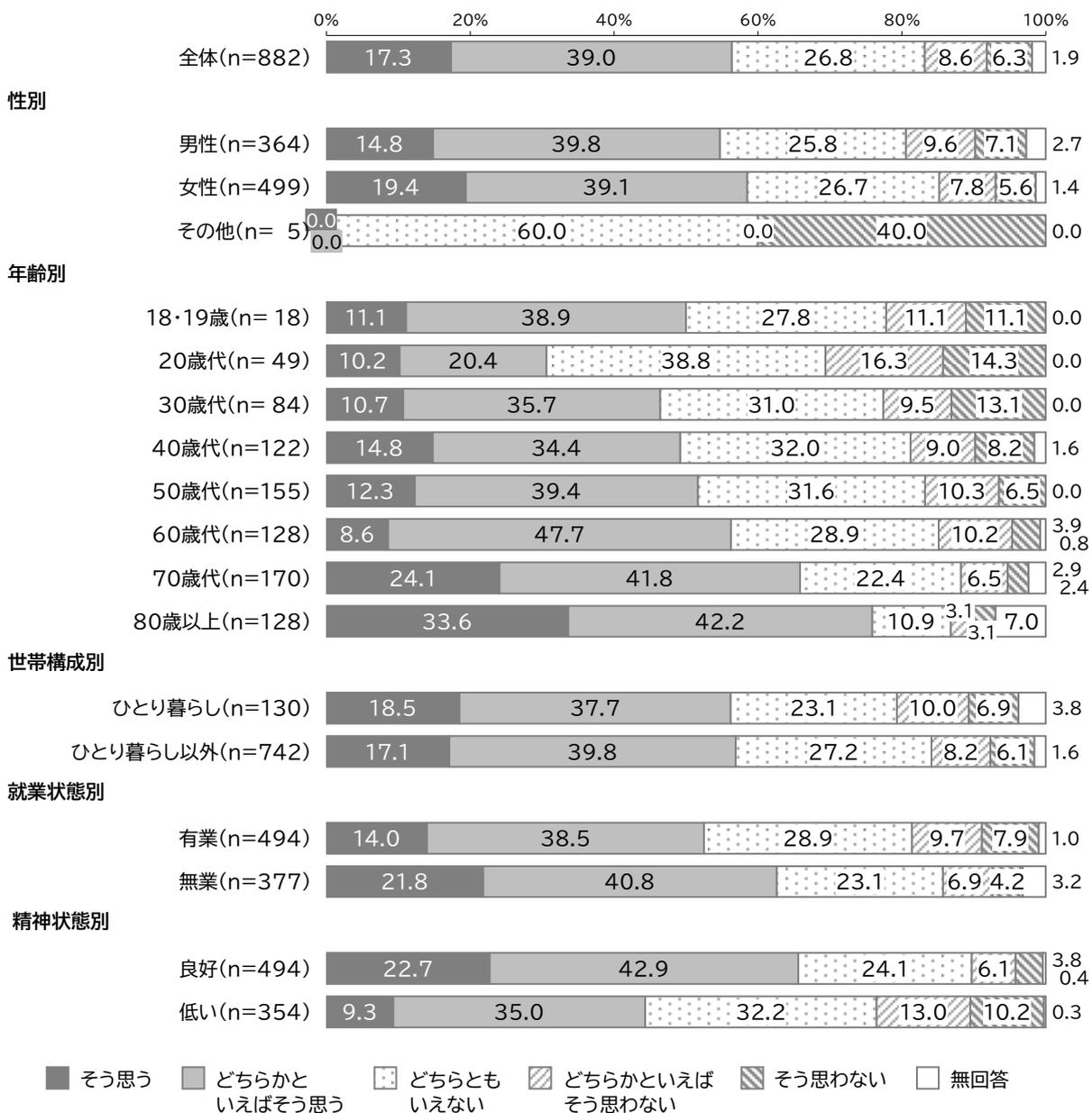
この地域の中でのつながりを大事にしたいということについて、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 39.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 26.8%、「そう思う」と回答した割合が 17.3%となっています。“そう思う”の割合が 56.3%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そう思う”の割合は高くなる傾向にあり、80 歳以上で7割台となっています。また、20 歳代で“そう思う”の割合が3割程度と、他の年代に比べて特に低くなっています。

就業状態別にみると、無業者の“そう思う”の割合が、有業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そう思う”の割合が、良好なグループよりも 20 ポイント以上低くなっています。

図 ⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい



⑧今後もこの地域に住み続けたい

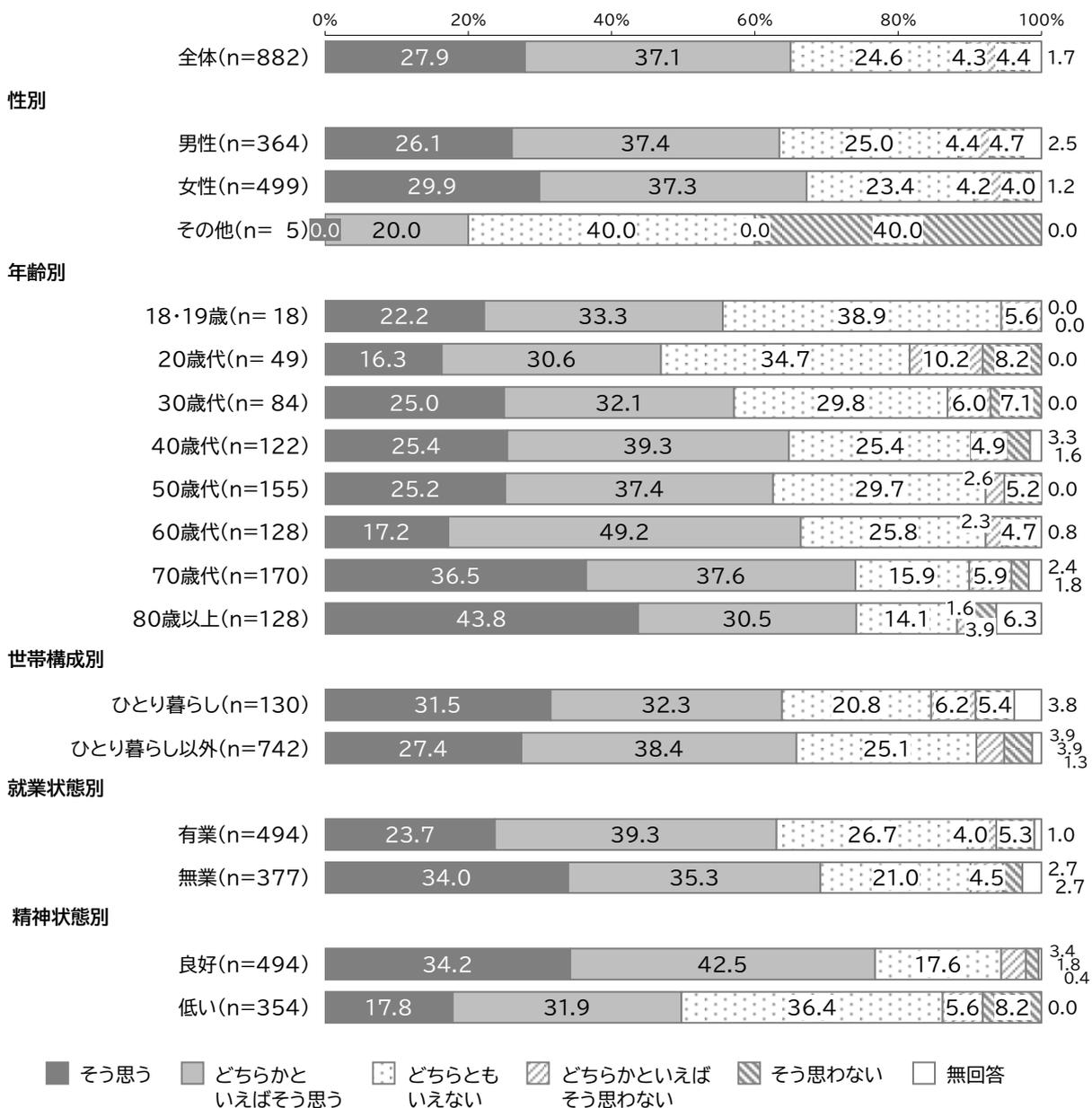
今後もこの地域に住み続けたいということについて、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 37.1%で最も高く、次いで「そう思う」と回答した割合が 27.9%、「どちらともいえない」と回答した割合が 24.6%となっています。「そう思う」の割合が 65.0%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そう思う”の割合は高くなる傾向にあり、70 歳以上で7割台となっています。

就業状態別にみると、無業者の“そう思う”の割合が、有業者よりも 6.3 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そう思う”の割合が、良好なグループよりも 25 ポイント以上低くなっています。

図 ⑧今後もこの地域に住み続けたい



## 2 日常の悩みやストレスについて

### (1) 悩みやストレスの有無

問6 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。(〇は1つ)

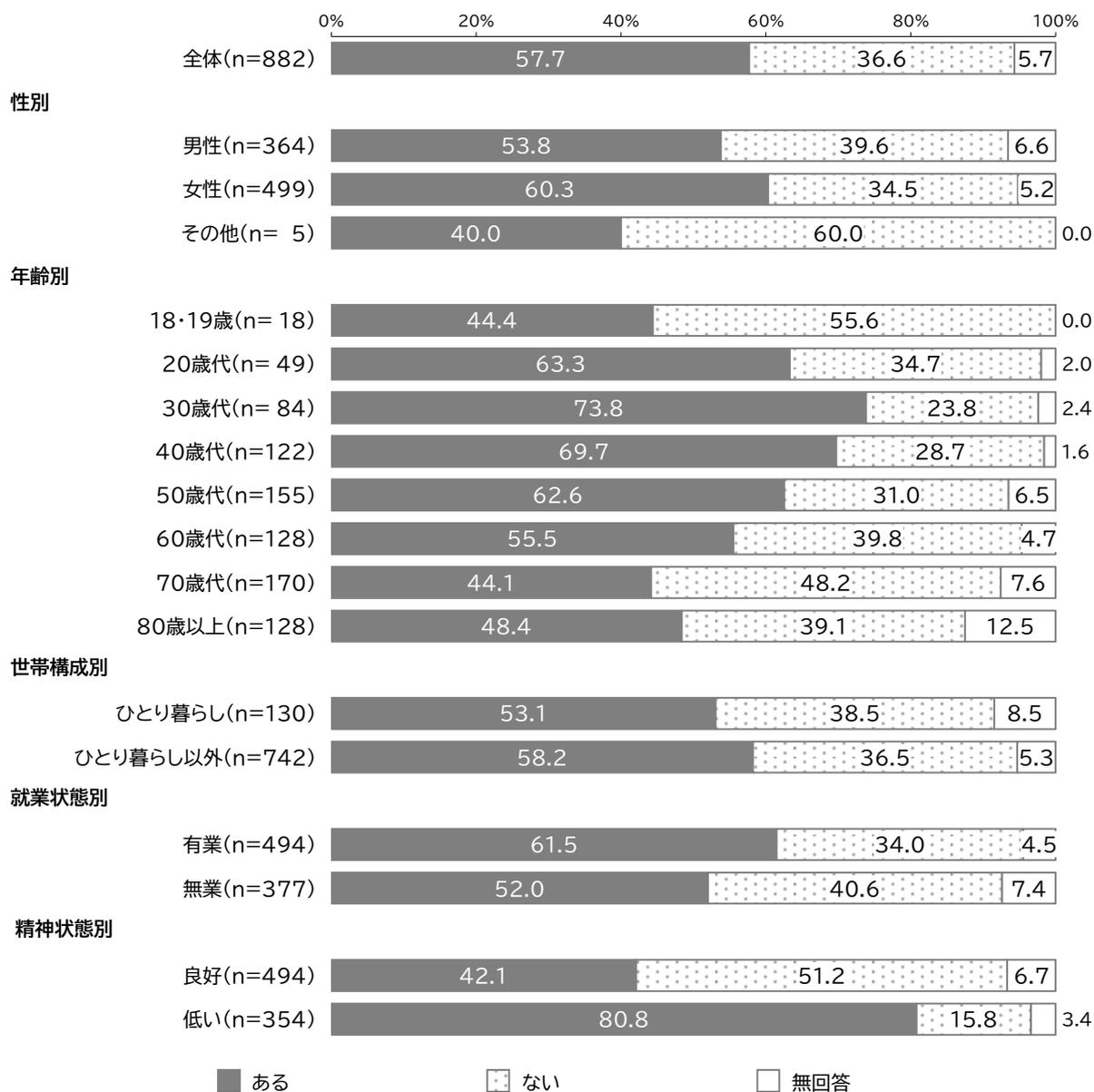
悩みやストレスの有無をみると、「ある」と回答した割合が 57.7%、「ない」と回答した割合が 36.6%となっています。

性別にみると、女性の「ある」の割合が、男性よりも 6.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代～50 歳代で「ある」の割合が他の年代に比べて高く、30 歳代で7割台となっています。

精神状態別にみると、低いグループの「ある」の割合が、良好なグループの約2倍となっています。

図 悩みやストレスの有無



## (2) 悩みやストレスの内容

問6で「1. ある」と回答された方にお聞きします。

問7 どのような悩みやストレスがありますか。(〇はいくつでも) その他の回答がある場合は、「20」に記入してください。

問7-1 問7で回答した中で、最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

悩みやストレスの内容をみると、「自分の仕事」と回答した割合が 43.2%で最も高く、次いで「収入・家計・借金等」と回答した割合が 41.3%、「自分の病気や介護」と回答した割合が 34.0%、「家族との人間関係」と回答した割合が 31.2%となっています。最も気になる悩みやストレスの要因も、同様の順番で高くなっています。

性別にみると、男性は「自分の仕事」「収入・家計・借金等」「家族以外との人間関係」の割合が、女性より10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、30歳代～40歳代で「自分の仕事」、80歳以上で「自分の病気や介護」の割合が特に高くなっています。

図 悩みやストレスの内容

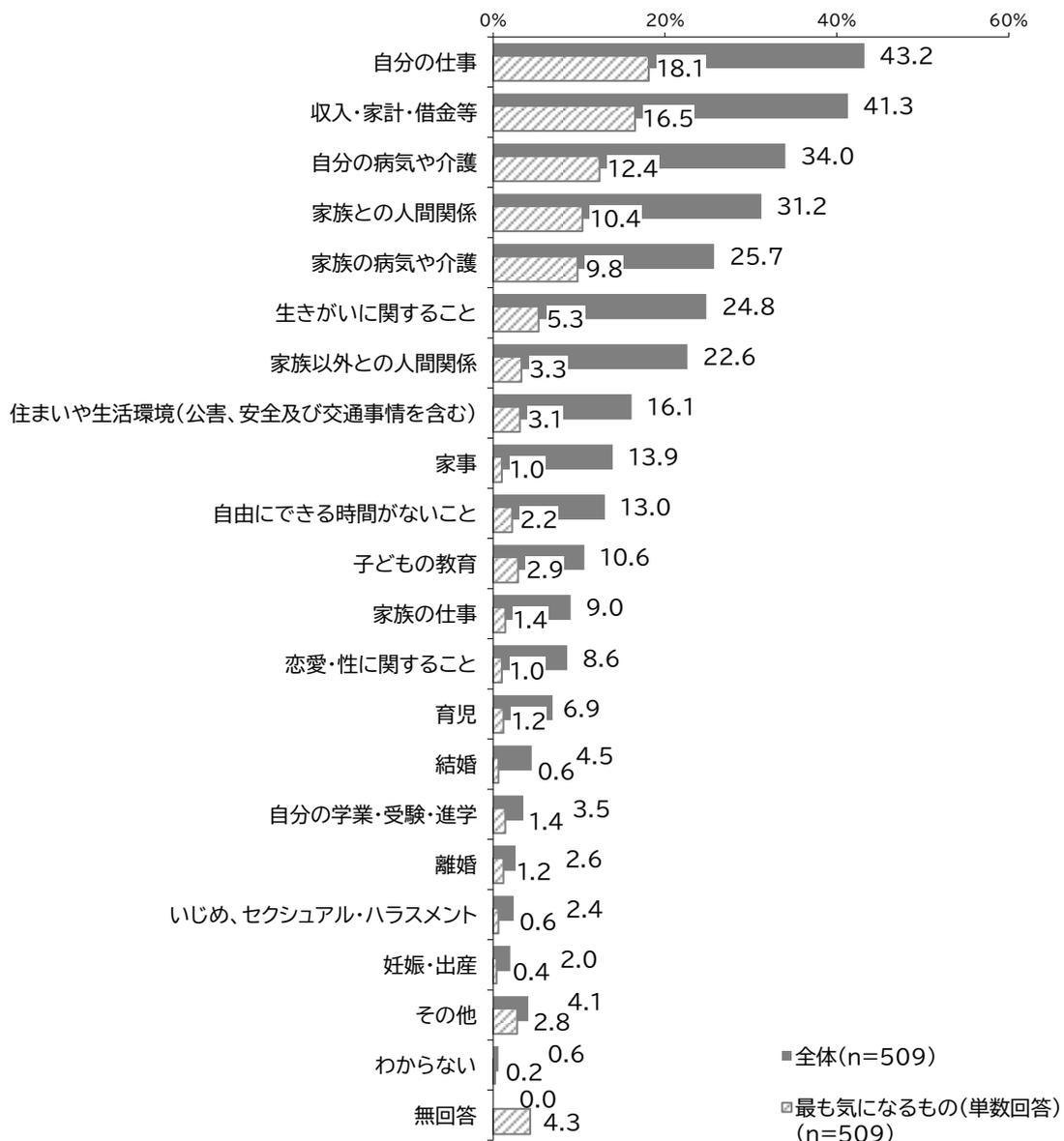


表 悩みやストレスの内容

		回答者数(n)	自分の仕事	収入・家計・借金等	自分の病気や介護	家族との人間関係	家族の病気や介護	生きがいに関すること	家族以外との人間関係	住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事情を含む)	家事	自由にできる時間がないこと	子どもの教育
全体		509	43.2	41.3	34.0	31.2	25.7	24.8	22.6	16.1	13.9	13.0	10.6
性別	男性	196	54.6	48.0	33.7	26.5	25.0	28.6	28.6	18.9	10.2	12.2	8.7
	女性	301	34.6	36.9	34.6	33.6	26.6	21.6	18.6	14.0	15.9	13.0	11.6
	その他	2	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0
年齢別	18・19歳	8	37.5	25.0	12.5	25.0	-	37.5	50.0	12.5	-	12.5	-
	20歳代	31	58.1	54.8	3.2	29.0	6.5	32.3	32.3	6.5	16.1	12.9	3.2
	30歳代	62	62.9	48.4	24.2	32.3	12.9	30.6	29.0	14.5	24.2	27.4	17.7
	40歳代	85	67.1	41.2	25.9	30.6	21.2	25.9	28.2	16.5	16.5	15.3	30.6
	50歳代	97	59.8	45.4	25.8	34.0	43.3	20.6	28.9	9.3	8.2	14.4	12.4
	60歳代	71	36.6	43.7	36.6	38.0	23.9	26.8	18.3	11.3	9.9	7.0	2.8
	70歳代	75	9.3	38.7	44.0	32.0	30.7	17.3	14.7	25.3	12.0	5.3	-
	80歳以上	62	4.8	24.2	71.0	19.4	25.8	27.4	9.7	25.8	14.5	6.5	-
世帯構成別	ひとり暮らし	69	37.7	37.7	52.2	29.0	8.7	37.7	23.2	20.3	10.1	2.9	-
	ひとり暮らし以外	432	43.3	41.7	31.5	31.5	28.7	22.7	22.2	14.8	14.4	14.1	12.3
就業状態別	有業	304	64.8	45.4	23.4	32.2	27.6	22.7	28.9	13.5	12.5	16.1	14.1
	無業	196	9.2	34.7	51.5	29.6	23.5	27.0	12.8	19.9	15.8	7.1	4.6
精神状態別	良好	208	37.0	34.6	27.4	28.8	25.0	15.9	18.3	11.1	12.5	9.1	13.0
	低い	286	49.3	46.9	37.4	33.2	26.2	31.5	25.9	18.9	14.3	15.7	9.4

		回答者数(n)	家族の仕事	こと 恋愛・性に関する	育児	結婚	進学 自分の学業・受験・	離婚	アル・ハラスメント	いじめ、セクシユ	妊娠・出産	その他	わからない	無回答
全体		509	9.0	8.6	6.9	4.5	3.5	2.6	2.4	2.0	4.1	0.6	-	
性別	男性	196	9.7	9.7	5.1	3.6	4.1	3.1	3.1	1.0	2.0	0.5	-	
	女性	301	8.3	8.3	7.6	5.0	2.7	2.3	1.7	2.3	5.3	0.7	-	
	その他	2	50.0	-	50.0	50.0	100.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	
年齢別	18・19歳	8	-	50.0	-	-	87.5	-	-	-	12.5	-	-	
	20歳代	31	9.7	25.8	16.1	16.1	16.1	-	-	6.5	3.2	-	-	
	30歳代	62	9.7	24.2	17.7	17.7	3.2	4.8	4.8	8.1	3.2	-	-	
	40歳代	85	12.9	7.1	18.8	2.4	2.4	2.4	3.5	2.4	3.5	-	-	
	50歳代	97	9.3	6.2	1.0	3.1	1.0	3.1	3.1	-	1.0	1.0	-	
	60歳代	71	9.9	2.8	-	-	-	2.8	1.4	-	7.0	-	-	
	70歳代	75	6.7	2.7	-	1.3	-	1.3	1.3	-	5.3	2.7	-	
	80歳以上	62	3.2	-	-	-	-	1.6	-	-	4.8	-	-	
世帯構成別	ひとり暮らし	69	1.4	13.0	-	5.8	1.4	2.9	2.9	-	7.2	2.9	-	
	ひとり暮らし以外	432	10.0	8.1	7.6	4.2	3.7	2.5	2.1	2.1	3.5	0.2	-	
就業状態別	有業	304	11.2	9.9	9.2	5.9	1.6	2.6	2.6	2.6	2.3	-	-	
	無業	196	5.1	7.1	2.6	2.0	6.1	2.6	1.5	0.5	6.1	1.5	-	
精神状態別	良好	208	8.2	8.2	9.1	4.8	4.8	1.9	1.4	2.4	3.4	0.5	-	
	低い	286	10.1	9.1	5.6	4.5	2.8	2.8	3.1	1.7	4.5	0.7	-	

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

表 最も気になる悩みやストレスの内容(単数選択)

		回答者数(n)	自分の仕事	収入・家計・借金等	自分の病気や介護	家族との人間関係	家族の病気や介護	生きがいに関すること	家族以外との人間関係	住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事情を含む)	家事	自由な時間がないこと	子どもの教育
全体		509	18.1	16.5	12.4	10.4	9.8	5.3	3.3	3.1	1.0	2.2	2.9
性別	男性	196	24.0	19.4	10.2	7.7	8.7	6.6	3.1	3.1	-	1.5	2.6
	女性	301	13.3	15.3	14.3	11.6	11.0	4.7	3.7	3.3	1.7	2.0	3.3
	その他	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18・19歳	8	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-
	20歳代	31	32.3	12.9	3.2	9.7	-	9.7	6.5	3.2	-	-	-
	30歳代	62	29.0	19.4	6.5	4.8	3.2	3.2	3.2	-	-	3.2	3.2
	40歳代	85	34.1	11.8	7.1	8.2	2.4	5.9	2.4	3.5	-	3.5	10.6
	50歳代	97	21.6	19.6	6.2	10.3	19.6	3.1	3.1	2.1	2.1	1.0	3.1
	60歳代	71	11.3	18.3	11.3	19.7	11.3	8.5	5.6	-	1.4	-	1.4
	70歳代	75	1.3	22.7	16.0	12.0	14.7	6.7	4.0	6.7	-	1.3	-
	80歳以上	62	1.6	9.7	37.1	6.5	12.9	3.2	-	6.5	3.2	3.2	-
世帯構成別	ひとり暮らし	69	17.4	11.6	20.3	10.1	2.9	7.2	-	7.2	-	1.4	-
	ひとり暮らし以外	432	17.6	17.6	11.3	10.6	11.1	5.1	3.7	2.3	1.2	2.1	3.5
就業状態別	有業	304	27.0	19.4	5.3	10.2	9.9	4.6	3.9	2.3	-	2.0	3.9
	無業	196	3.6	11.7	24.0	11.2	10.2	6.1	2.6	4.6	2.6	1.5	1.5
精神状態別	良好	208	14.9	15.4	10.6	13.5	10.6	3.4	3.4	3.4	1.4	1.0	4.8
	低い	286	20.6	17.8	13.3	8.4	9.1	7.0	3.5	2.4	0.7	3.1	1.7

		回答者数(n)	家族の仕事	恋愛・性に関すること	育児	結婚	進学	自分の学業・受験・	離婚	いじめ、セクシユアル・ハラスメント	妊娠・出産	その他	わからない	無回答
全体		509	1.4	1.0	1.2	0.6	1.4	1.2	1.2	0.6	0.4	2.8	0.2	4.3
性別	男性	196	1.0	1.5	-	0.5	1.0	1.5	0.5	-	-	1.5	-	5.6
	女性	301	1.7	0.7	2.0	0.7	1.7	1.0	0.7	0.7	0.7	3.3	0.3	3.3
	その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
年齢別	18・19歳	8	-	12.5	-	-	37.5	-	-	-	-	12.5	-	-
	20歳代	31	3.2	6.5	-	-	12.9	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	62	-	1.6	9.7	3.2	-	3.2	-	3.2	1.6	-	-	1.6
	40歳代	85	1.2	-	-	1.2	-	1.2	1.2	-	1.2	-	-	4.7
	50歳代	97	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-	5.2
	60歳代	71	1.4	-	-	-	-	1.4	1.4	-	-	4.2	-	2.8
	70歳代	75	4.0	1.3	-	-	-	-	-	-	-	4.0	1.3	4.0
	80歳以上	62	1.6	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	9.7
世帯構成別	ひとり暮らし	69	-	1.4	-	1.4	1.4	1.4	-	-	-	4.3	1.4	10.1
	ひとり暮らし以外	432	1.6	0.9	1.4	0.5	1.4	1.2	0.7	0.5	0.5	2.3	-	3.5
就業状態別	有業	304	1.3	1.0	1.6	1.0	-	1.0	0.7	0.7	1.0	-	-	3.3
	無業	196	1.5	1.0	0.5	-	3.6	1.5	0.5	-	5.1	0.5	-	6.1
精神状態別	良好	208	1.4	1.4	2.4	0.5	2.9	1.4	-	0.5	2.9	-	-	4.3
	低い	286	1.4	0.7	0.3	0.7	0.3	1.0	1.0	0.3	2.8	0.3	-	3.1

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

### (3) 悩みやストレスの相談状況

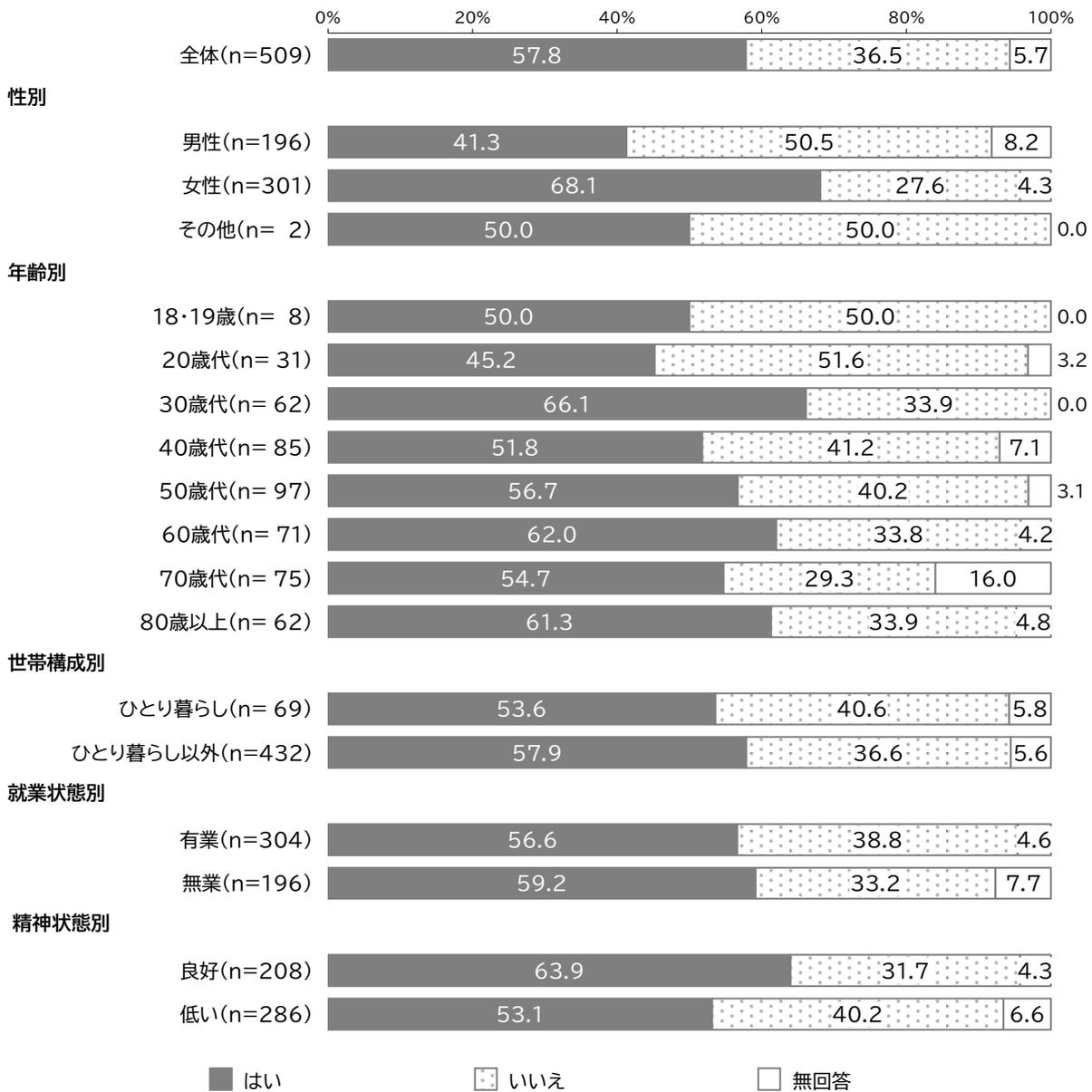
問8 あなたは、問7で回答した悩みやストレスを相談していますか。

悩みやストレスの相談の有無をみると、「相談している」と回答した割合が 57.8%、「相談していない」と回答した割合が 36.5%となっています。

性別にみると、男性の「相談している」の割合が、女性よりも 20 ポイント以上低くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「相談している」の割合が、良好なグループよりも約 10 ポイント低くなっています。

図 悩みやストレスの相談状況



#### (4) 悩みやストレスの相談相手

問8で「1. はい」と回答された方にお聞きします。

問9 悩みやストレスを、どのように相談していますか。(〇はいくつでも)

問9-1 問9で回答した中で、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談しているのか、あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

悩みやストレスの相談相手を見ると、「家族に相談している」と回答した割合が 75.2%で最も高く、次いで「友人・知人に相談している」と回答した割合が 53.4%、「病院・診療所の医師に相談している」と回答した割合が 24.1%、「職場の上司、学校の先生に相談している」と回答した割合が 13.6%となっています。最も気になる悩みやストレスの相談相手についても、同様の順番で高くなっています。

年齢別にみると、30 歳代で「友人・知人に相談している」、70 歳以上で「病院・診療所の医師に相談している」の割合が、他の年代に比べて高くなっています。

就業状態別にみると、有業者で「友人・知人に相談している」、無業者で「病院・診療所の医師に相談している」と「公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している」の割合が、それぞれ高くなっています。

精神状態別にみると、良好なグループの「友人・知人に相談している」の割合が、低いグループよりも 10 ポイント以上高くなっています。

属性別に述べた内容は、最も気になる悩みやストレスの相談相手でも、同様に高い割合を示しています。

図 悩みやストレスの相談相手

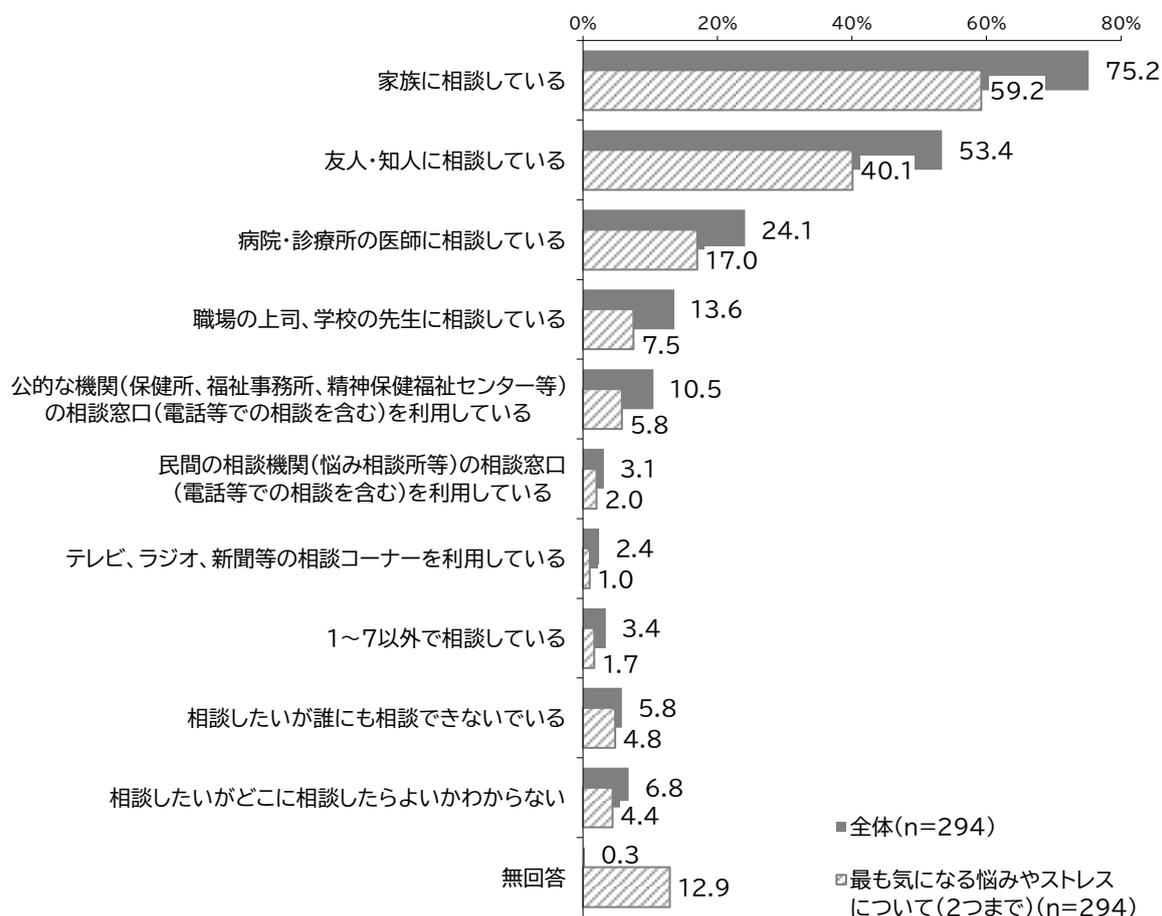


表 悩みやストレスの相談相手

		回答者数(n)	家族に相談している	友人・知人に相談している	病院・診療所の医師に相談している	職場の上司、学校の先生に相談している	公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等)での相談を含む)を利用している	民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等)での相談を含む)を利用している	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	1〜7以外で相談している	相談したいが誰にも相談できないでいる	相談したいがどこにも相談したらよいかわからない	無回答
全体		294	75.2	53.4	24.1	13.6	10.5	3.1	2.4	3.4	5.8	6.8	0.3
性別	男性	81	70.4	43.2	33.3	14.8	6.2	6.2	2.5	4.9	4.9	9.9	1.2
	女性	205	77.6	57.1	21.0	13.2	12.2	1.5	2.0	2.0	5.9	5.4	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-
年齢別	18・19歳	4	50.0	75.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	20歳代	14	92.9	85.7	7.1	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	41	80.5	70.7	14.6	24.4	9.8	2.4	-	7.3	2.4	4.9	-
	40歳代	44	77.3	52.3	20.5	22.7	6.8	2.3	2.3	-	6.8	4.5	-
	50歳代	55	74.5	60.0	20.0	12.7	5.5	1.8	5.5	5.5	5.5	3.6	1.8
	60歳代	44	75.0	61.4	22.7	9.1	9.1	4.5	-	2.3	-	9.1	-
	70歳代	41	70.7	41.5	39.0	4.9	14.6	7.3	2.4	-	4.9	12.2	-
	80歳以上	38	73.7	18.4	42.1	5.3	23.7	2.6	5.3	2.6	13.2	10.5	-
世帯構成別	ひとり暮らし	37	54.1	54.1	27.0	10.8	18.9	8.1	8.1	-	5.4	13.5	2.7
	ひとり暮らし以外	250	78.8	53.2	24.4	14.0	9.6	2.4	1.6	3.2	5.6	5.6	-
就業状態別	有業	172	79.7	59.3	15.7	19.8	4.7	2.9	1.2	2.9	2.9	5.8	-
	無業	116	69.8	44.8	37.9	4.3	19.8	3.4	4.3	2.6	9.5	7.8	0.9
精神状態別	良好	133	78.9	61.7	20.3	14.3	13.5	3.0	2.3	3.0	0.8	3.0	-
	低い	152	73.0	48.0	27.0	13.8	7.2	3.3	2.0	3.9	9.2	9.9	0.7

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

表 最も気になる悩みやストレスの相談相手(2つまで)

		回答者数(n)	家族に相談している	友人・知人に相談している	病院・診療所の医師に相談している	職場の上司、学校の先生に相談している	公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	1〜7以外で相談している	相談したいが誰にも相談できないでいる	相談したいがどこに相談したらよいかわからない	無回答
全体		294	59.2	40.1	17.0	7.5	5.8	2.0	1.0	1.7	4.8	4.4	12.9
性別	男性	81	53.1	28.4	22.2	4.9	1.2	3.7	-	3.7	3.7	6.2	19.8
	女性	205	62.0	44.4	15.6	8.3	7.3	1.5	1.5	1.0	5.4	3.9	9.8
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年齢別	18・19歳	4	50.0	75.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	20歳代	14	92.9	71.4	7.1	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	41	65.9	53.7	4.9	12.2	2.4	2.4	-	2.4	2.4	4.9	9.8
	40歳代	44	63.6	40.9	13.6	11.4	2.3	2.3	2.3	-	6.8	2.3	15.9
	50歳代	55	60.0	49.1	10.9	5.5	5.5	-	3.6	3.6	5.5	1.8	12.7
	60歳代	44	63.6	50.0	13.6	9.1	4.5	2.3	-	2.3	-	4.5	4.5
	70歳代	41	48.8	29.3	36.6	2.4	9.8	7.3	-	-	2.4	9.8	7.3
	80歳以上	38	44.7	-	31.6	-	10.5	-	-	2.6	10.5	7.9	34.2
世帯構成別	ひとり暮らし	37	37.8	32.4	13.5	8.1	13.5	5.4	2.7	-	5.4	10.8	24.3
	ひとり暮らし以外	250	63.2	40.8	18.0	7.6	4.8	1.6	0.8	2.0	4.8	3.6	10.4
就業状態別	有業	172	64.5	48.8	11.0	11.0	1.2	2.3	1.2	1.7	2.9	3.5	11.0
	無業	116	52.6	26.7	26.7	2.6	12.9	1.7	0.9	1.7	7.8	6.0	14.7
精神状態別	良好	133	63.9	47.4	14.3	7.5	9.0	2.3	0.8	1.5	0.8	2.3	6.8
	低い	152	56.6	35.5	19.1	7.9	2.6	2.0	1.3	2.0	7.2	5.9	17.1

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

## (5)インターネットの使用状況

問10 あなたは、インターネットをどのくらい使っていますか。スマートフォン、パソコン、タブレットなどでの利用を含みます。(〇は1つ)

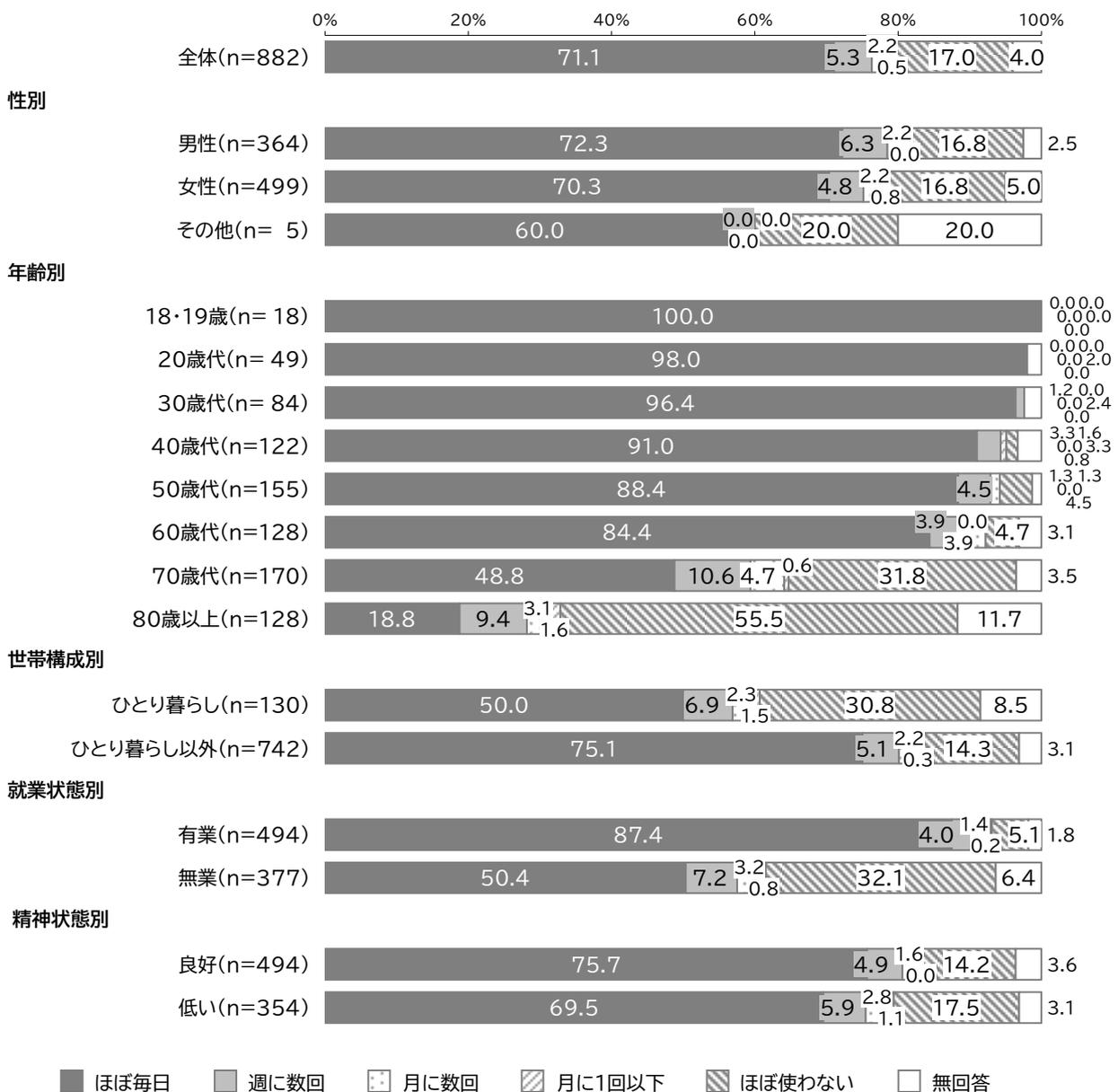
インターネットの使用状況を見ると、「ほぼ毎日」と回答した割合が71.1%で最も高く、次いで「ほぼ使わない」と回答した割合が17.0%、「週に数回」と回答した割合が5.3%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど「ほぼ使わない」の割合は高くなる傾向にあります。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯で「ほぼ使わない」の割合が約3割となっています。

就業状態別にみると、無業者で「ほぼ使わない」の割合が3割台となっています。

図 インターネットの使用状況



## (6)インターネットを介したコミュニケーションの頻度

問10で、「1. ほぼ毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」「4. 月に1回以下」と回答された方にお聞きします。

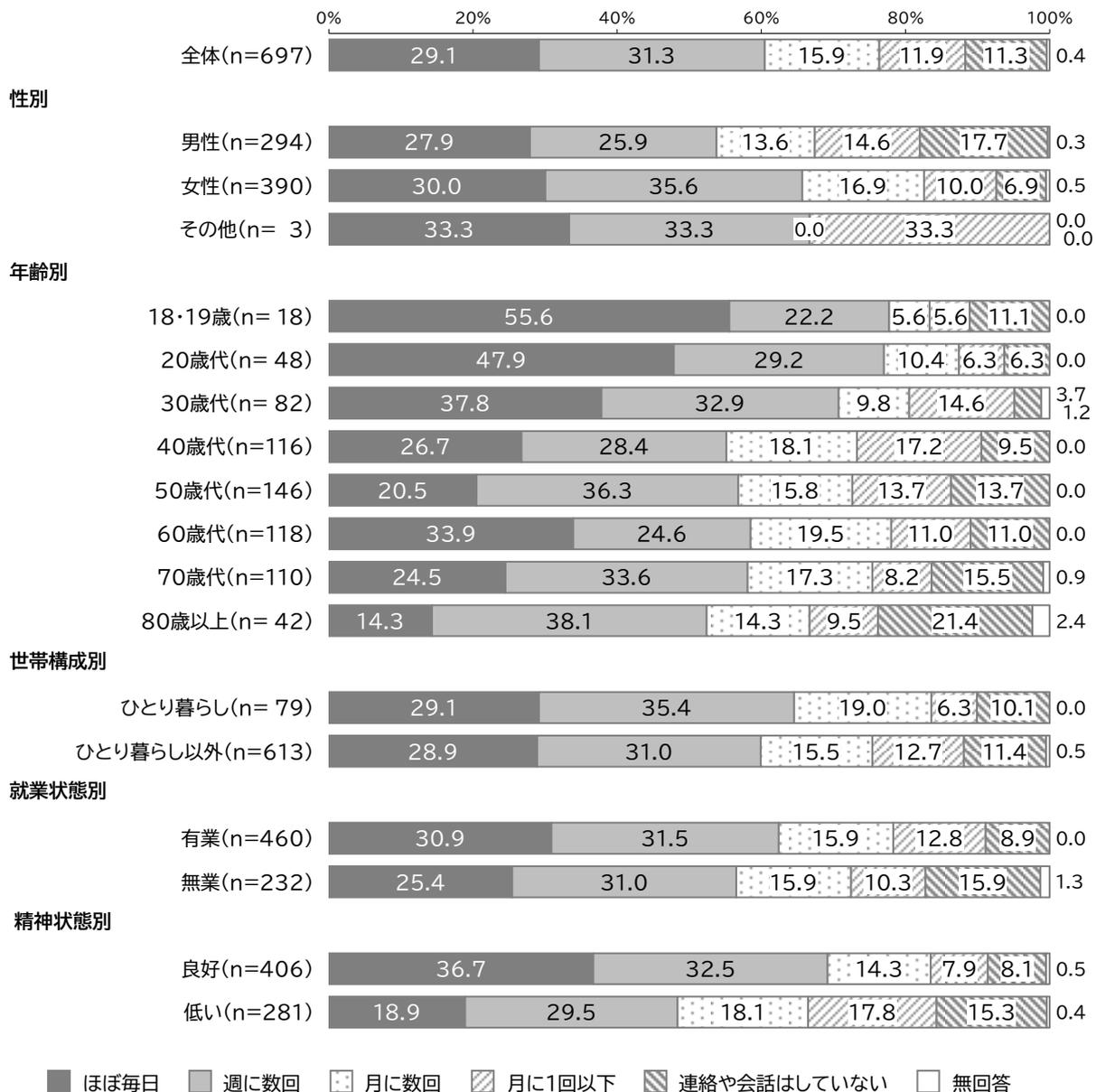
問10-1 あなたは、インターネットを介して、友人や仲間とどのくらいの頻度で連絡したり、会話したりしますか。(〇は1つ)

インターネットを介したコミュニケーションの頻度をみると、「週に数回」と回答した割合が31.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」と回答した割合が29.1%、「月に数回」と回答した割合が15.9%、「月に1回以下」と回答した割合が11.9%となっています。「ほぼ毎日」と「週に数回」と「月に数回」をあわせた“月に数回以上交流をする”の割合は、4人に3人程度となっています。

性別にみると、男性の“月に数回以上交流をする”の割合が、女性よりも15.1ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“月に数回以上交流をする”の割合が、良好なグループよりも17.0ポイント低くなっています。

図 インターネットを介したコミュニケーションの頻度



## (7)インターネットを介した悩みの相談状況

問10-1で、「1. ほぼ毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」「4. 月に1回以下」と回答された方にお聞きします。

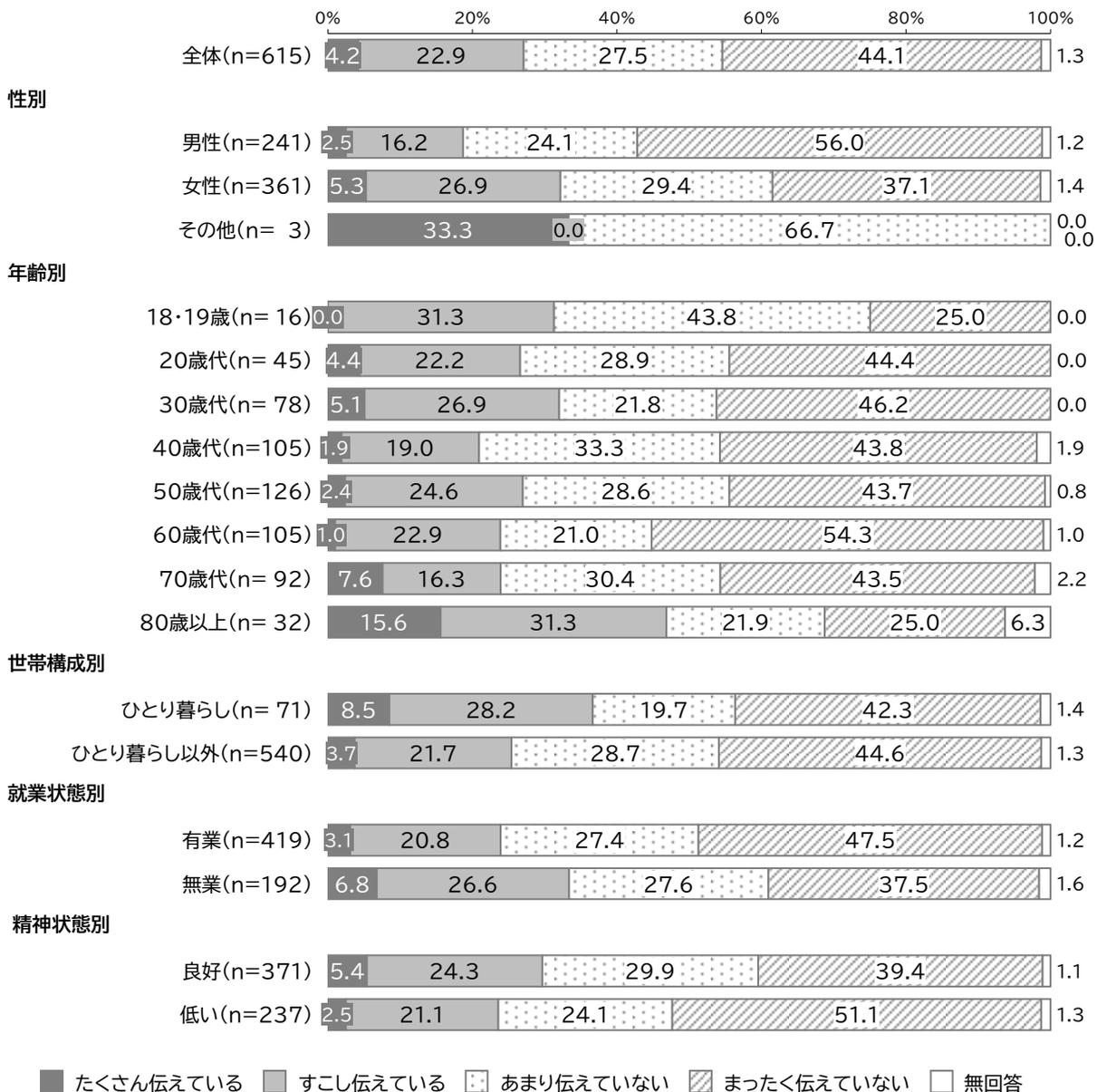
問10-2 あなたは、あなた自身の悩みを、インターネットを介してどのくらい伝えていますか。(〇は1つ)

インターネットを介した悩みの相談状況を見ると、「まったく伝えていない」と回答した割合が44.1%で最も高く、次いで「あまり伝えていない」と回答した割合が27.5%、「すこし伝えている」と回答した割合が22.9%となっています。「たくさん伝えている」と「すこし伝えている」をあわせた“伝えている”の割合が27.1%となっています。

年齢別にみると、80歳以上で“伝えている”の割合が46.9%と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“伝えている”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも10ポイント以上高くなっています。

図 インターネットを介した悩みの相談状況

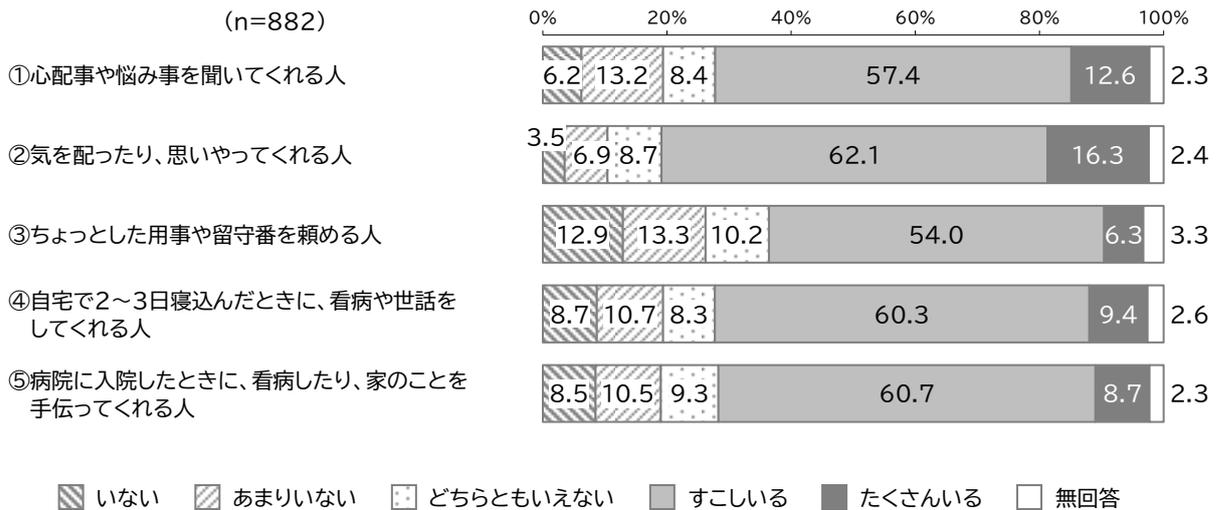


## (8) ソーシャルサポート

問11 あなたには、次のような人はいますか。(①から⑤について、それぞれ〇は1つ)

社会的関係の中でやりとりされる支援(ソーシャルサポート)をみると、どの項目も「いない」と「あまりいない」をあわせた“そのような人はいない”の割合が1~2割台となっており、「③ちょっとした用事や留守番を頼める人」の割合は26.2%となっています。

図 ソーシャルサポート



### ①心配事や悩み事を聞いてくれる人

心配事や悩み事を聞いてくれる人について、「すこしいる」と回答した割合が 57.4%で最も高く、次いで「あまりいない」と回答した割合が 13.2%、「たくさんいる」と回答した割合が 12.6%、「どちらともいえない」と回答した割合が 8.4%となっています。“そのような人はいない”の割合が 19.4%となっています。

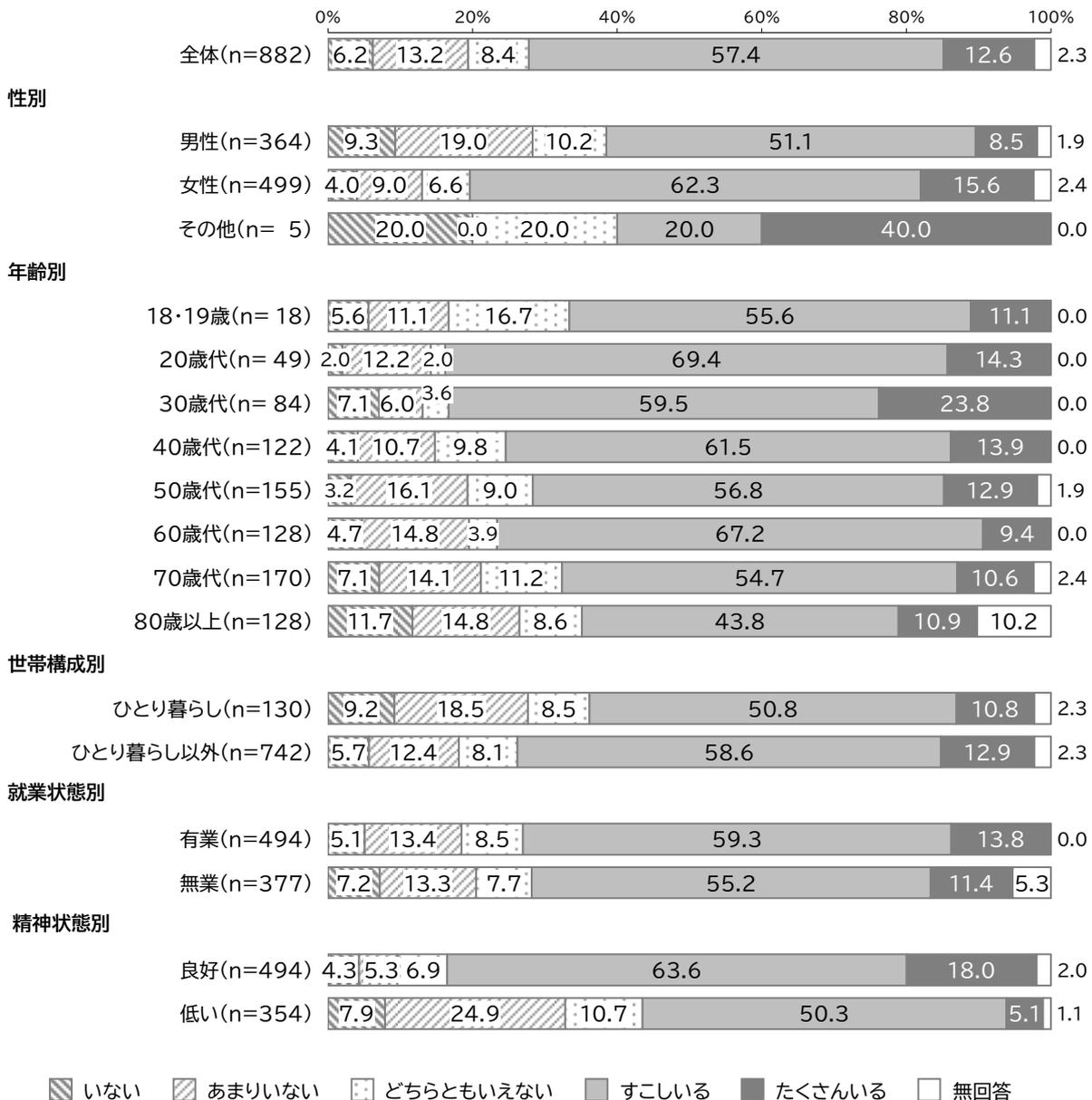
性別にみると、男性の“そのような人はいない”の割合が、女性よりも約 15 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そのような人はいない”の割合は高くなる傾向にあり、70 歳以上で 2 割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そのような人はいない”の割合が、良好なグループよりも 20 ポイント以上高くなっています。

図 ①心配事や悩み事を聞いてくれる人



## ②気を配ったり、思いやってくれる人

気を配ったり、思いやってくれる人について、「すこしいる」と回答した割合が 62.1%で最も高く、次いで「たくさんいる」と回答した割合が 16.3%、「どちらともいえない」と回答した割合が 8.7%、「あまりいない」と回答した割合が 6.9%となっています。「そのような人はいない」の割合が 10.4%となっています。

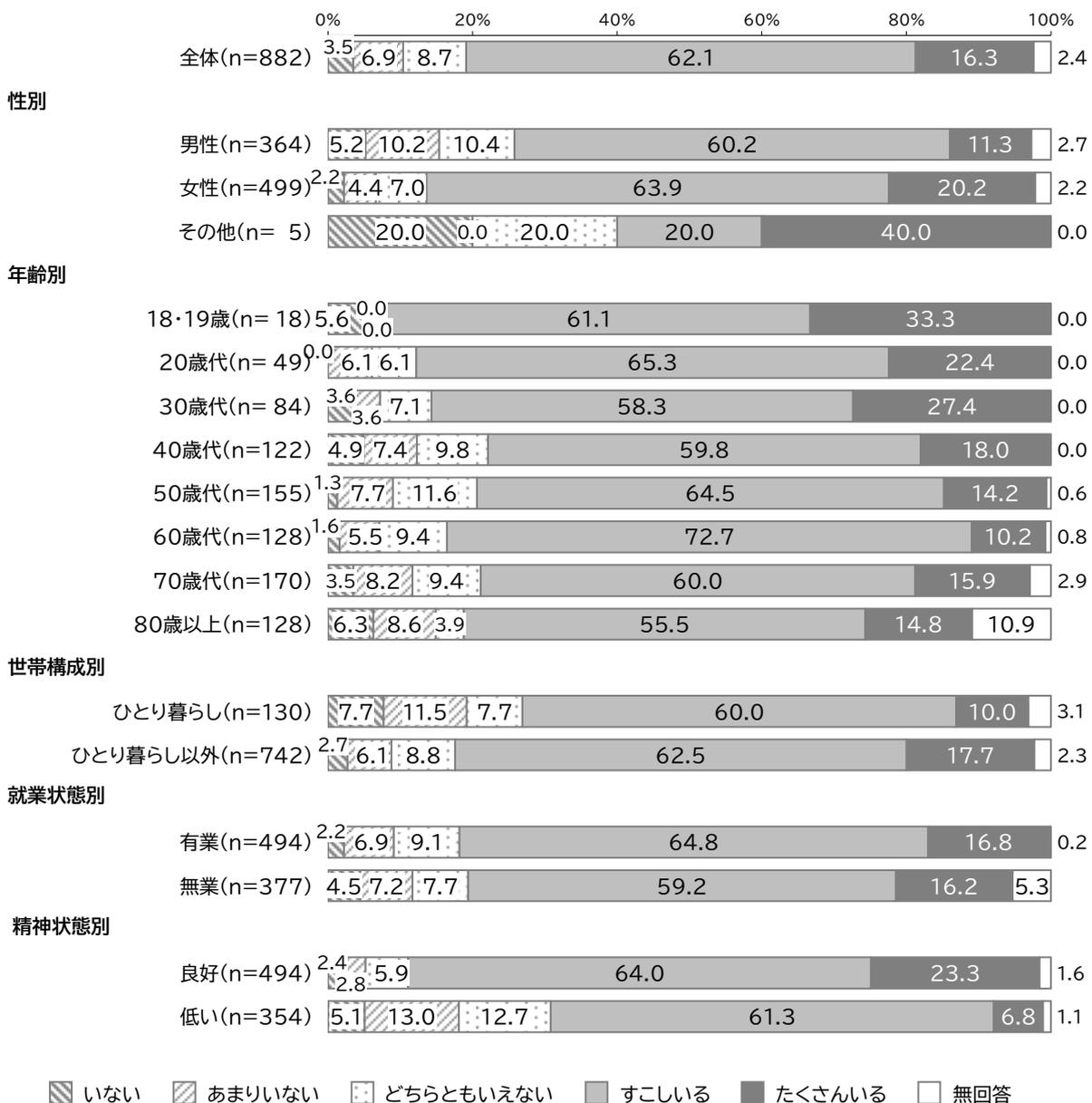
性別にみると、男性の“そのような人はいない”の割合が、女性よりも 8.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そのような人はいない”の割合は高くなる傾向にあり、80 歳以上で 14.9%となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そのような人はいない”の割合が、良好なグループよりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ②気を配ったり、思いやってくれる人



### ③ちょっとした用事や留守番を頼める人

ちょっとした用事や留守番を頼める人について、「すこしいる」と回答した割合が 54.0%で最も高く、次いで「あまりいない」と回答した割合が 13.3%、「いない」と回答した割合が 12.9%、「どちらともいえない」と回答した割合が 10.2%、「たくさんいる」と回答した割合が 6.3%となっています。“そのような人はいない”の割合が 26.2%となっています。

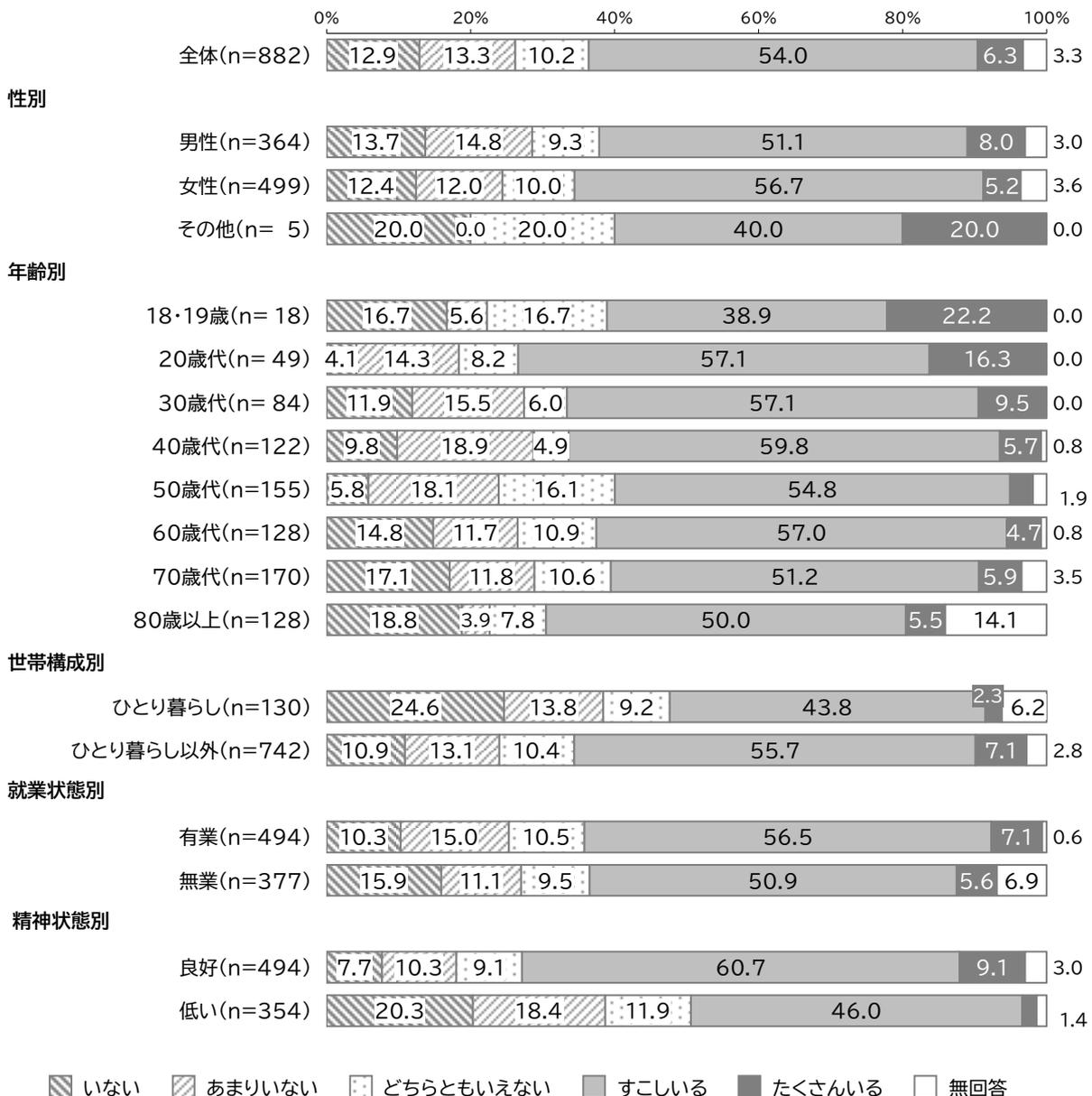
性別にみると、男性の“そのような人はいない”の割合が、女性よりも 4.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代で“そのような人はいない”の割合が2割程度と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 15 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そのような人はいない”の割合が、良好なグループよりも約 20 ポイント高くなっています。

図 ③ちょっとした用事や留守番を頼める人



#### ④自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

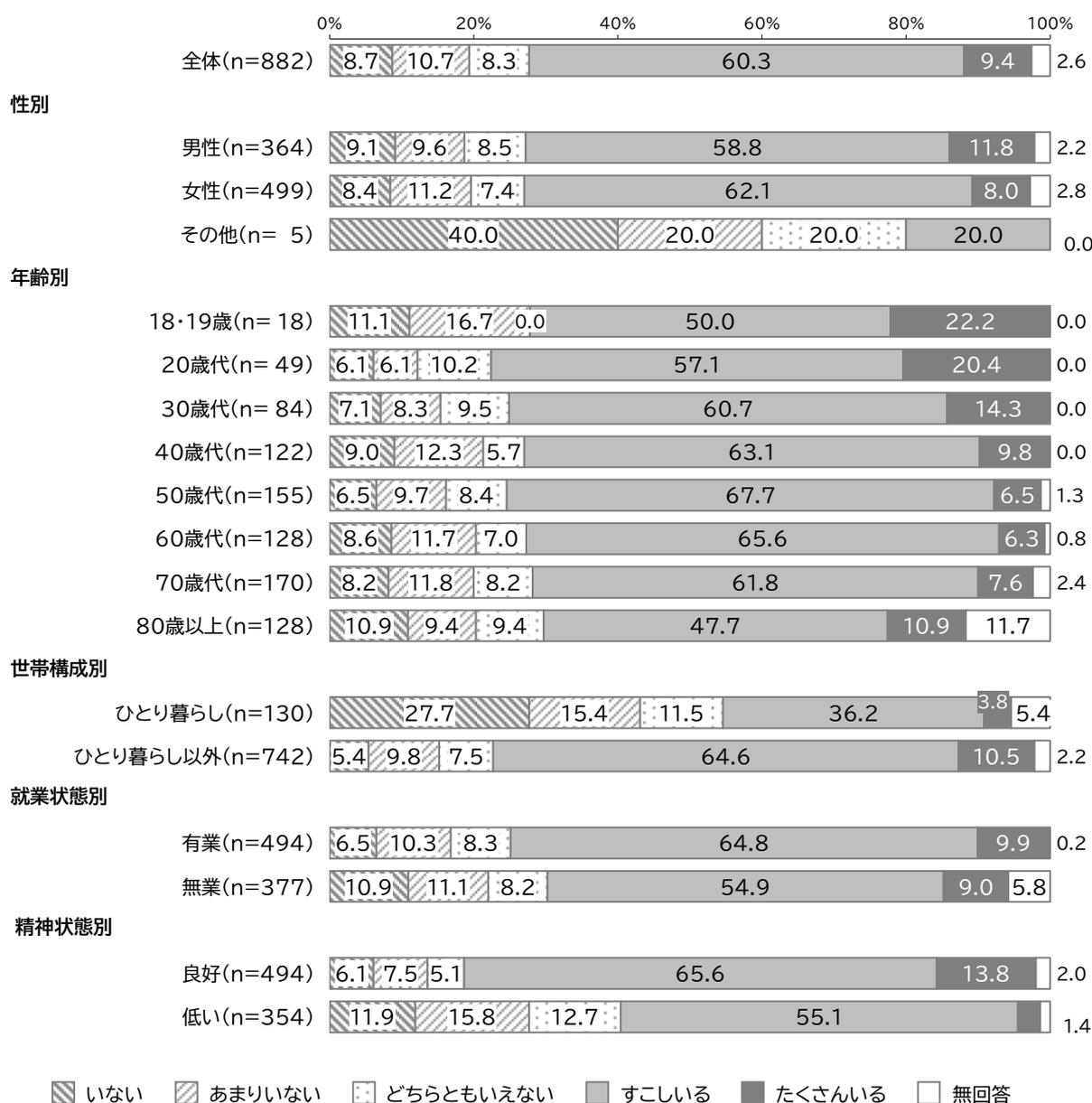
自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「すこしいる」と回答した割合が60.3%で最も高く、次いで「あまりいない」と回答した割合が10.7%、「たくさんいる」と回答した割合が9.4%、「いない」と回答した割合が8.7%、「どちらともいえない」と回答した割合が8.3%となっています。“そのような人はいない”の割合が19.4%となっています。

年齢別にみると、18・19歳で“そのような人はいない”の割合が27.8%と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも25ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そのような人はいない”の割合が、良好なグループよりも10ポイント以上高くなっています。

図 ④自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



### ⑤病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人

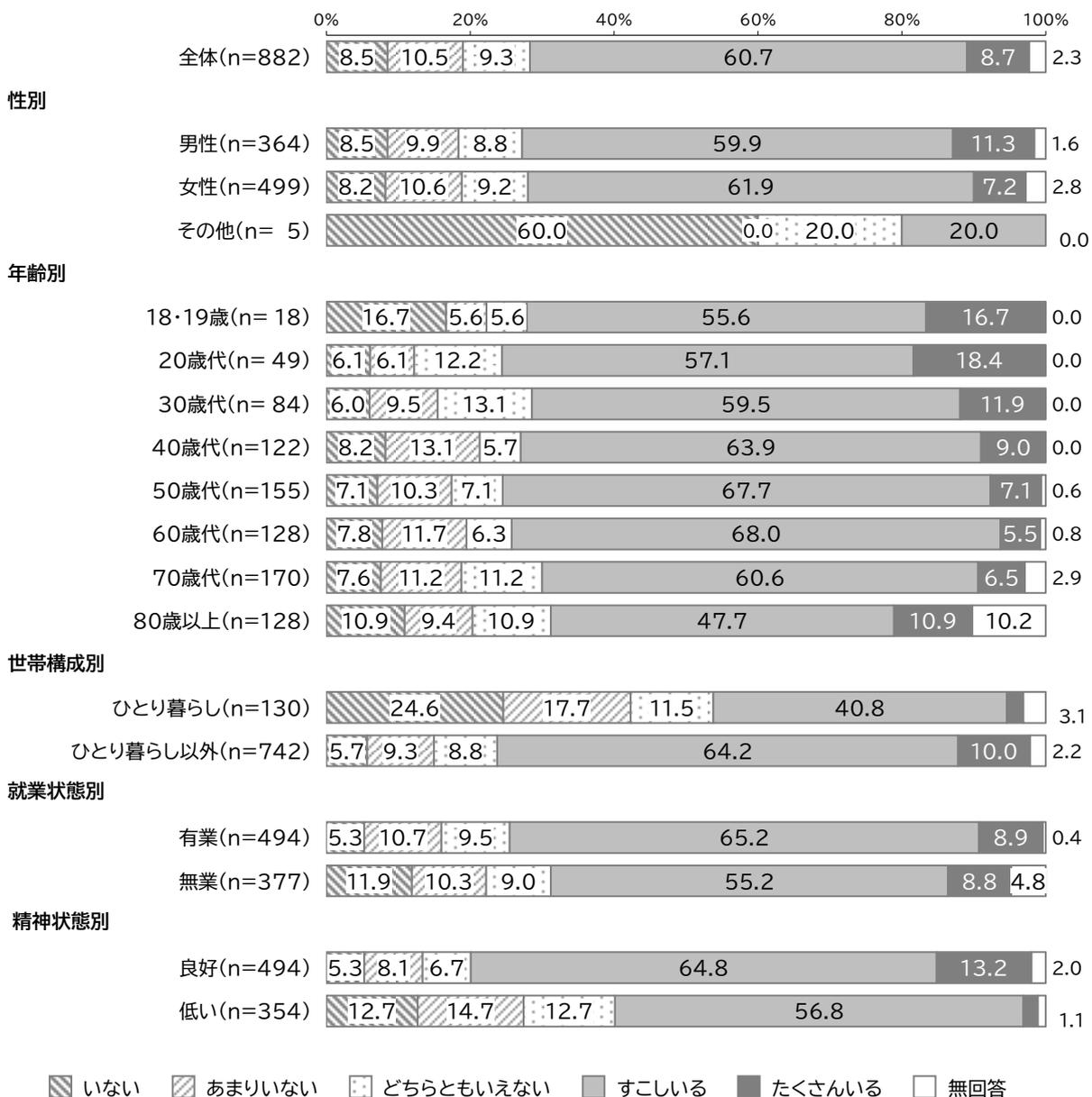
病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人について、「すこしいる」と回答した割合が60.7%で最も高く、次いで「あまりいない」と回答した割合が10.5%、「どちらともいえない」と回答した割合が9.3%、「たくさんいる」と回答した割合が8.7%、「いない」と回答した割合が8.5%となっています。“そのような人はいない”の割合が19.0%となっています。

年齢別にみると、20歳代で“そのような人はいない”の割合が12.2%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも25ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“そのような人はいない”の割合が、良好なグループよりも約15ポイント高くなっています。

図 ⑤病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人

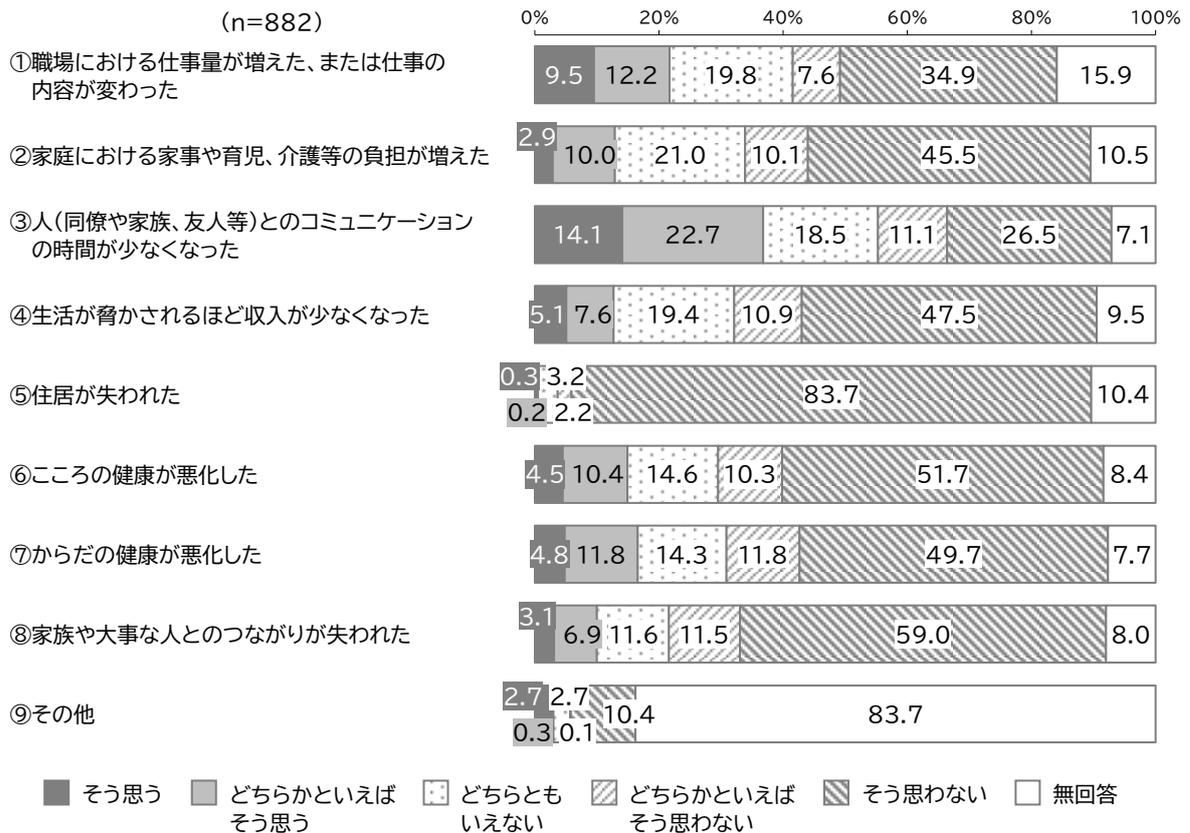


## (9)新型コロナウイルス感染症流行による影響

問12 新型コロナウイルス感染症の流行以降に、あなたの生活に起こった変化について最も合うものを教えてください。(①から⑨について、それぞれ〇は1つ)

新型コロナウイルス感染症流行による影響をみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“変化があった”の割合が「③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった」で 36.8%、「①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった」で 21.7%となっています。

図 新型コロナウイルス感染症流行による影響



### ①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった

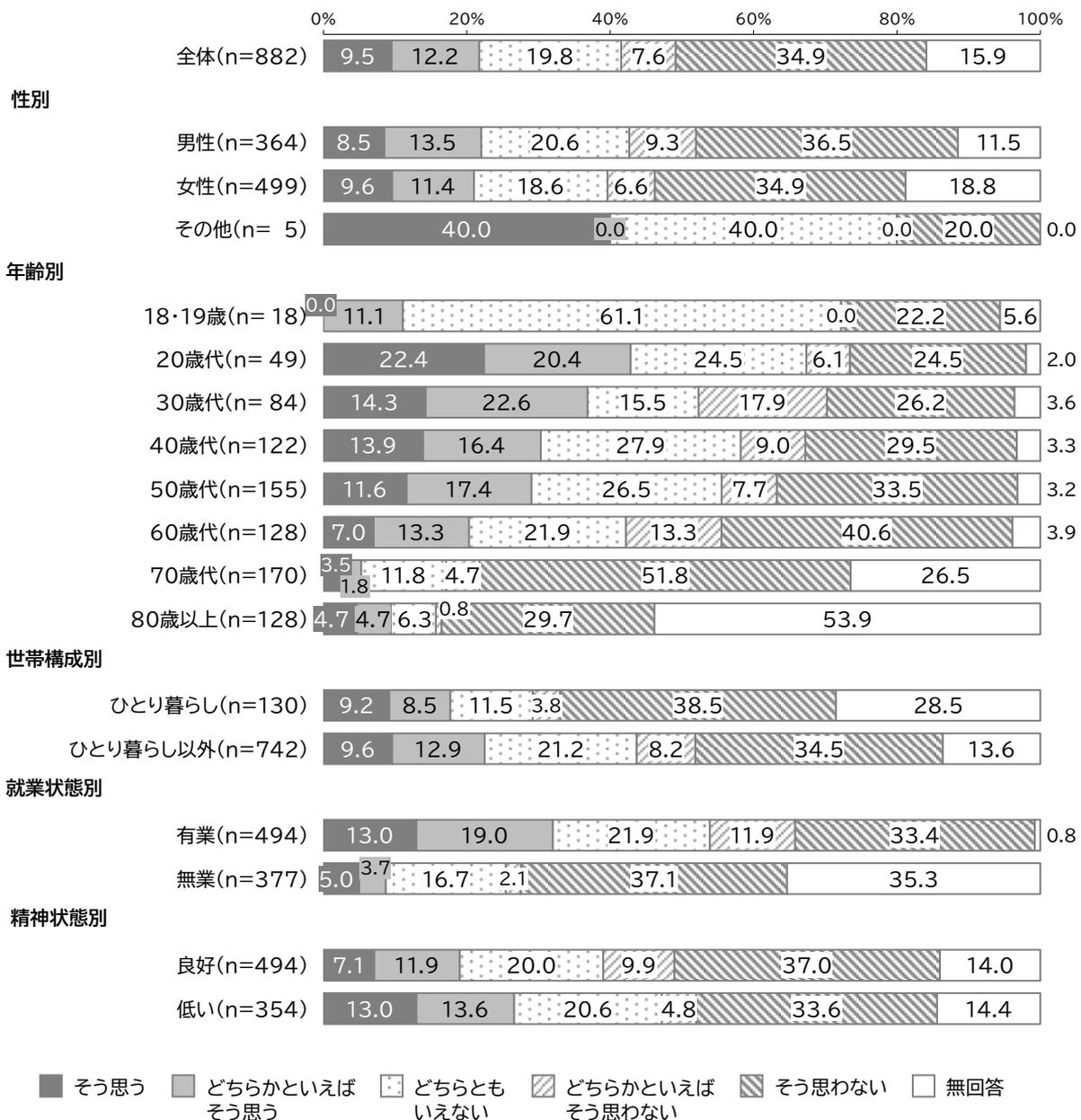
新型コロナウイルス感染症流行による影響で、職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わったことについて、「そう思わない」と回答した割合が 34.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 19.8%、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 12.2%、「そう思う」と回答した割合が 9.5%となっています。「変化があった」の割合が 21.7%となっています。

年齢別にみると、「変化があった」の割合は 20 歳代～30 歳代が他の年代に比べて高く、20 歳代で4割程度となっています。

就業状態別にみると、有業者の「変化があった」の割合が、無業者よりも 20 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「変化があった」の割合が、良好なグループよりも 7.6 ポイント高くなっています。

図 ①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった



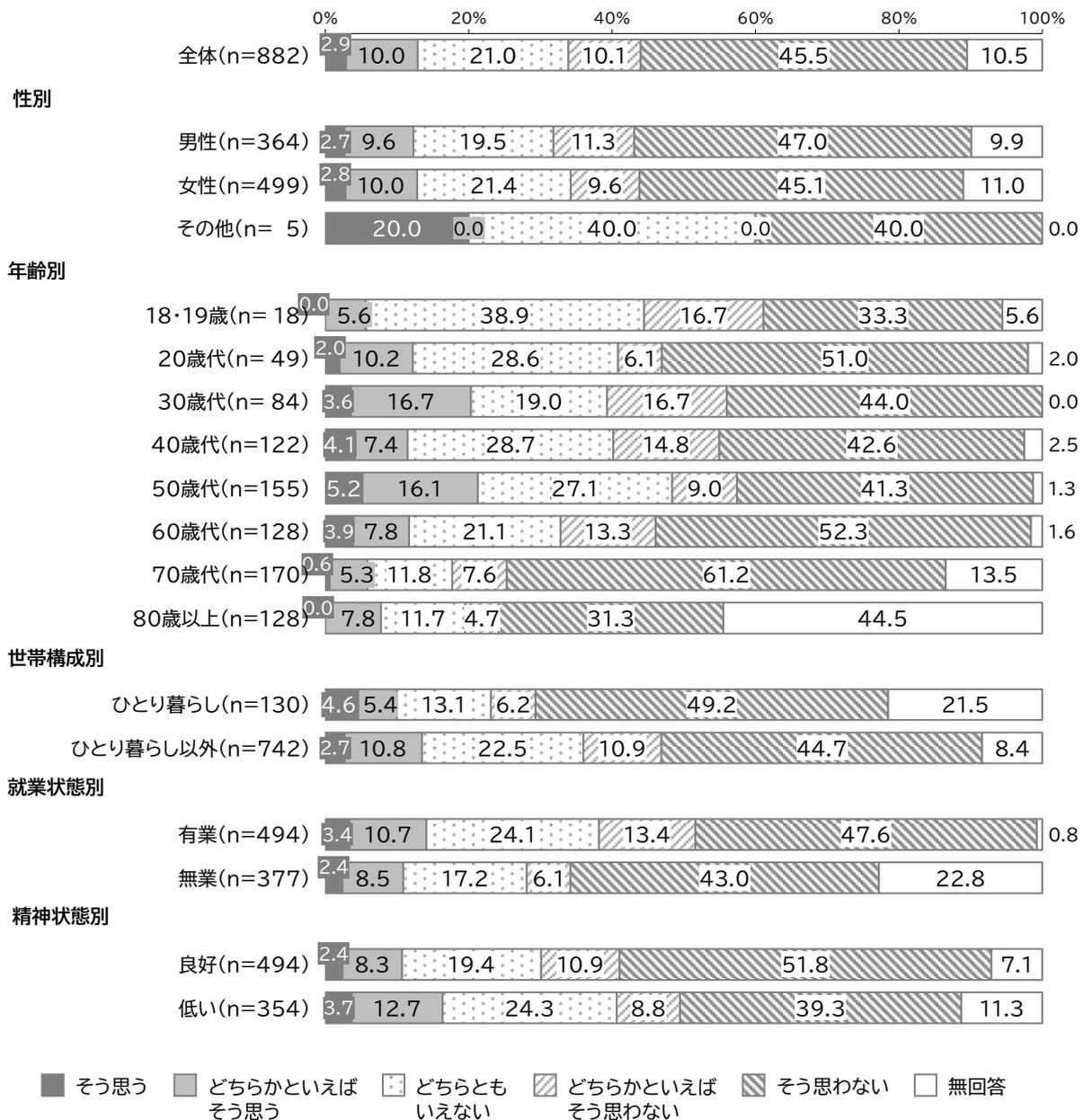
## ②家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、家庭における家事や育児、介護等の負担が増えたことについて、「そう思わない」と回答した割合が 45.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 21.0%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 10.1%、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 10.0%となっています。「変化があった」の割合が 12.9%となっています。

年齢別にみると、30 歳代と 50 歳代で“変化があった”の割合が2割台と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“変化があった”の割合が、良好なグループよりも 5.7 ポイント高くなっています。

図 ②家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた



### ③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった

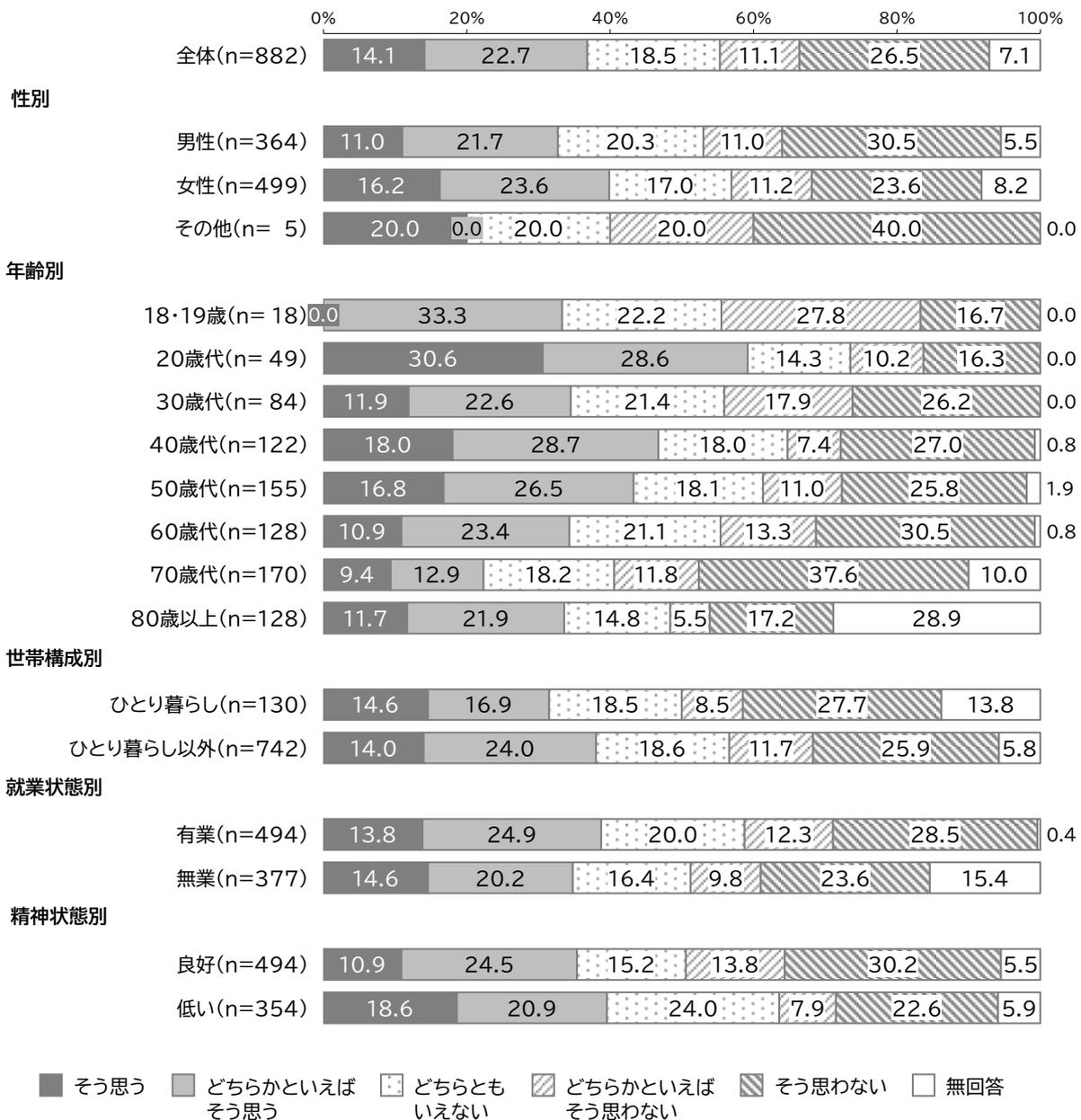
新型コロナウイルス感染症流行による影響で、人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなったことについて、「そう思わない」と回答した割合が 26.5%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 22.7%、「どちらともいえない」と回答した割合が 18.5%、「そう思う」と回答した割合が 14.1%となっています。「変化があった」の割合が 36.8%となっています。

性別にみると、女性の「変化があった」の割合が、男性よりも 7.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代で「変化があった」の割合が6割前後と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「どちらともいえない」の割合が、良好なグループよりも 8.8 ポイント高くなっています。

図 ③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった



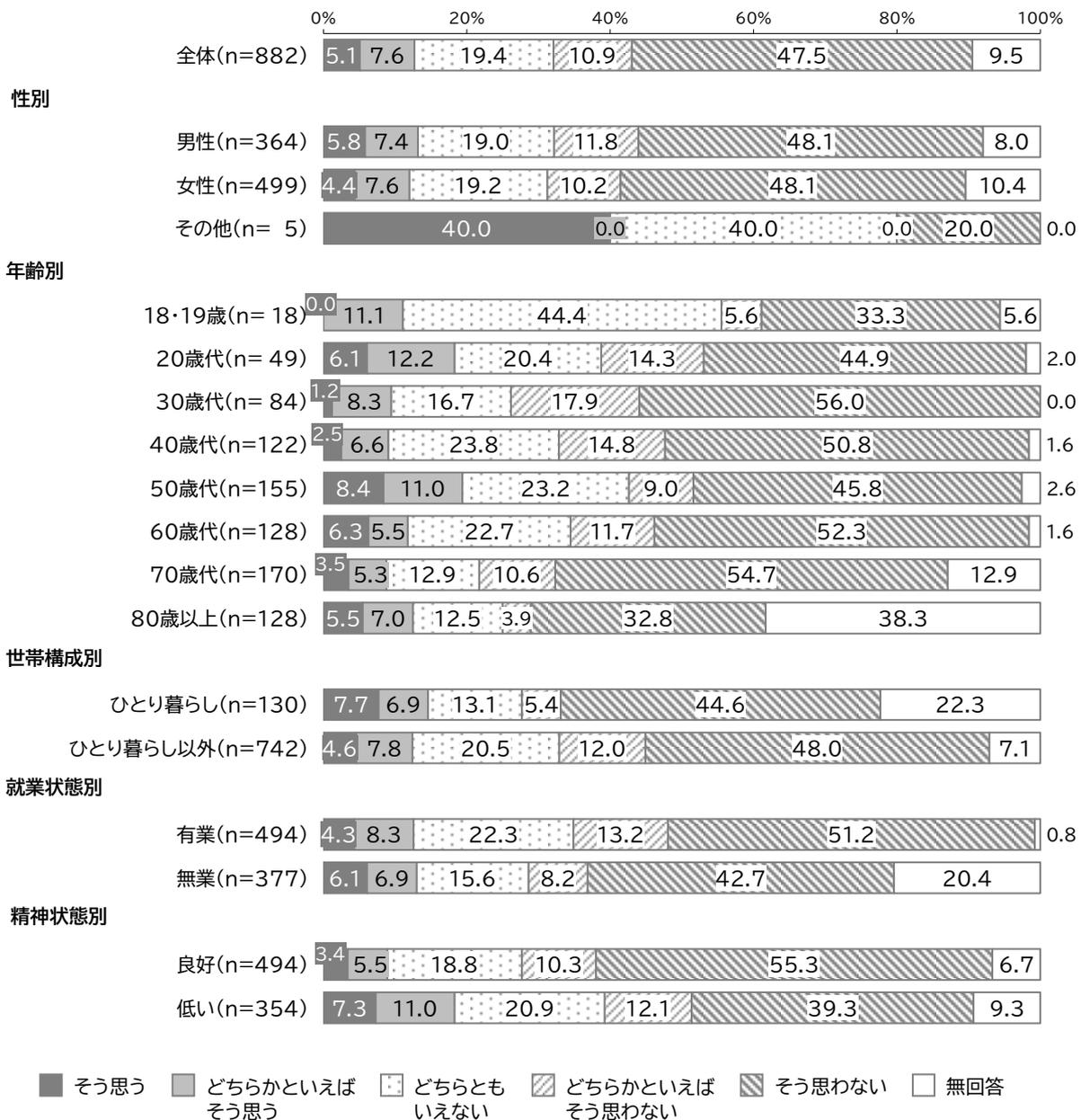
#### ④生活が脅かされるほど収入が少なくなった

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、生活が脅かされるほど収入が少なくなったことについて、「そう思わない」と回答した割合が 47.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 19.4%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 10.9%、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 7.6%となっています。「変化があった」の割合が 12.7%となっています。

年齢別にみると、20歳代と50歳代で“変化があった”の割合が2割程度と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“変化があった”の割合が、良好なグループよりも 9.4ポイント高くなっています。

図 ④生活が脅かされるほど収入が少なくなった

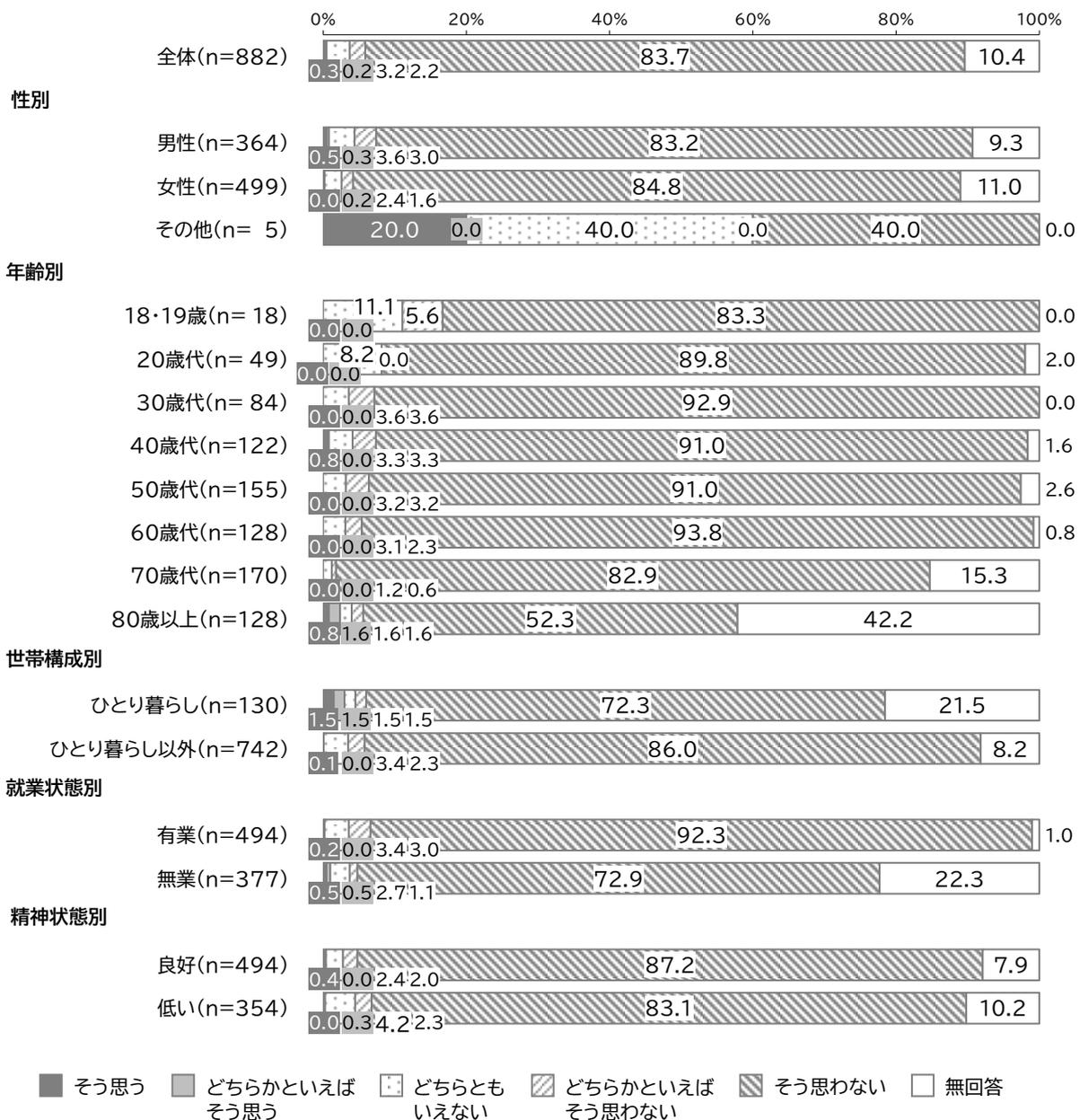


## ⑤住居が失われた

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、住居が失われたことについて、「そう思わない」と回答した割合が 83.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 3.2%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 2.2%、「そう思う」と回答した割合が 0.3%となっています。“変化があった”の割合は 0.5%と少数です。

各属性性別で、“変化があった”の割合に大きな差はみられません。

図 ⑤住居が失われた



## ⑥こころの健康が悪化した

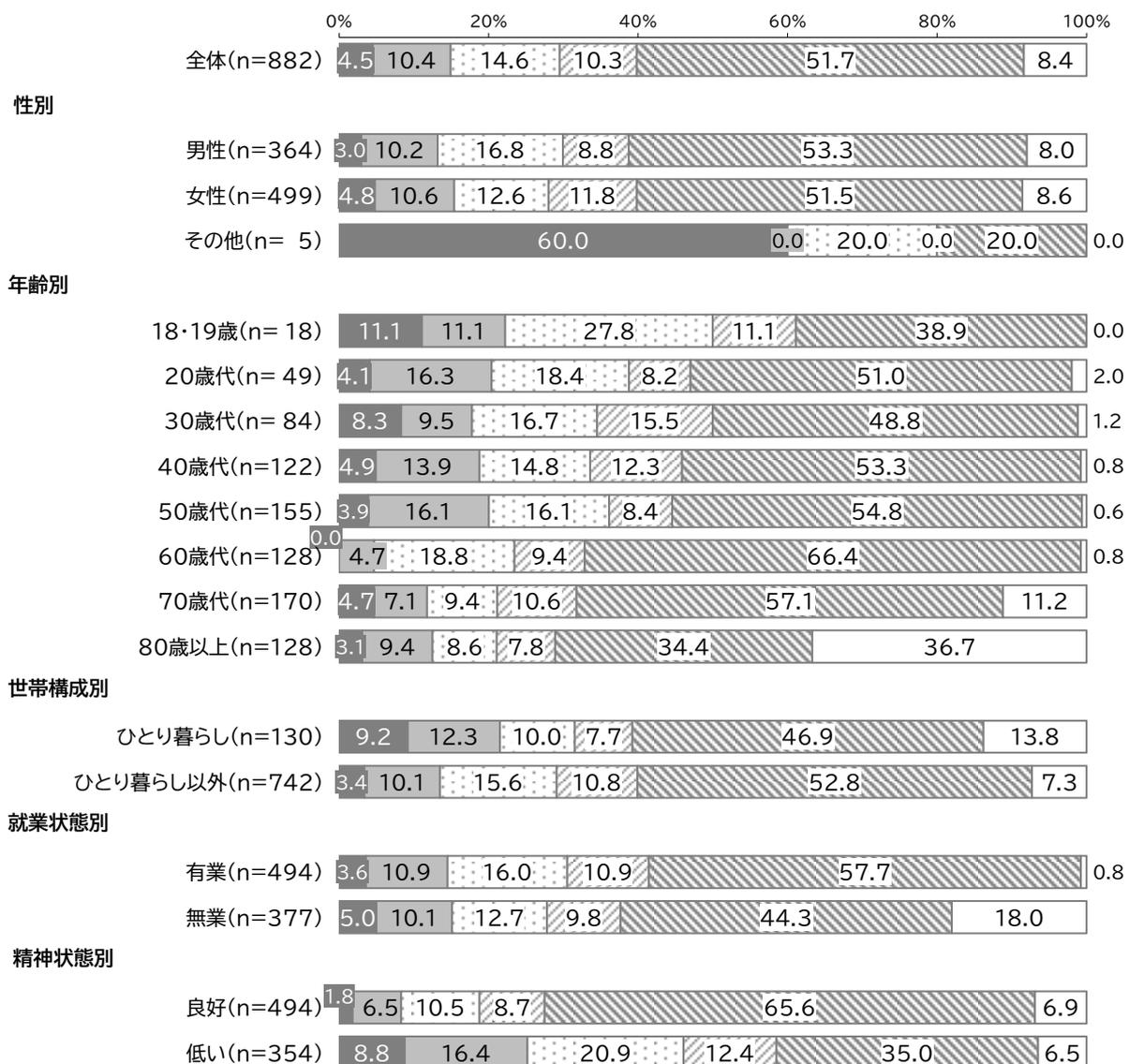
新型コロナウイルス感染症流行による影響で、こころの健康が悪化したことについて、「そう思わない」と回答した割合が 51.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 14.6%、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 10.4%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 10.3%となっています。「変化があった」の割合が 14.9%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「変化があった」の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で 22.2%となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「変化があった」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 8.0 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「変化があった」の割合が、良好なグループよりも 15 ポイント以上高くなっています。

図 ⑥こころの健康が悪化した



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

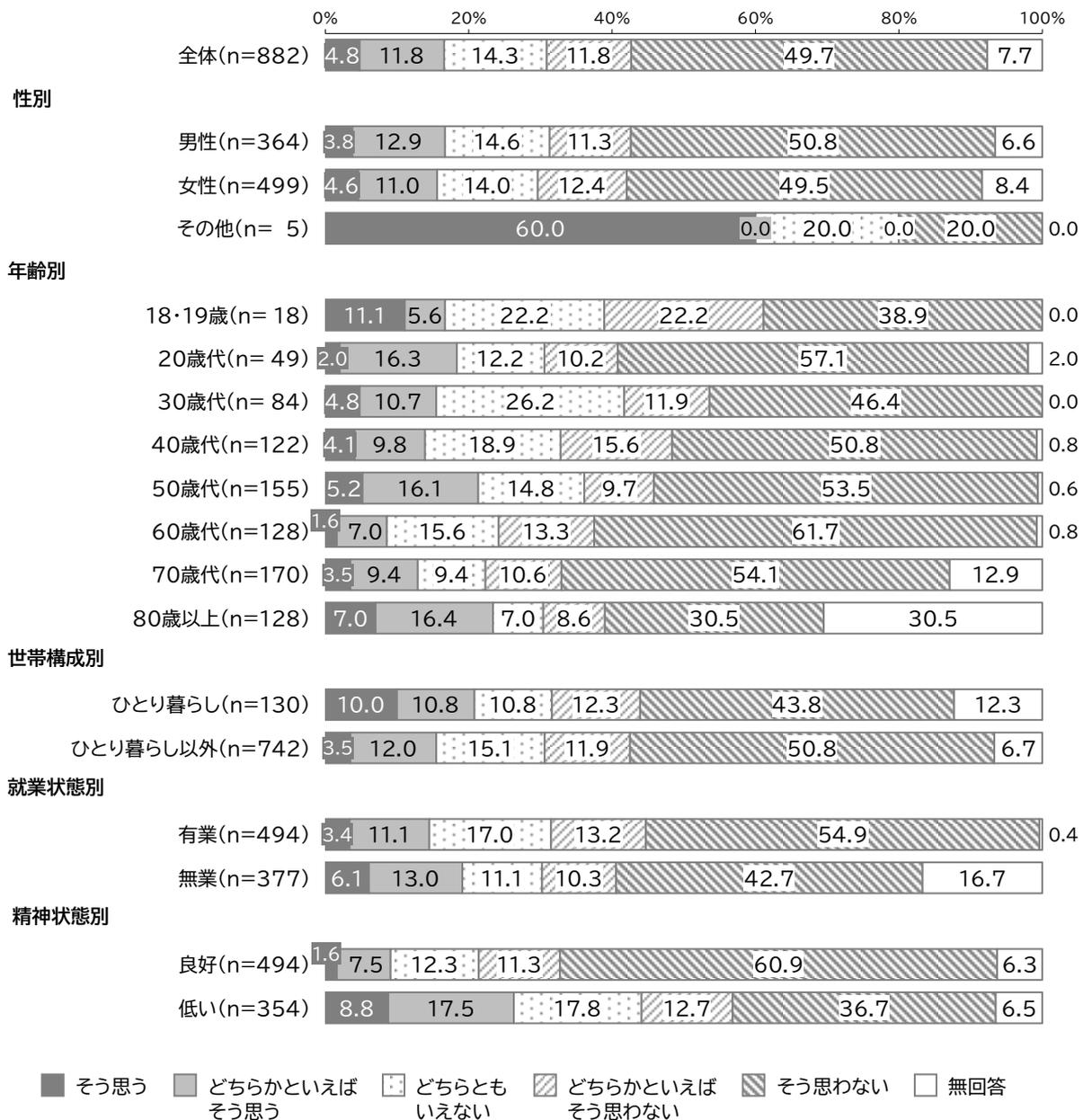
## ⑦からだの健康が悪化した

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、からだの健康が悪化したことについて、「そう思わない」と回答した割合が 49.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 14.3%、「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」で回答した割合がともに 11.8%となっています。“変化があった”の割合が 16.6%となっています。

年齢別にみると、50歳代と80歳以上で“変化があった”の割合が2割台と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの“変化があった”の割合が、良好なグループよりも 15ポイント以上高くなっています。

図 ⑦からだの健康が悪化した



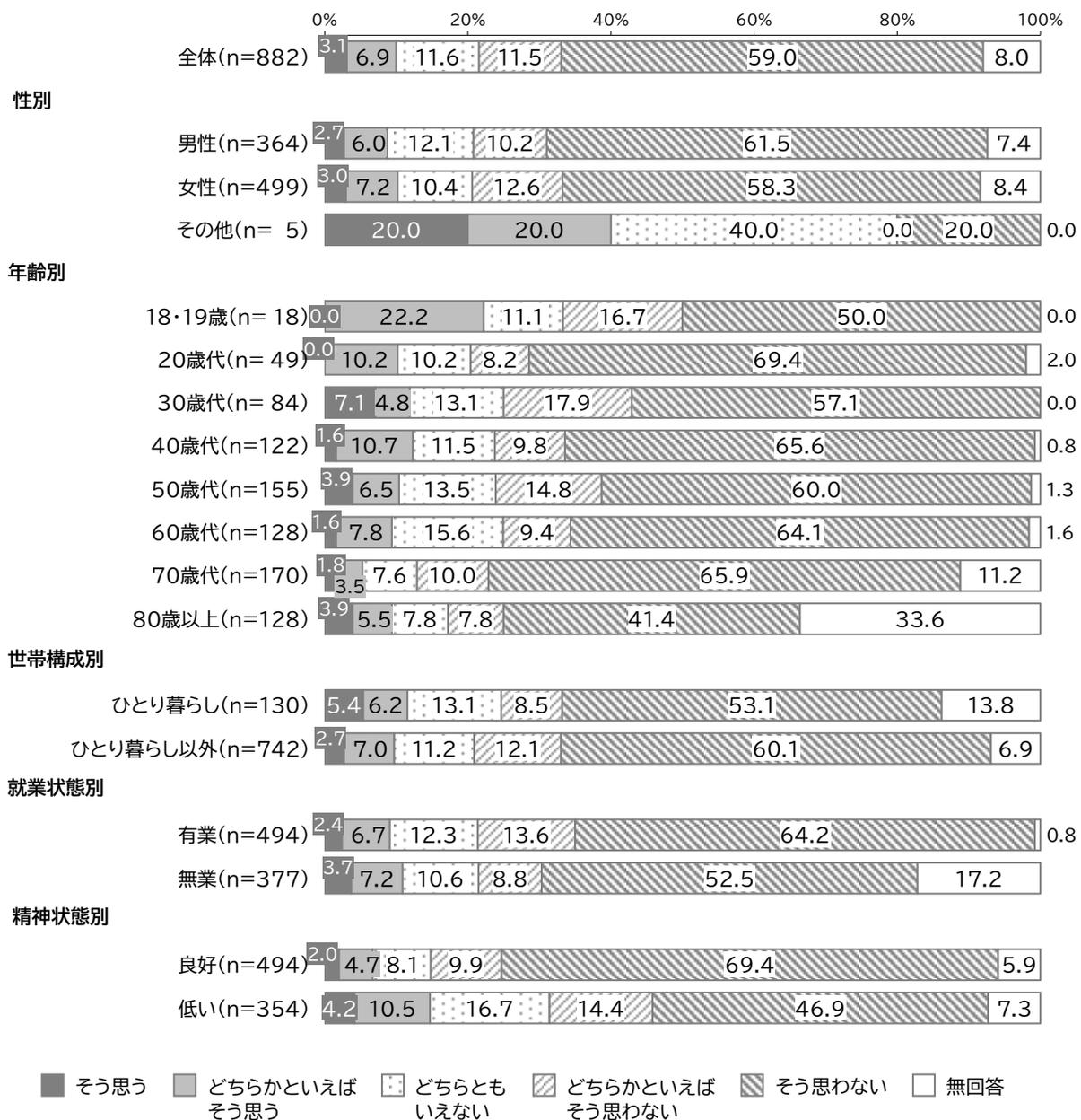
### ⑧家族や大事な人とのつながりが失われた

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、家族や大事な人とのつながりが失われたことについて、「そう思わない」と回答した割合が 59.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」と回答した割合が 11.6%、「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が 11.5%、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が 6.9%となっています。「変化があった」の割合が 10.0%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“変化があった”の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳では「どちらかといえばそう思う」の割合が2割程度となっています。

精神状態別にみると、低いグループの“変化があった”の割合が、良好なグループよりも 8.0 ポイント高くなっています。

図 ⑧家族や大事な人とのつながりが失われた



### 3 自殺について

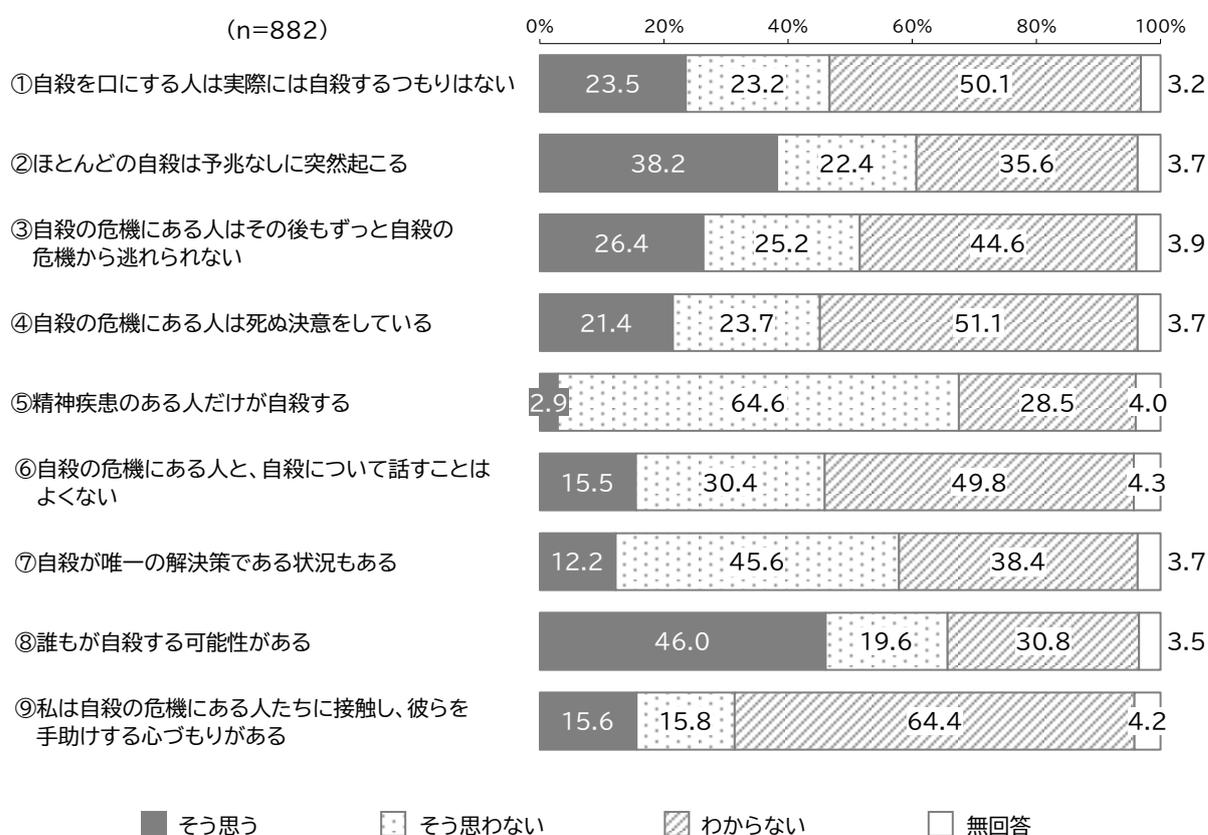
#### (1)自殺に関する認識

問13 次の9項目は自殺についての質問です。あなたの考えに合うほうに○をつけてください。(①から⑨について、○はそれぞれ1つ)

自殺に関する認識をみると、自殺に関する俗説①～⑥のなかで、「②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる」で、「そう思う」と回答した割合が38.2%となっています。

それ以外の項目のうち、「⑧誰もが自殺する可能性がある」で「そう思う」と回答した割合が46.0%となっています。

図 自殺に関する認識



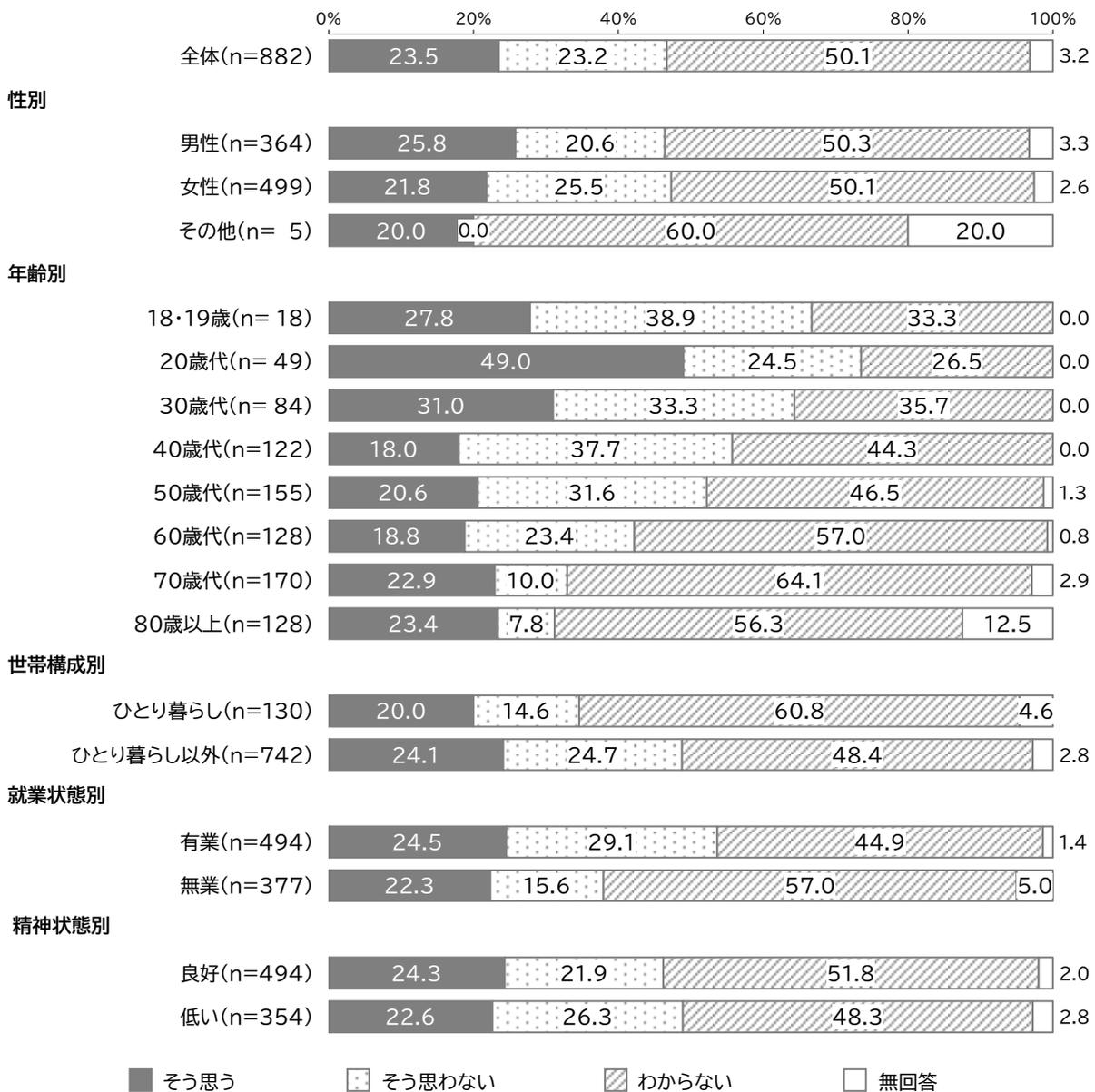
### ①自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはない

自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはないという認識について、「わからない」と回答した割合が50.1%で最も高く、次いで「そう思う」と回答した割合が23.5%、「そう思わない」と回答した割合が23.2%となっています。

年齢別にみると、「そう思う」の割合は18・19歳～30歳代が他の年代に比べて高く、20歳代で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも10ポイント以上高くなっています。

図 ①自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはない



## ②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる

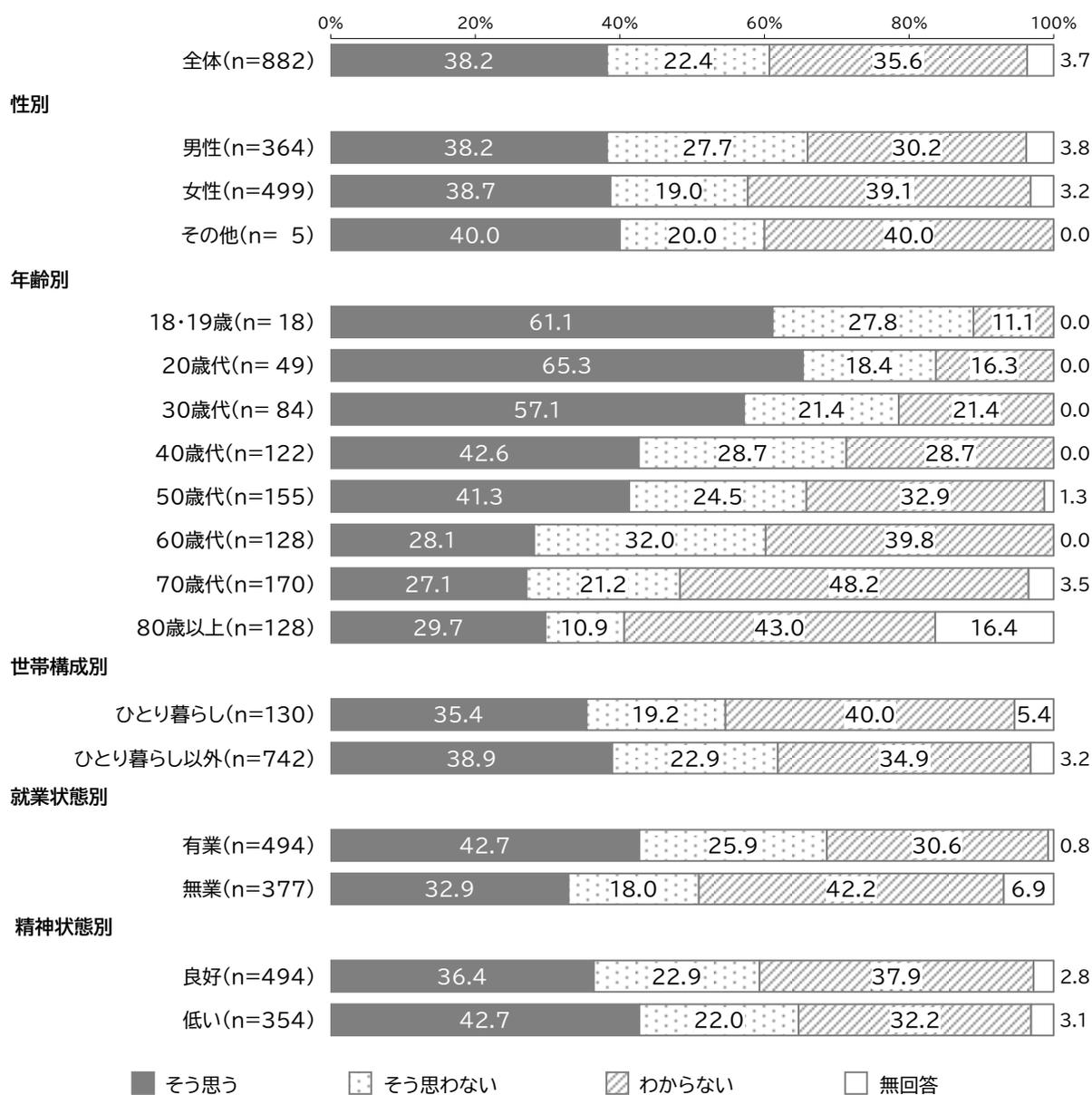
ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こるという認識について、「そう思う」と回答した割合が 38.2%で最も高く、次いで「わからない」と回答した割合が 35.6%、「そう思わない」と回答した割合が 22.4%となっています。

性別にみると、男性の「そう思わない」の割合が、女性よりも 8.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代以下で6割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思う」の割合が、無業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

図 ②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる



### ③自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられない

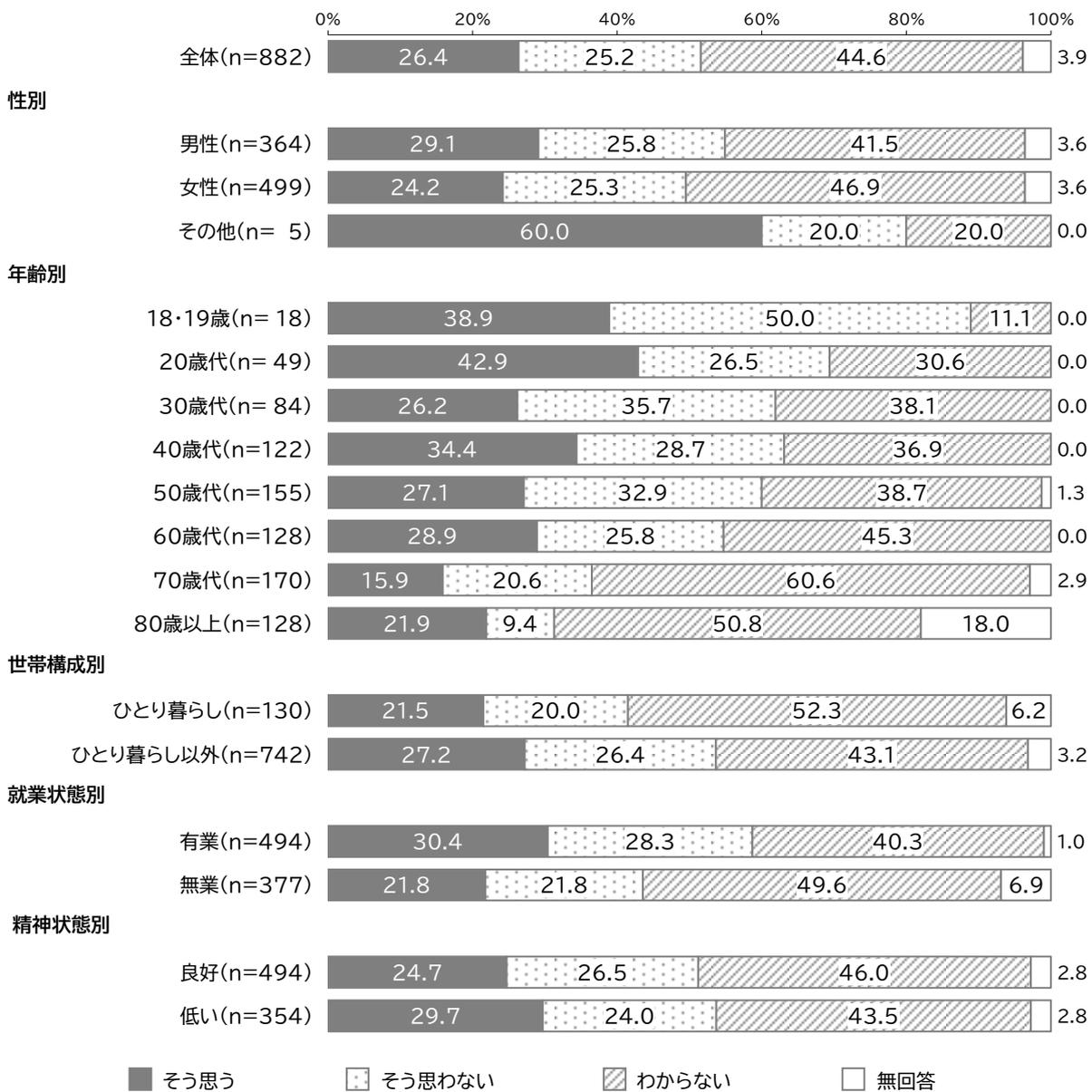
自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられないという認識について、「わからない」と回答した割合が 44.6%で最も高く、次いで「そう思う」と回答した割合が 26.4%、「そう思わない」と回答した割合が 25.2%となっています。

性別にみると、男性の「そう思う」の割合が、女性よりも 4.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代で4割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思う」の割合が、無業者よりも 8.6 ポイント高くなっています。

図 ③自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられない



#### ④自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている

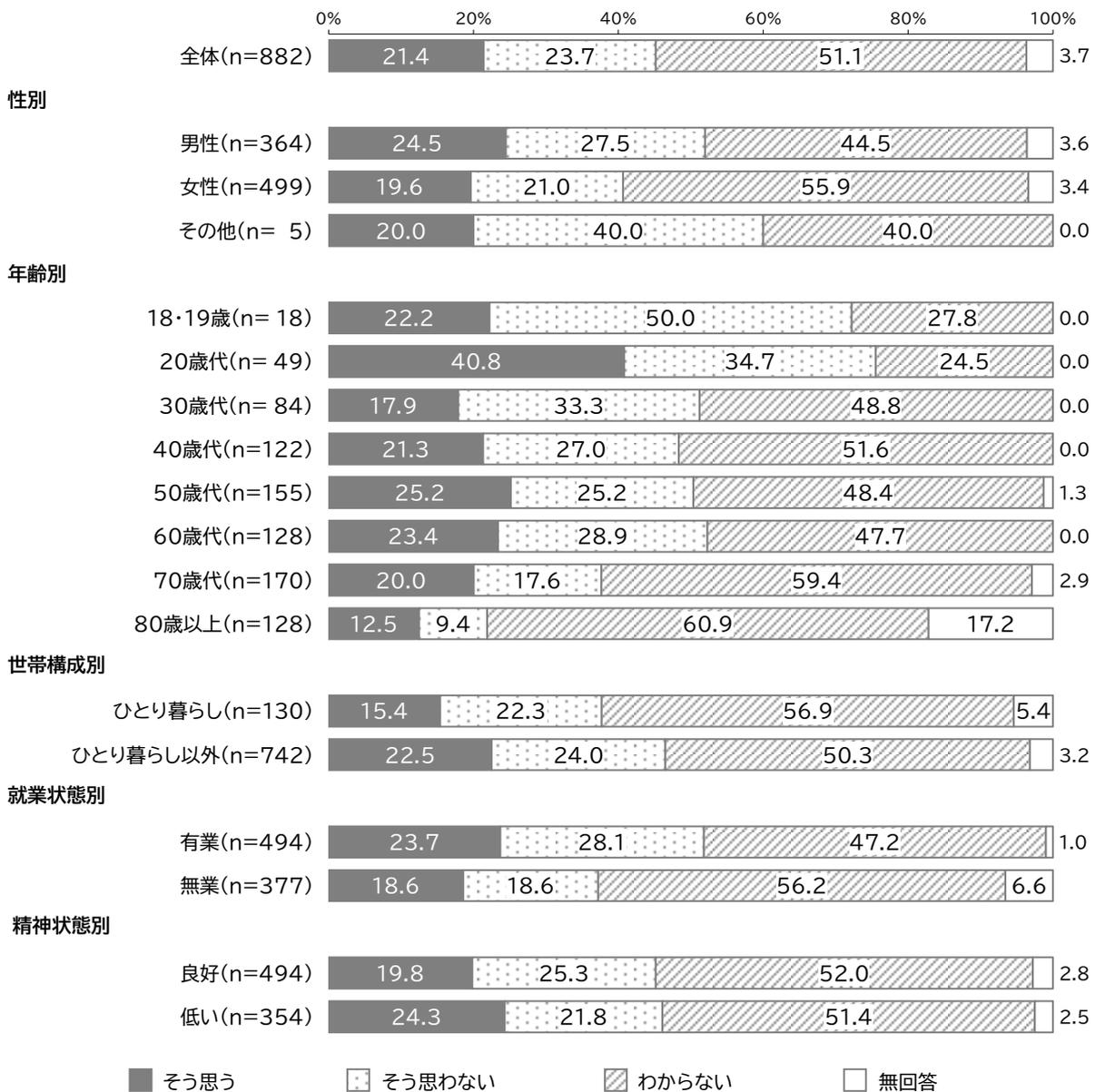
自殺の危機にある人は死ぬ決意をしているという認識について、「わからない」と回答した割合が 51.1%で最も高く、次いで「そう思わない」と回答した割合が 23.7%、「そう思う」と回答した割合が 21.4%となっています。

性別にみると、男性の「そう思う」と「そう思わない」の割合が、それぞれ女性よりも高くなっています。

年齢別にみると、20歳代で「そう思う」の割合が4割台と、他の年代に比べて高くなっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

図 ④自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている



### ⑤精神疾患のある人だけが自殺する

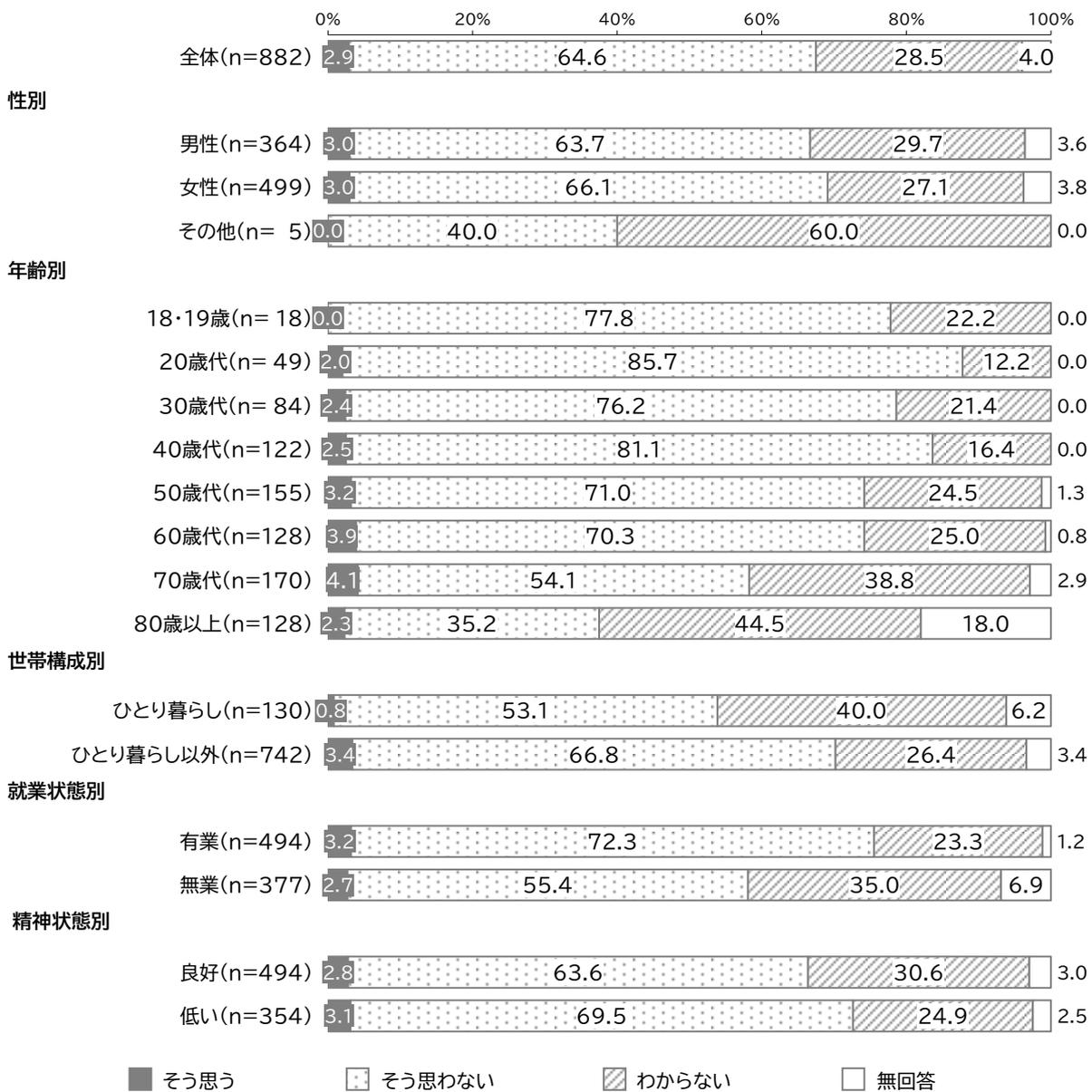
精神疾患のある人だけが自殺するという認識について、「そう思わない」と回答した割合が 64.6%で最も高く、次いで「わからない」と回答した割合が 28.5%、「そう思う」と回答した割合が 2.9%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど「そう思わない」の割合は低くなる傾向にあり、80 歳以上で3割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「そう思わない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10 ポイント以上低くなっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも 15 ポイント以上高くなっています。

図 ⑤精神疾患のある人だけが自殺する



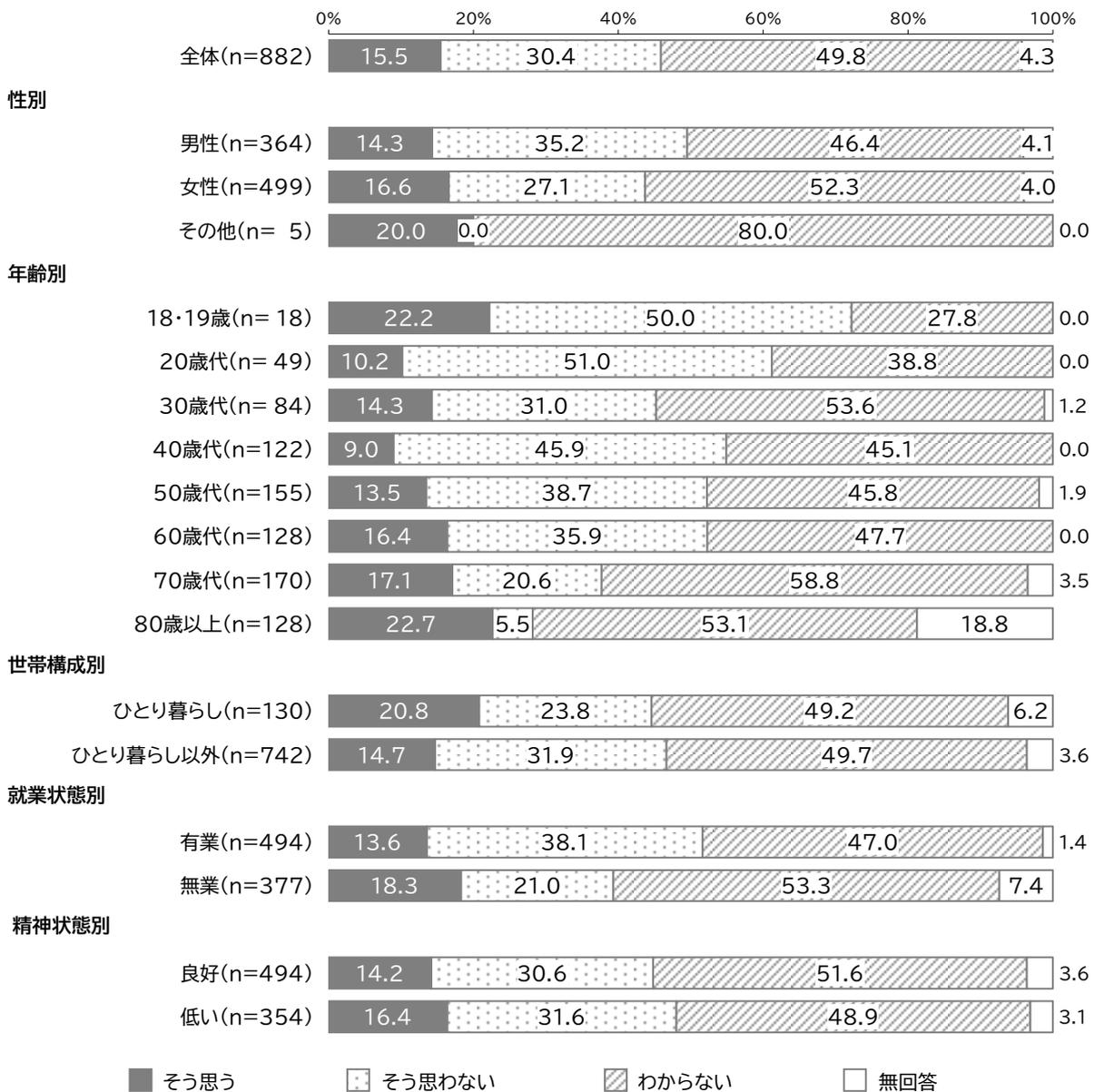
## ⑥自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない

自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくないという認識について、「わからない」と回答した割合が49.8%で最も高く、次いで「そう思わない」と回答した割合が30.4%、「そう思う」と回答した割合が15.5%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思わない」の割合は高くなる傾向にあり、20歳代以下で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも15ポイント以上高くなっています。

図 ⑥自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない



### ⑦自殺が唯一の解決策である状況もある

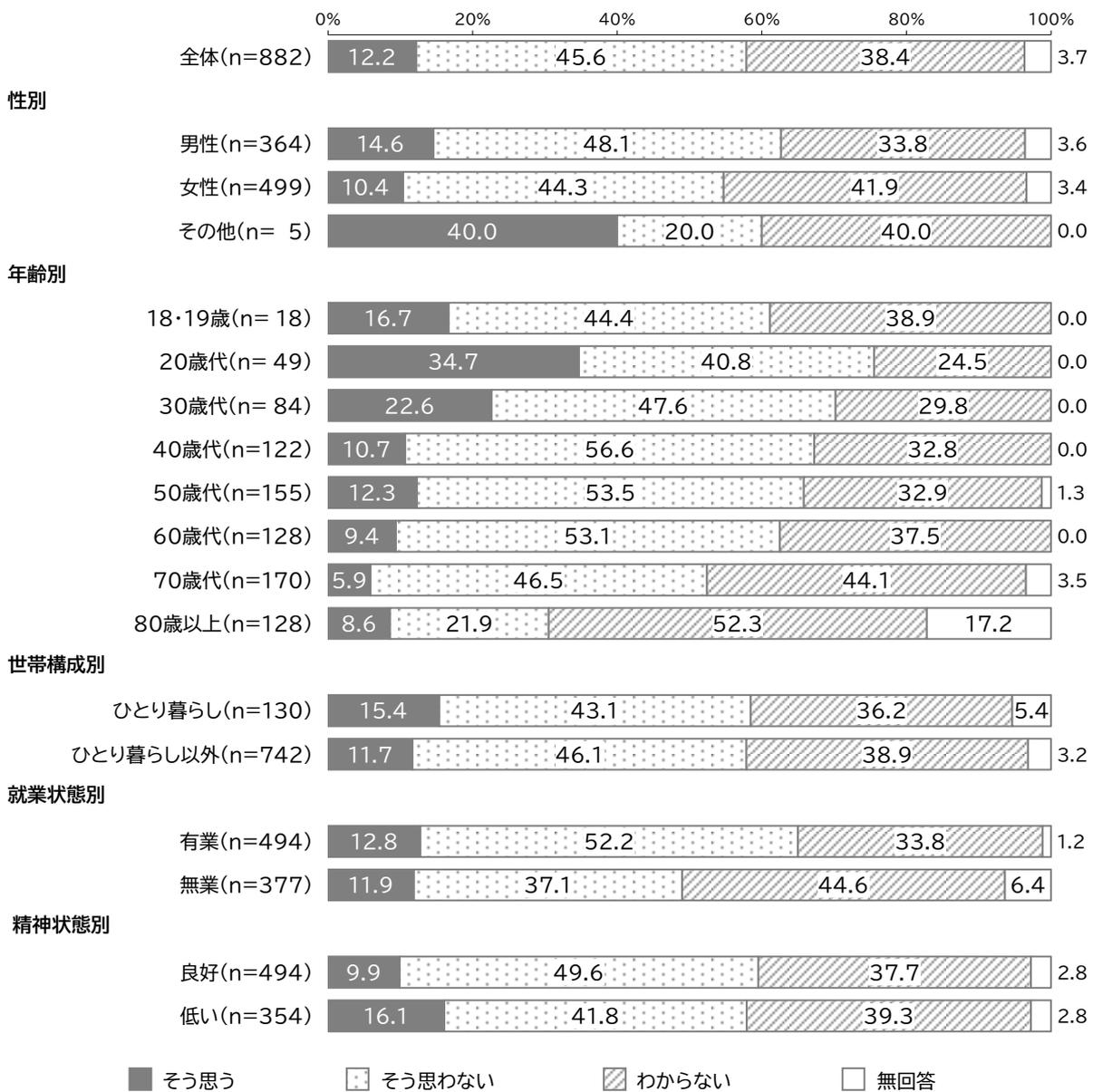
自殺が唯一の解決策である状況もあるという認識について、「そう思わない」と回答した割合が 45.6%で最も高く、次いで「わからない」と回答した割合が 38.4%、「そう思う」と回答した割合が 12.2%となっています。

年齢別にみると、「そう思う」の割合は 18・19 歳～30 歳代が他の年代に比べて高く、20 歳代で3割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも約 15 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「そう思う」の割合が、良好なグループよりも 6.2 ポイント高くなっています。

図 ⑦自殺が唯一の解決策である状況もある



### ⑧誰もが自殺する可能性がある

誰もが自殺する可能性があるという認識について、「そう思う」と回答した割合が 46.0%で最も高く、次いで「わからない」と回答した割合が 30.8%、「そう思わない」と回答した割合が 19.6%となっています。

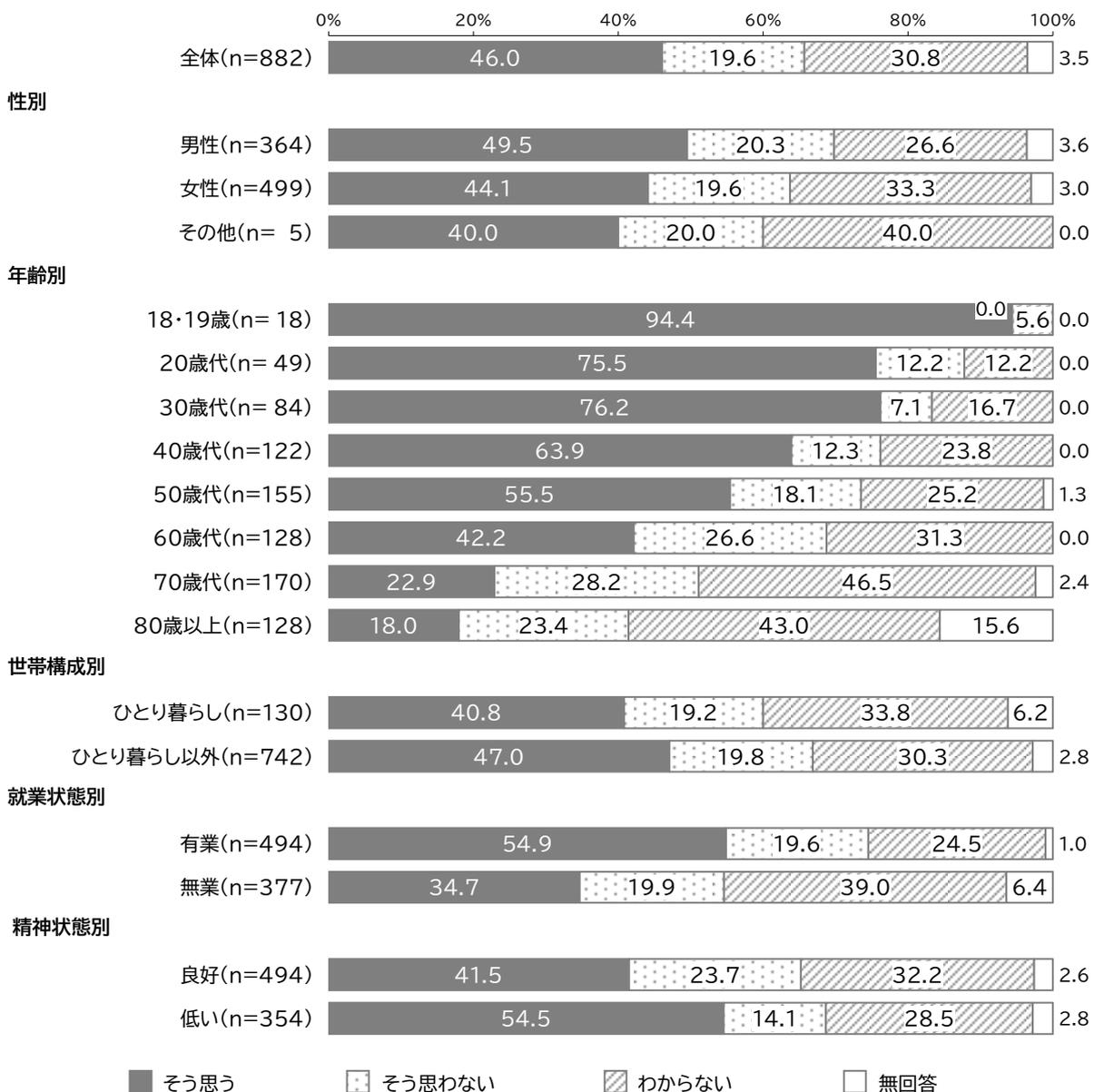
性別にみると、男性の「そう思う」の割合が、女性よりも 5.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で9割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思う」の割合が、無業者よりも約 20 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「そう思う」の割合が、良好なグループよりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ⑧誰もが自殺する可能性がある



⑨私は自殺の危機にある人たちに接触し、彼らを手助けする心づもりがある

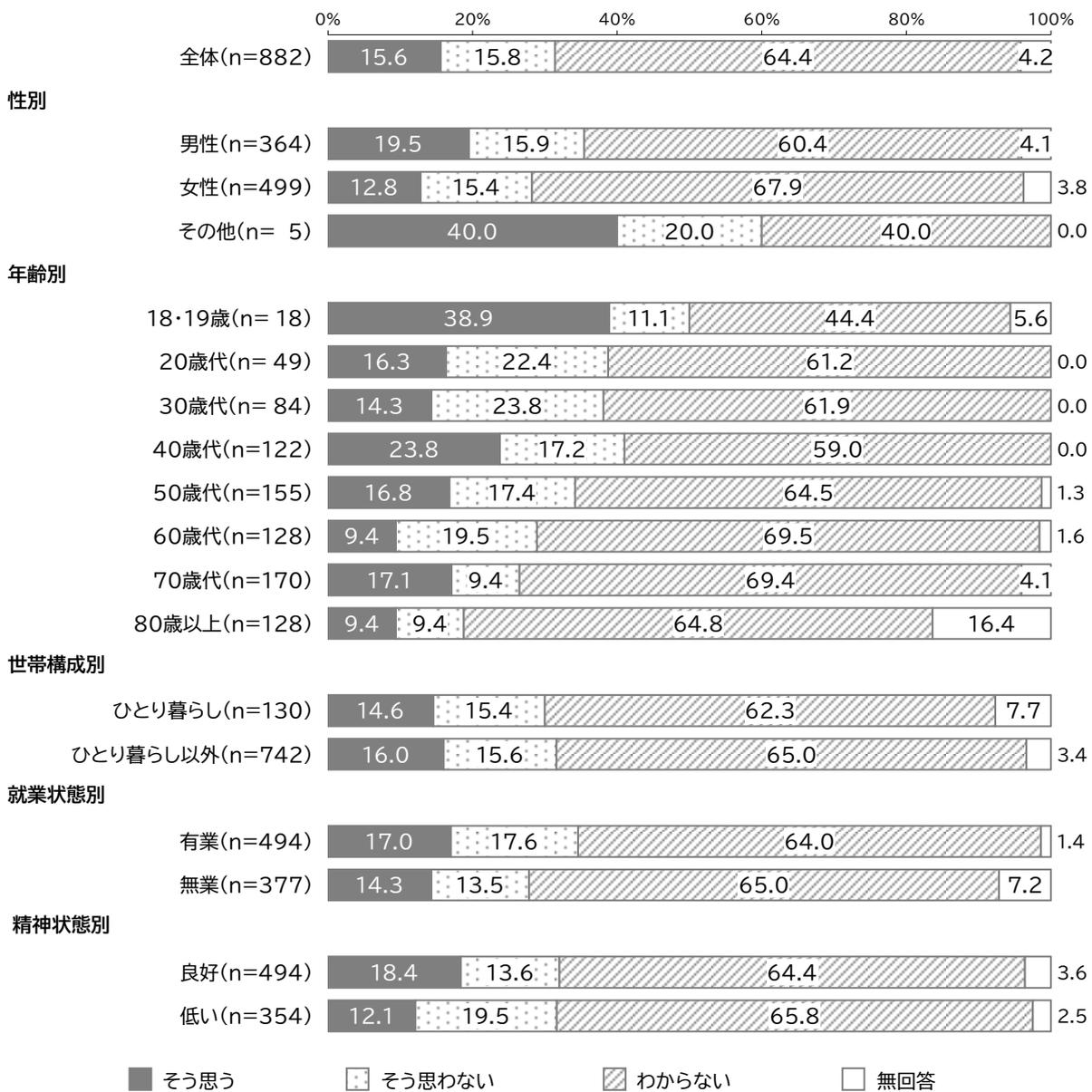
私は自殺の危機にある人たちに接触し、彼らを手助けする心づもりがあるかについては、「わからない」と回答した割合が 64.4%で最も高く、次いで「そう思わない」と回答した割合が 15.8%、「そう思う」と回答した割合が 15.6%となっています。

性別にみると、男性の「そう思う」の割合が、女性よりも 6.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、18・19 歳で「そう思う」の割合が4割程度と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、良好なグループの「そう思う」の割合が、低いグループよりも 6.3 ポイント高くなっています。

図 ⑨私は自殺の危機にある人たちに接触し、彼らを手助けする心づもりがある



## 4 相談することについて

### (1)自殺を考えたことがあるか

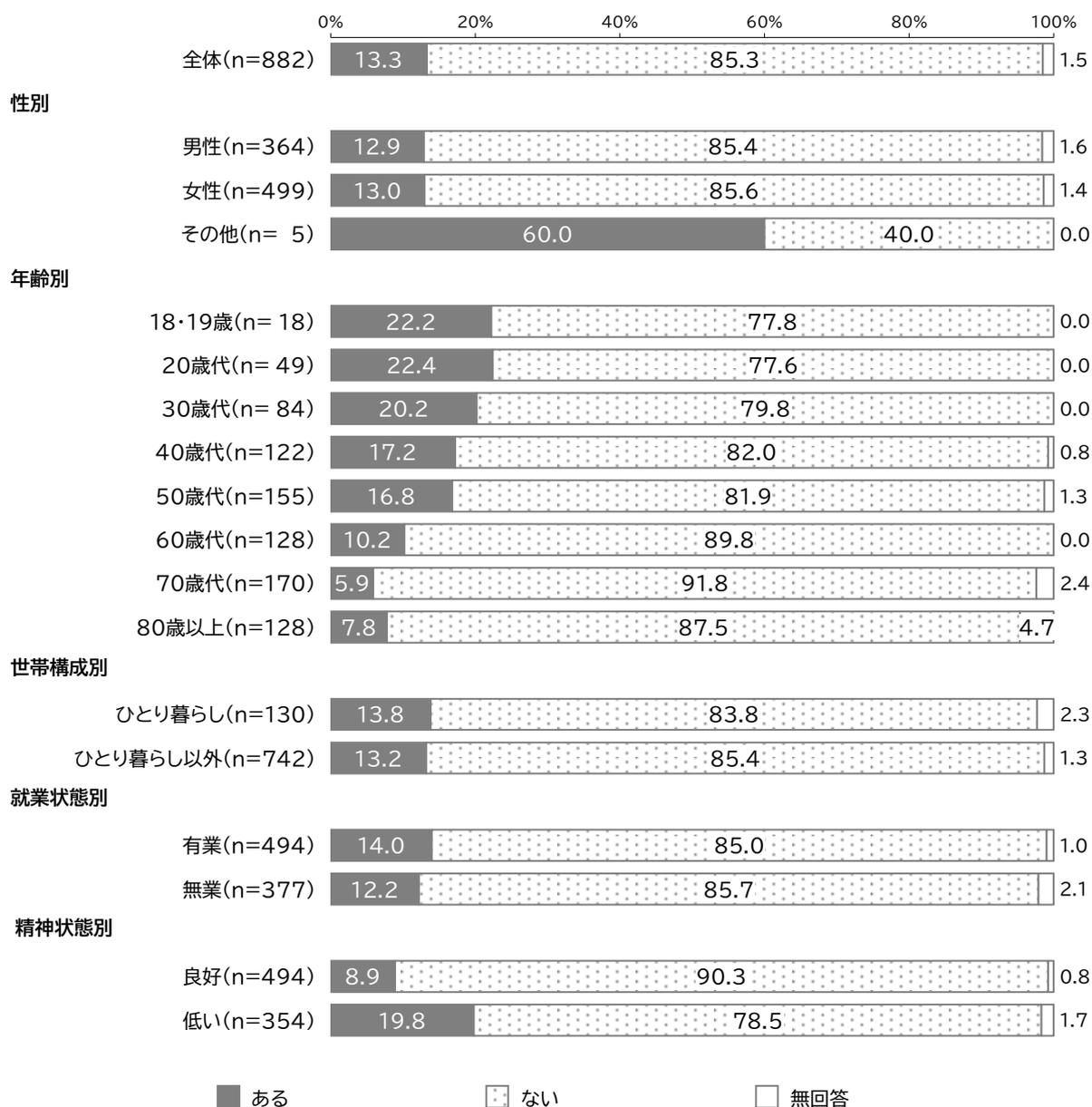
問14 あなたは、これまでの人生の中で、本気で自殺を考えたことがありますか。(〇は1つ)

自殺を考えたことの有無をみると、「ある」と回答した割合が 13.3%、「ない」と回答した割合が 85.3%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「ある」の割合は高くなる傾向にあり、30 歳代以下で2割台となっています。

精神状態別にみると、低いグループの「ある」の割合が、良好なグループの2倍以上となっています。

図 自殺を考えたことがあるか



## (2)自殺を考えたときに相談をしたか

問14で「1. ある」と回答された方にお聞きします。

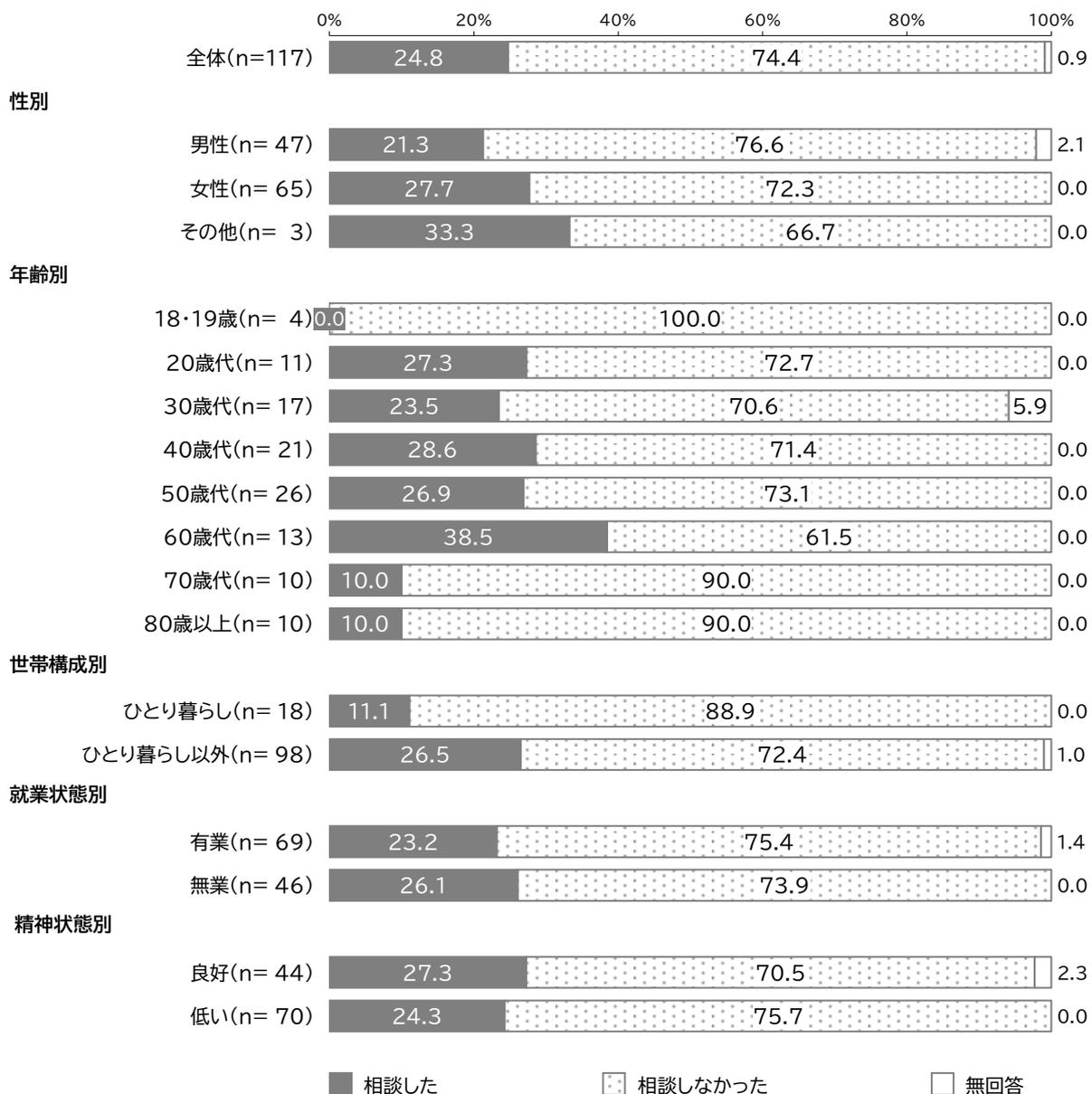
問14-1 誰かに相談しましたか。(〇は1つ)

自殺を考えたときの相談の有無をみると、「相談した」と回答した割合が24.8%、「相談しなかった」と回答した割合が74.4%となり、相談した人は4人に1人程度となっています。

年齢別にみると、「相談した」の割合は20歳代～60歳代が他の年代に比べて高く、60歳代で4割弱となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯で「相談しなかった」の割合が9割弱となっています。

図 自殺を考えたときに相談をしたか



### (3)自殺を考えたときにだれに相談したか

問14-1で「1. 相談した」と回答された方にお聞きします。

問14-2 誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

自殺を考えたときに相談した人を見ると、「家族や親族」と回答した割合が 69.0%で最も高く、次いで「友人や同僚」と回答した割合が 27.6%、「かかりつけの医療機関」と回答した割合が 20.7%となっています。

性別にみると、女性の「友人や同僚」の割合が、男性よりも 20 ポイント以上高くなっています。

就業状態別にみると、有業者の「家族や親族」の割合が、無業者よりも 20 ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「かかりつけの医療機関」の割合が、良好なグループよりも 20 ポイント以上高くなっています。

図 自殺を考えたときにだれに相談したか

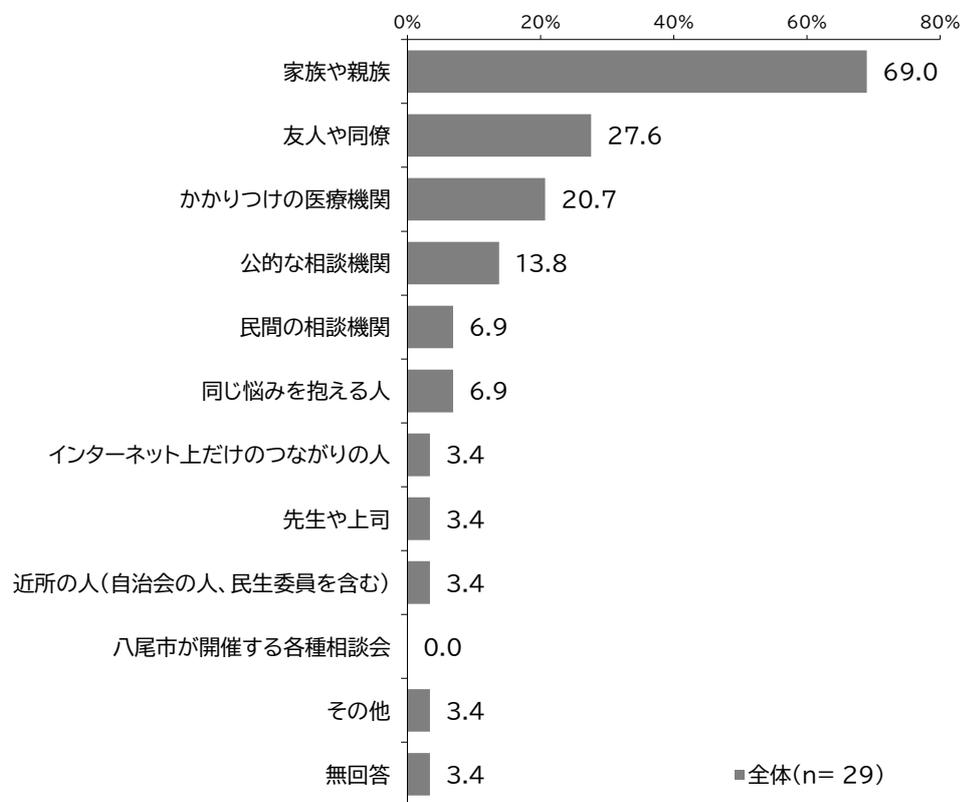


表 自殺を考えたときにだれに相談したか

		回答者数(n)	家族や親族	友人や同僚	かかりつけの医療機関	公的な相談機関	民間の相談機関	同じ悩みを抱える人	インターネット上でのつながりの人	先生や上司
全体		29	69.0	27.6	20.7	13.8	6.9	6.9	3.4	3.4
性別	男性	10	80.0	10.0	20.0	10.0	-	-	-	-
	女性	18	66.7	38.9	22.2	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6
	その他	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
年齢別	18・19歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	4	100.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-
	40歳代	6	50.0	50.0	16.7	-	16.7	-	-	-
	50歳代	7	85.7	28.6	57.1	-	14.3	14.3	-	-
	60歳代	5	60.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0
	70歳代	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	80歳以上	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
世帯構成別	ひとり暮らし	2	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	ひとり暮らし以外	26	69.2	26.9	23.1	11.5	7.7	7.7	3.8	3.8
就業状態別	有業	16	81.3	25.0	25.0	6.3	6.3	12.5	-	6.3
	無業	12	58.3	33.3	16.7	16.7	8.3	-	8.3	-
精神状態別	良好	12	75.0	41.7	8.3	25.0	8.3	16.7	-	8.3
	低い	17	64.7	17.6	29.4	5.9	5.9	-	5.9	-

		回答者数(n)	近所の人(自治会の人、民生委員を含む)	八尾市が開催する各種相談会	その他	無回答
全体		29	3.4	-	3.4	3.4
性別	男性	10	10.0	-	-	10.0
	女性	18	-	-	-	-
	その他	1	-	-	100.0	-
年齢別	18・19歳	0	-	-	-	-
	20歳代	3	-	-	-	-
	30歳代	4	-	-	-	-
	40歳代	6	-	-	-	-
	50歳代	7	14.3	-	-	-
	60歳代	5	-	-	-	20.0
	70歳代	1	-	-	-	-
	80歳以上	1	-	-	-	-
世帯構成別	ひとり暮らし	2	-	-	-	-
	ひとり暮らし以外	26	3.8	-	-	3.8
就業状態別	有業	16	6.3	-	-	6.3
	無業	12	-	-	-	-
精神状態別	良好	12	-	-	-	-
	低い	17	5.9	-	5.9	5.9

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

#### (4)自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか

問14-1で「2. 相談しなかった」と回答された方にお聞きします。

問14-3 その理由について、あてはまるものを教えてください。(〇はいくつでも)

自殺を考えたときに相談しなかった理由をみると、「相談しても解決できないと思うから」と回答した割合が62.1%で最も高く、次いで「身近な人に相談することで、心配をかけたり、困らせてしまうから」と回答した割合が47.1%、「悩みを話すことに抵抗を感じるから」と回答した割合が41.4%となっています。

性別にみると、男性の「相談しても解決できないと思うから」の割合が、女性よりも約15ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「相談しても解決できないと思うから」の割合が、良好なグループよりも20ポイント以上高くなっています。

図 自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか

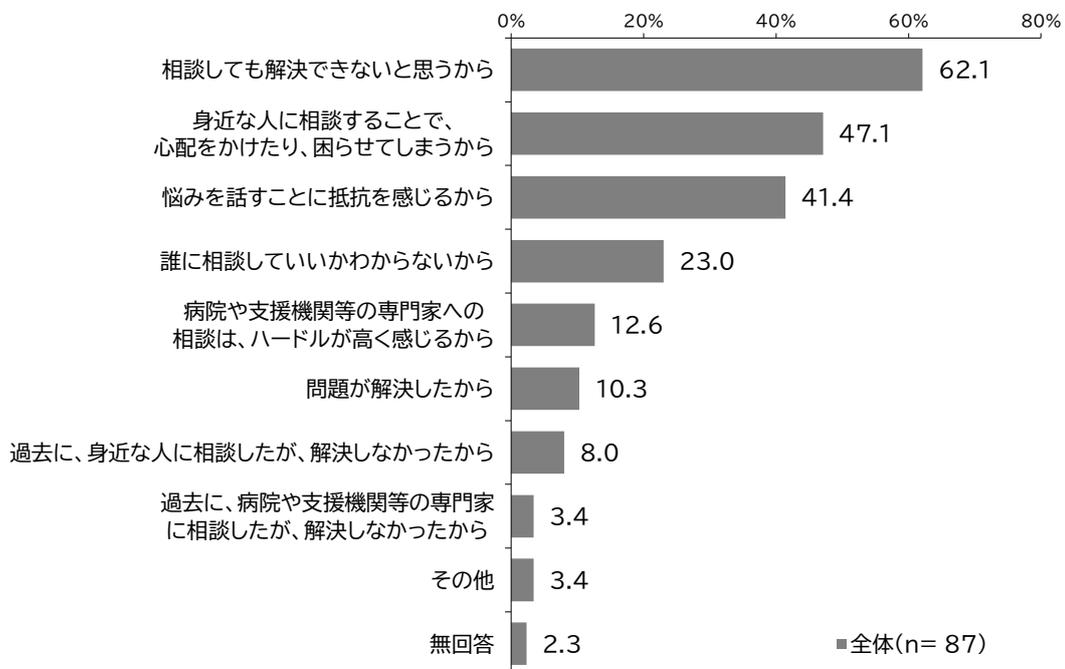


表 自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか

		回答者数(n)	相談しても解決できない と思うから	身近な人に相談すること で、心配をかけたり、困 らせてしまうから	身近な人に相談すること に抵抗を 感じるから	悩みを話すことに抵抗を 感じるから	誰に相談していいかわか らないから	病院や支援機関等の専門 家への相談は、ハードル が高く感じるから	問題が解決したから	過去に、病院や支援機 関等の専門家に相談した が、解決しなかったから	過去に、病院や支援機 関等の専門家に相談した が、解決しなかったから	その他	無回答
全体		87	62.1	47.1	41.4	23.0	12.6	10.3	8.0	3.4	3.4	2.3	
性別	男性	36	72.2	47.2	44.4	19.4	11.1	13.9	13.9	2.8	-	-	
	女性	47	57.4	48.9	40.4	27.7	14.9	8.5	4.3	4.3	6.4	2.1	
	その他	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
年齢別	18・19 歳	4	75.0	75.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	
	20 歳代	8	62.5	50.0	62.5	12.5	37.5	-	-	-	-	-	
	30 歳代	12	58.3	41.7	50.0	25.0	25.0	25.0	8.3	-	8.3	-	
	40 歳代	15	66.7	33.3	20.0	20.0	6.7	13.3	20.0	13.3	-	-	
	50 歳代	19	73.7	57.9	42.1	36.8	10.5	10.5	10.5	-	10.5	-	
	60 歳代	8	37.5	50.0	50.0	25.0	-	12.5	-	-	-	-	
	70 歳代	9	55.6	33.3	33.3	33.3	11.1	-	-	-	-	-	
	80 歳以上	9	66.7	55.6	55.6	11.1	11.1	-	-	11.1	-	11.1	
世帯 構成別	ひとり暮らし	16	56.3	37.5	37.5	12.5	-	6.3	6.3	-	-	6.3	
	ひとり暮らし以外	71	63.4	49.3	42.3	25.4	15.5	11.3	8.5	4.2	4.2	1.4	
就業 状態別	有業	52	65.4	46.2	42.3	21.2	11.5	15.4	7.7	1.9	5.8	-	
	無業	34	55.9	50.0	41.2	26.5	14.7	2.9	8.8	5.9	-	5.9	
精神 状態別	良好	31	48.4	48.4	41.9	12.9	9.7	22.6	6.5	3.2	6.5	3.2	
	低い	53	71.7	47.2	41.5	30.2	15.1	3.8	9.4	3.8	1.9	-	

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

### (5)八尾市保健所の相談窓口の認知度

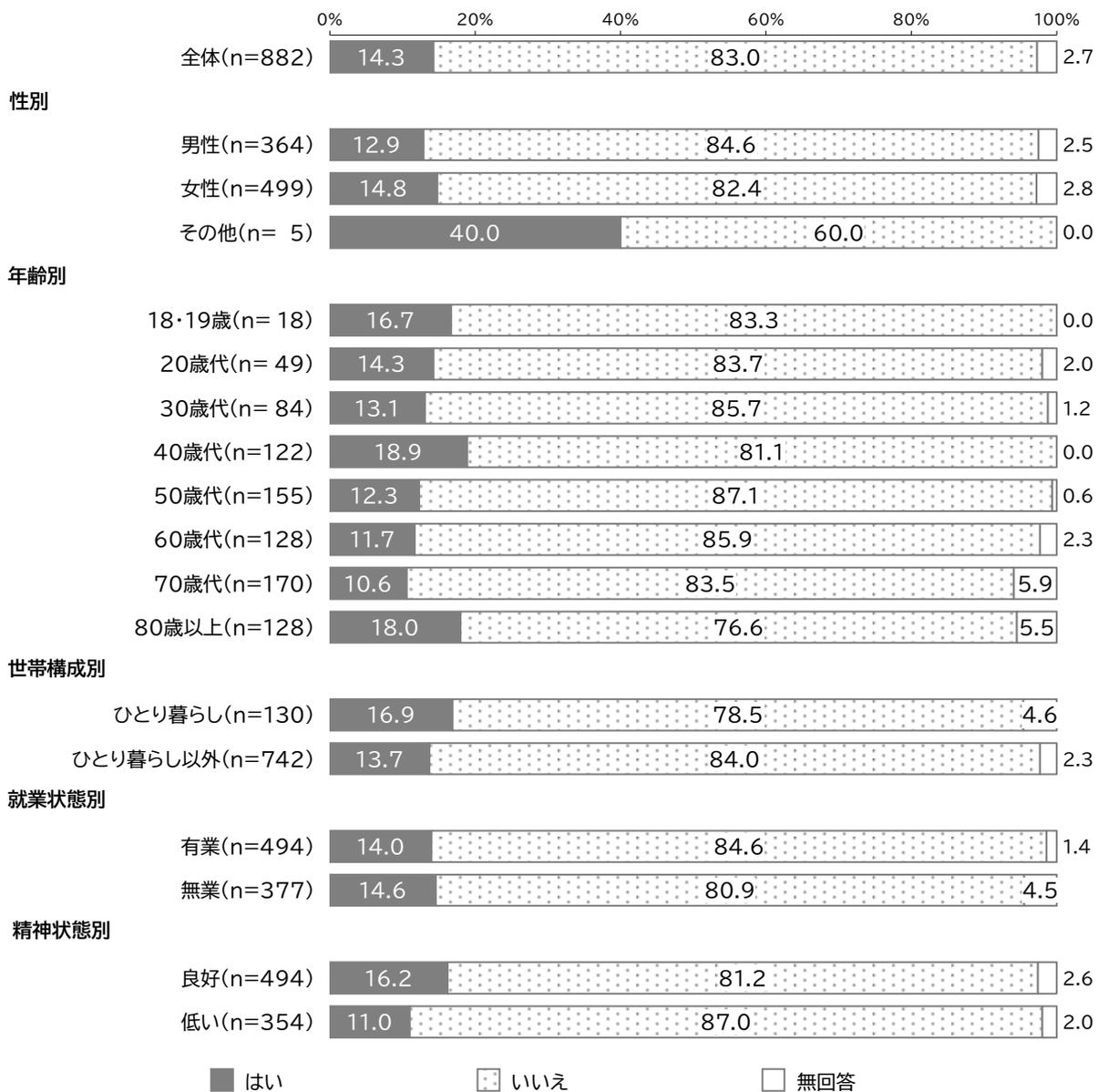
問15 あなたは、八尾市保健所で精神保健福祉相談を受けられることを知っていますか。(〇は1つ)

八尾市保健所で精神保健福祉相談を受けられることの認知度をみると、「はい」と回答した割合が 14.3%、「いいえ」と回答した割合が 83.0%となっています。

年齢別にみると、40歳代と80歳以上で「はい」の割合が2割弱と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「はい」の割合が、良好なグループよりも 5.2ポイント低くなっています。

図 「八尾市保健所精神保健福祉相談」の認知度



あなたは、「八尾市ころといのちの相談」という電話相談があることを知っていますか。(〇は1つ)

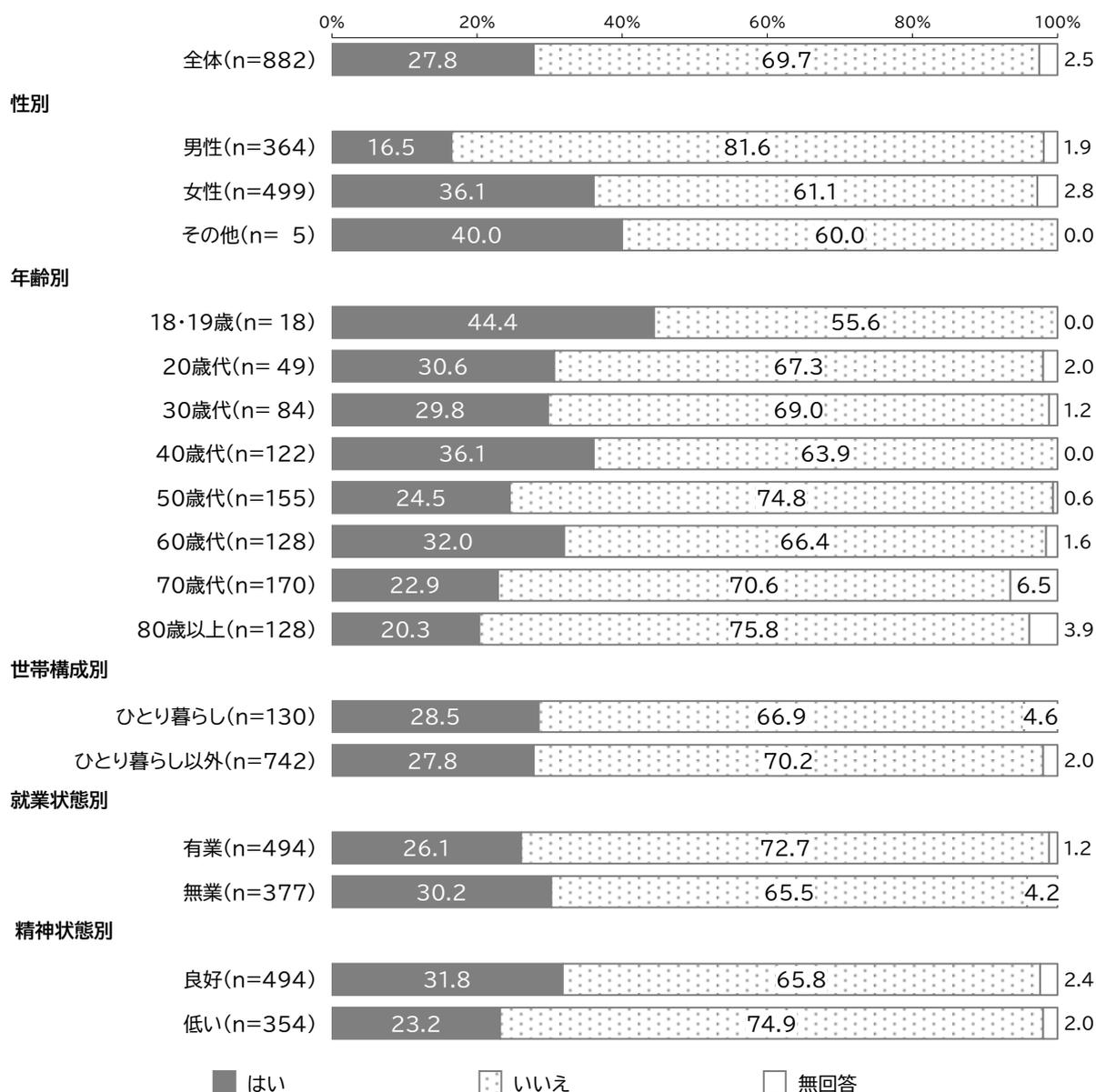
「八尾市ころといのちの相談」の認知度とみると、「はい」と回答した割合が 27.8%、「いいえ」と回答した割合が 69.7%となっています。

性別にみると、女性の「はい」の割合が、男性よりも約 20 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「はい」の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で4割台となっています。

精神状態別にみると、低いグループの「はい」の割合が、良好なグループよりも 8.6 ポイント低くなっています。

図 「八尾市ころといのちの相談」の認知度



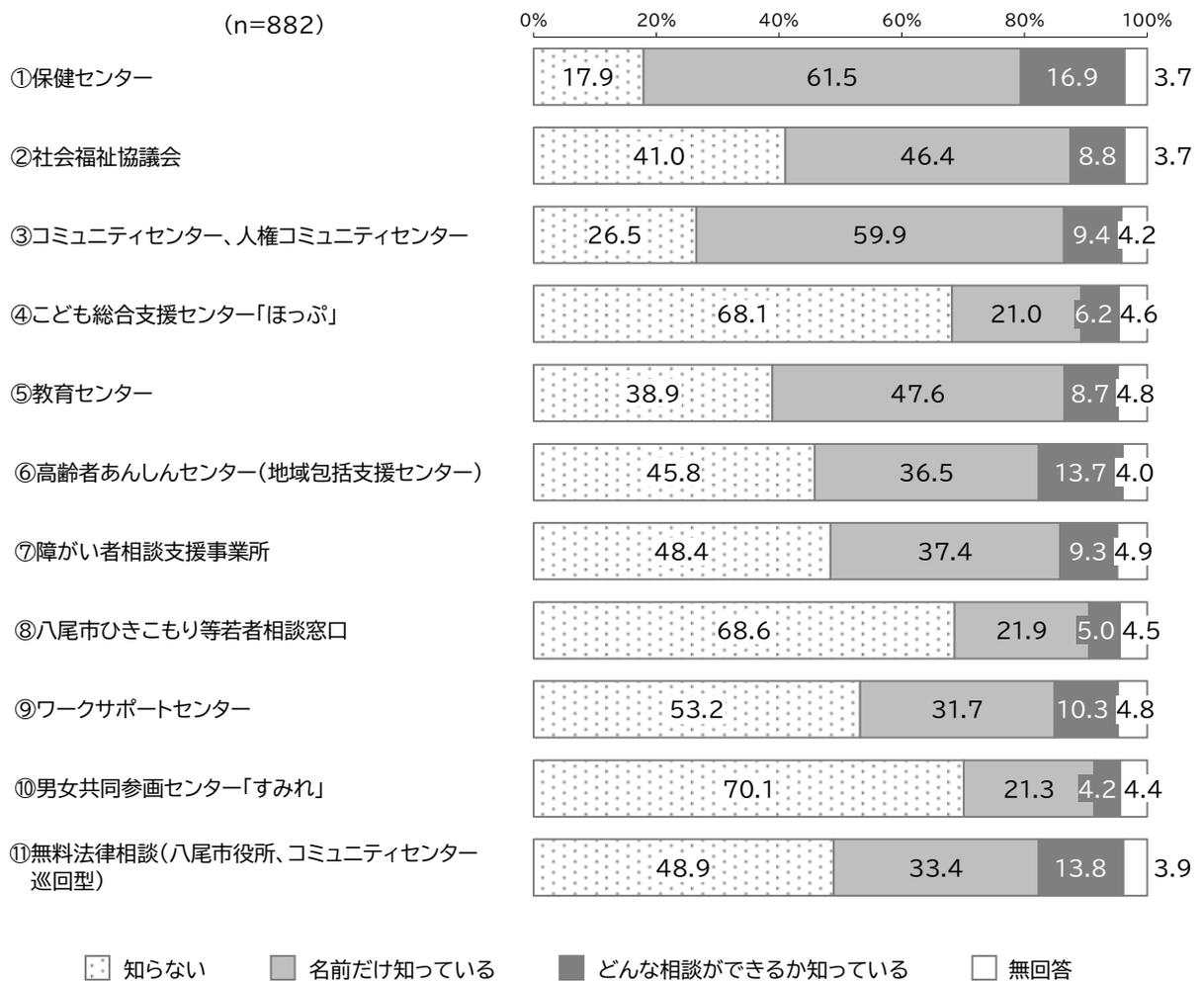
## (6)相談窓口の認知度

問16 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。(①から⑪について、それぞれ〇は1つ)

相談窓口の認知度をみると、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合は、高い項目でも1割台で、「①保健センター」(16.9%)、「⑪無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)」(13.8%)、「⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)」(13.7%)の順で高くなっています。

一方で「知らない」と回答した割合は、「⑩男女共同参画センター「すみれ」」(70.1%)、「⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口」(68.6%)、「④子ども総合支援センター「ほっぷ」」(68.1%)の順で高くなっています。

図 相談窓口の認知度



## ①保健センター

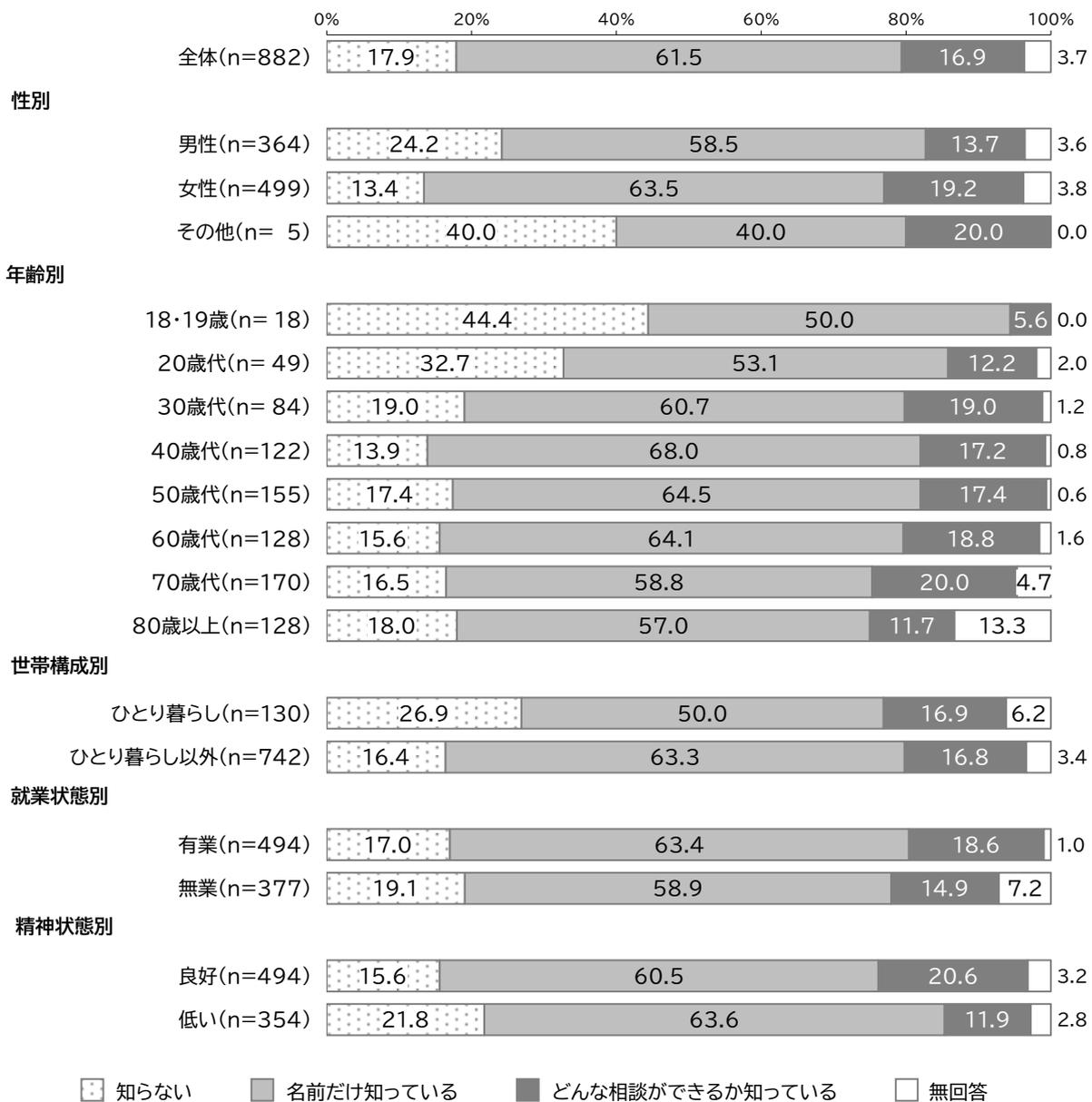
保健センターの認知度について、「名前だけ知っている」と回答した割合が61.5%で最も高く、次いで「知らない」と回答した割合が17.9%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が16.9%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも約10ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、18・19歳で4割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約10ポイント高くなっています。

図 ①保健センター



## ②社会福祉協議会

社会福祉協議会の認知度について、「名前だけ知っている」と回答した割合が 46.4%で最も高く、次いで「知らない」と回答した割合が 41.0%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が 8.8%となっています。

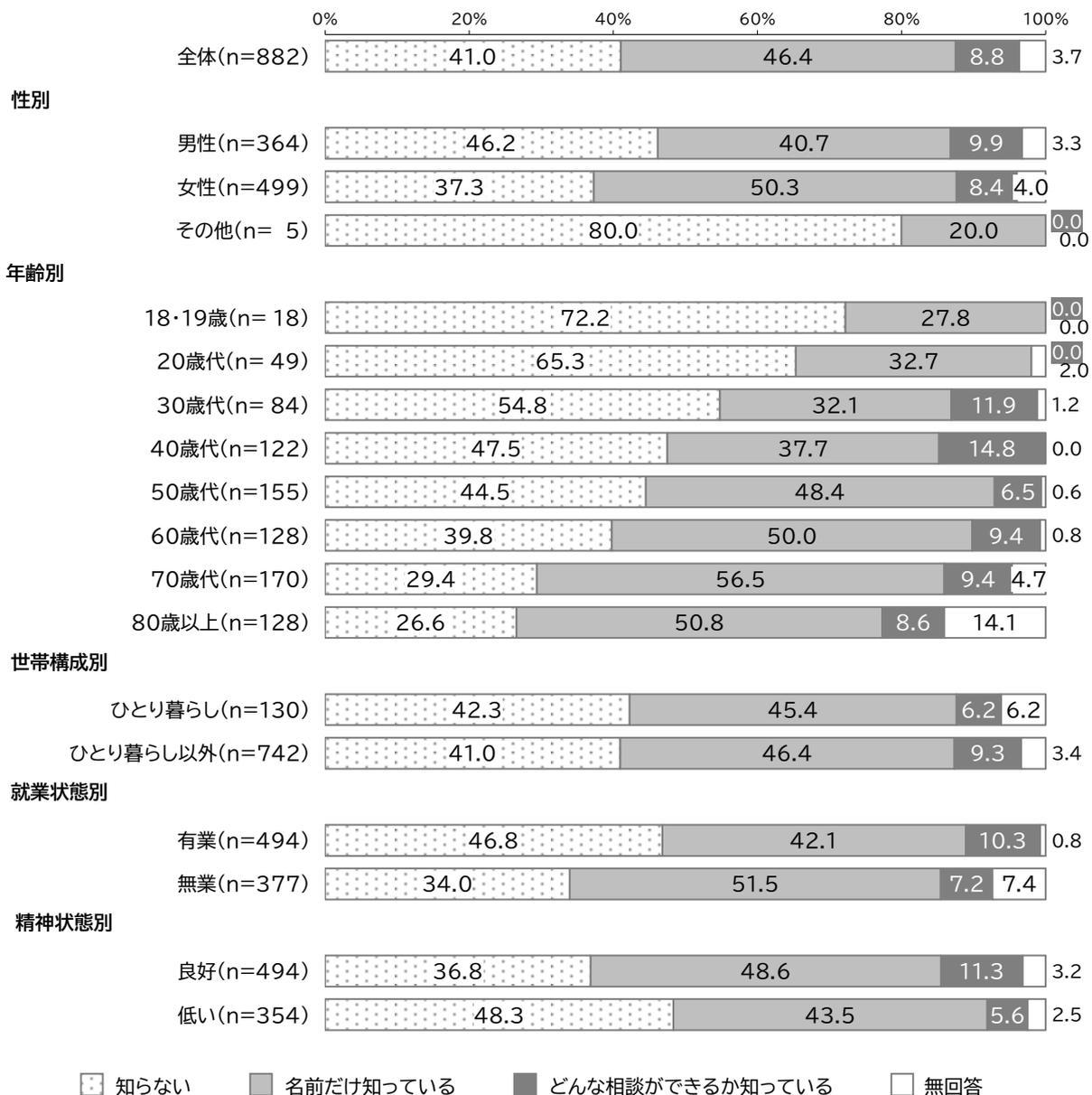
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 8.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で7割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも 10 ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「知らない」の割合が、良好なグループよりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ②社会福祉協議会



### ③コミュニティセンター、人権コミュニティセンター

コミュニティセンター、人権コミュニティセンターの認知度について、「名前だけ知っている」と回答した割合が 59.9%で最も高く、次いで「知らない」と回答した割合が 26.5%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が 9.4%となっています。

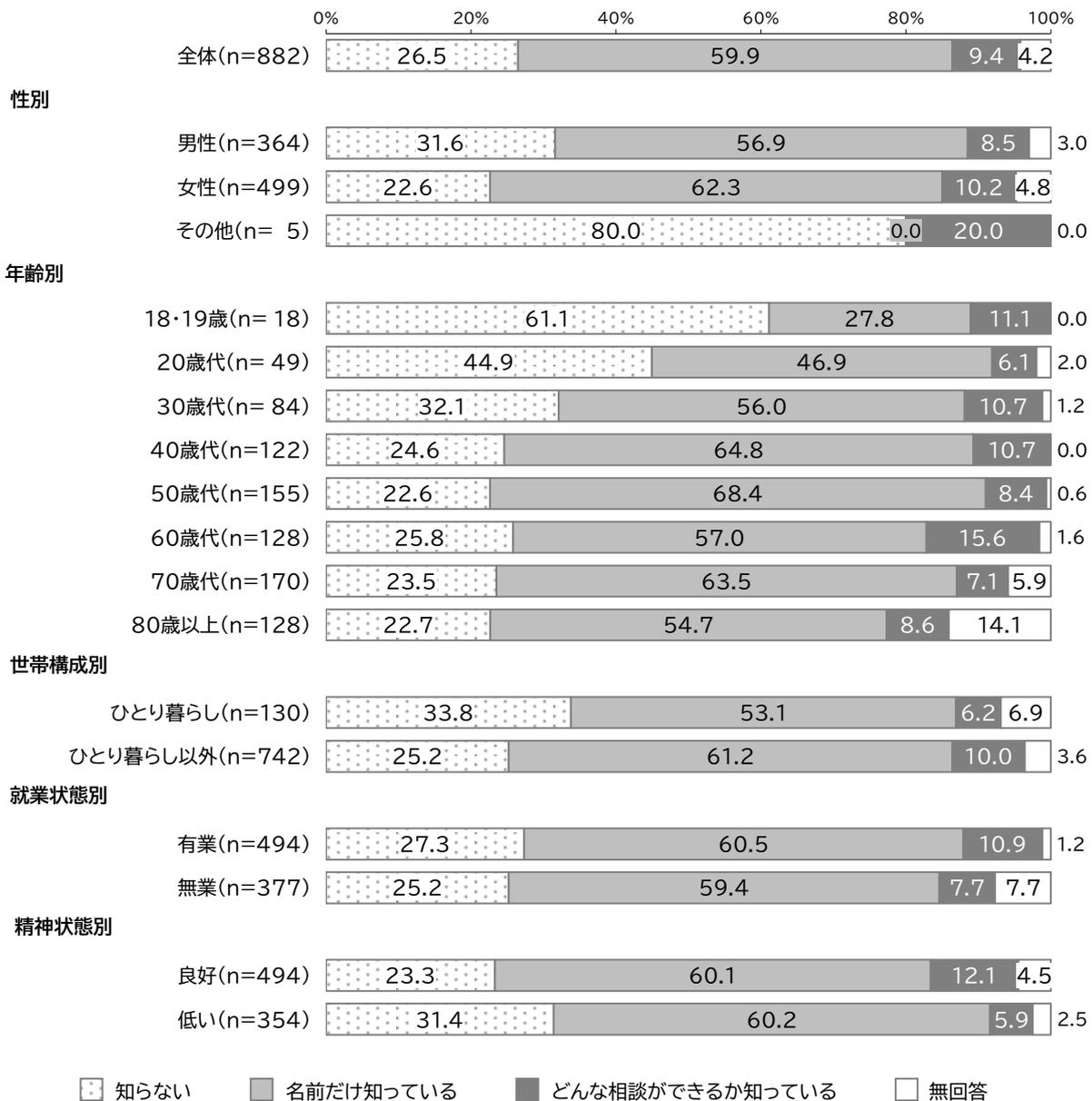
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 9.0 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で6割程度となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 8.6 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「知らない」の割合が、良好なグループよりも 8.1 ポイント高くなっています。

図 ③コミュニティセンター、人権コミュニティセンター



#### ④こども総合支援センター「ほっぷ」

こども総合支援センター「ほっぷ」の認知度について、「知らない」と回答した割合が 68.1%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」と回答した割合が 21.0%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が 6.2%となっています。

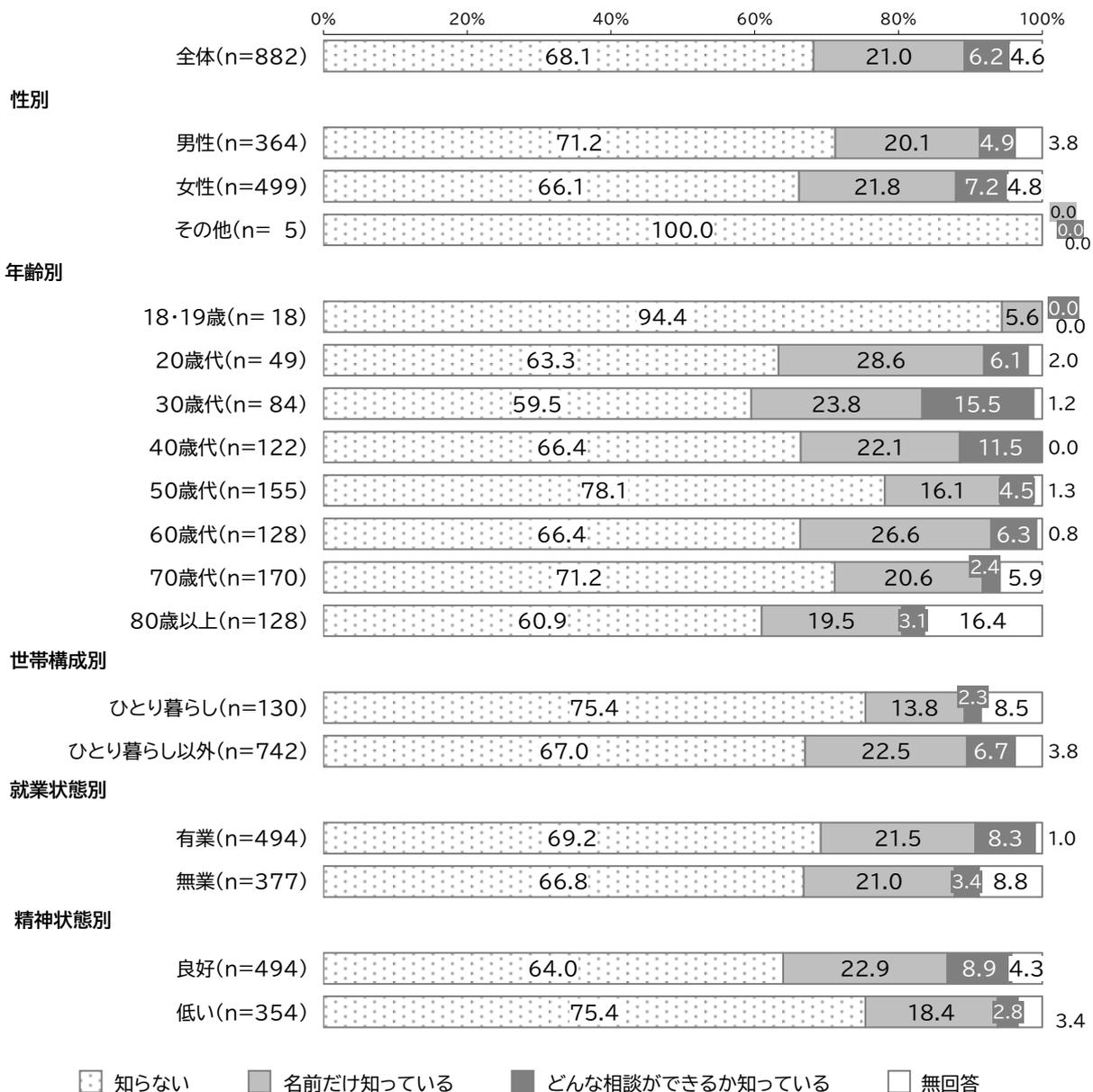
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 5.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、18・19 歳で「知らない」の割合が9割台と、他の年代に比べて特に高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 8.4 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「知らない」の割合が、良好なグループよりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ④こども総合支援センター「ほっぷ」



## ⑤教育センター

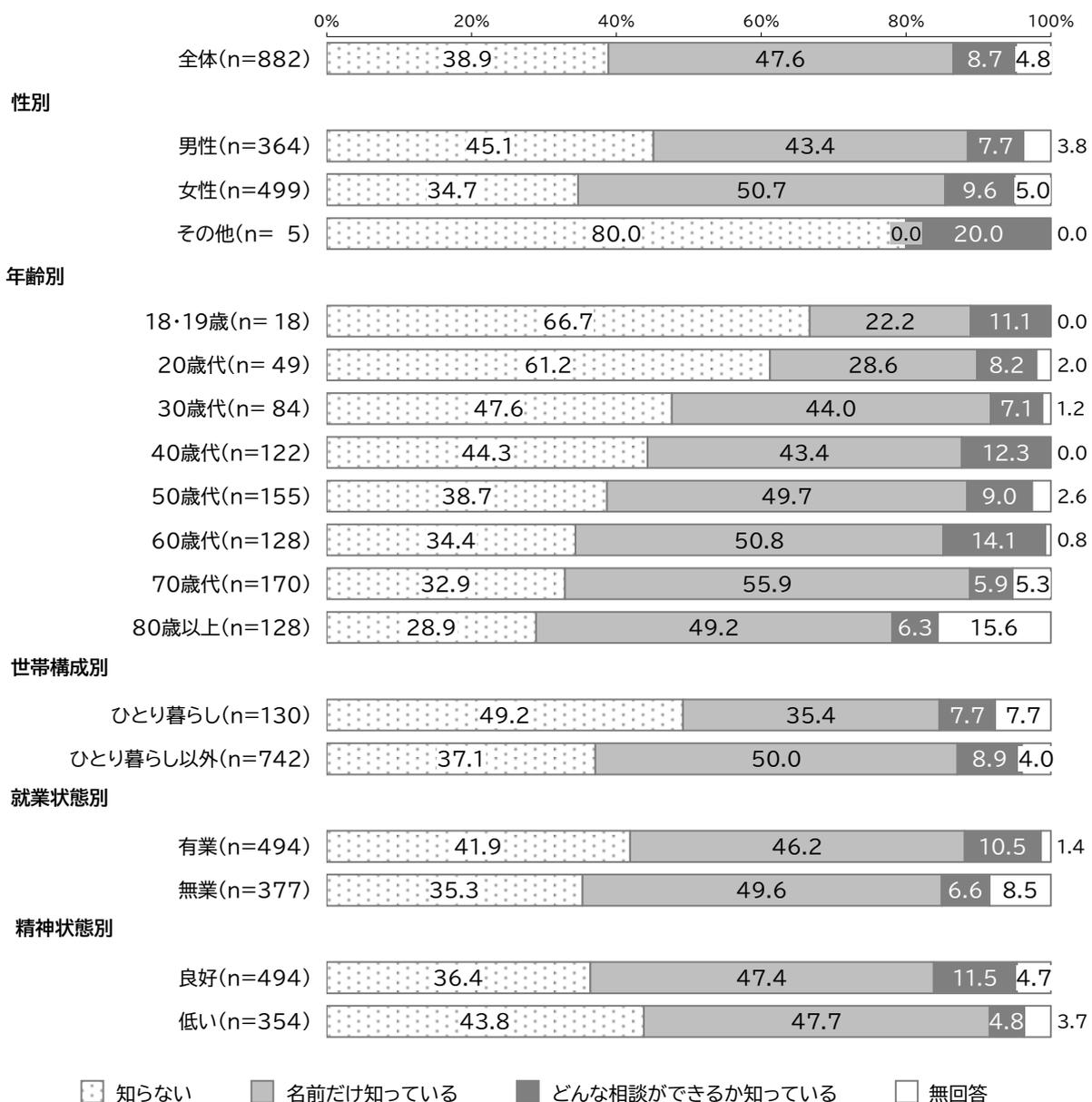
教育センターの認知度について、「名前だけ知っている」と回答した割合が47.6%で最も高く、次いで「知らない」と回答した割合が38.9%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が8.7%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも約10ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、20歳代以下で6割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも10ポイント以上高くなっています。

図 ⑤教育センター



## ⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)

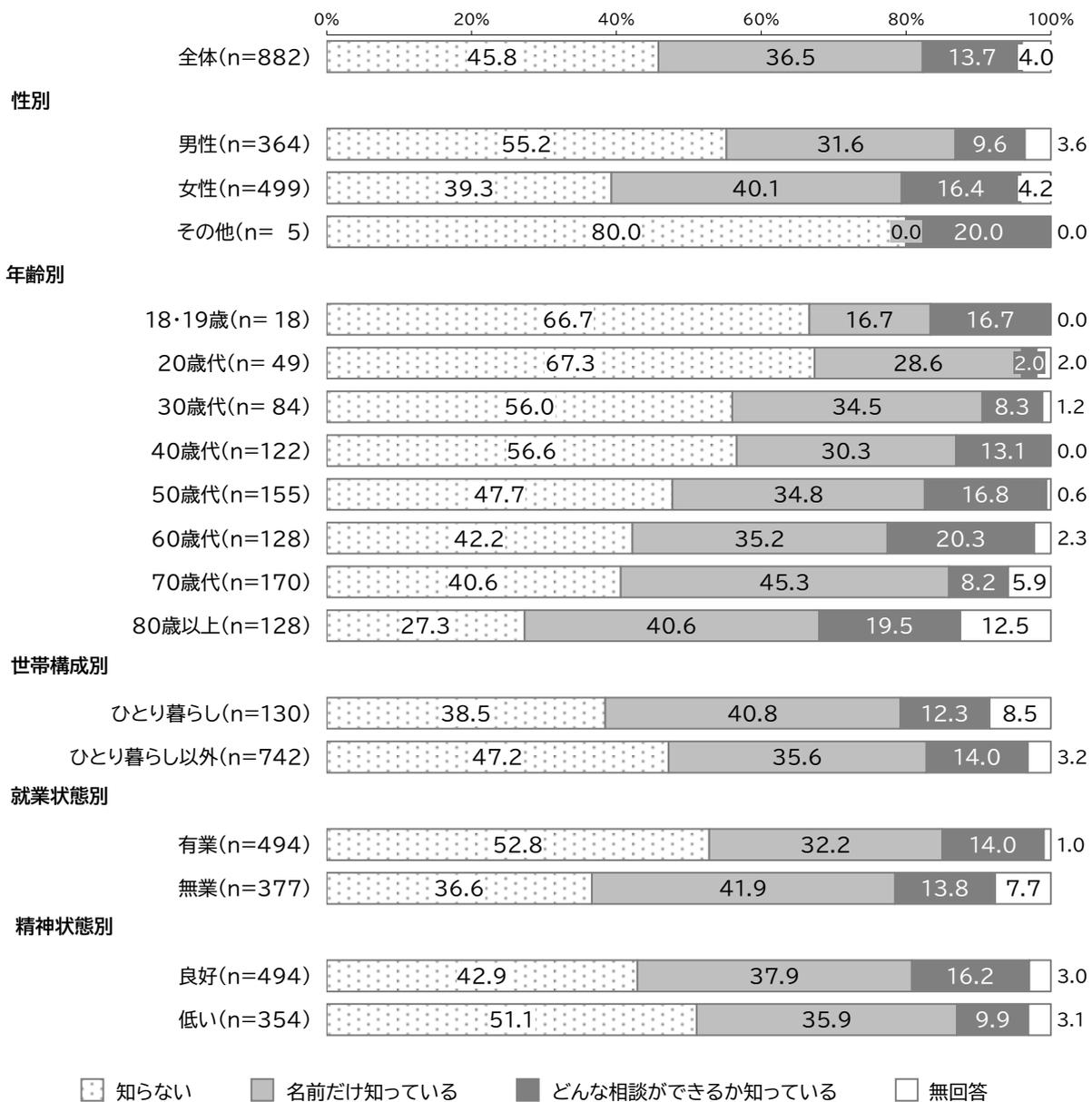
高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)の認知度について、「知らない」と回答した割合が45.8%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」と回答した割合が36.5%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が13.7%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも約15ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、20歳代以下で6割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも15ポイント以上高くなっています。

図 ⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)



### ⑦障がい者相談支援事業所

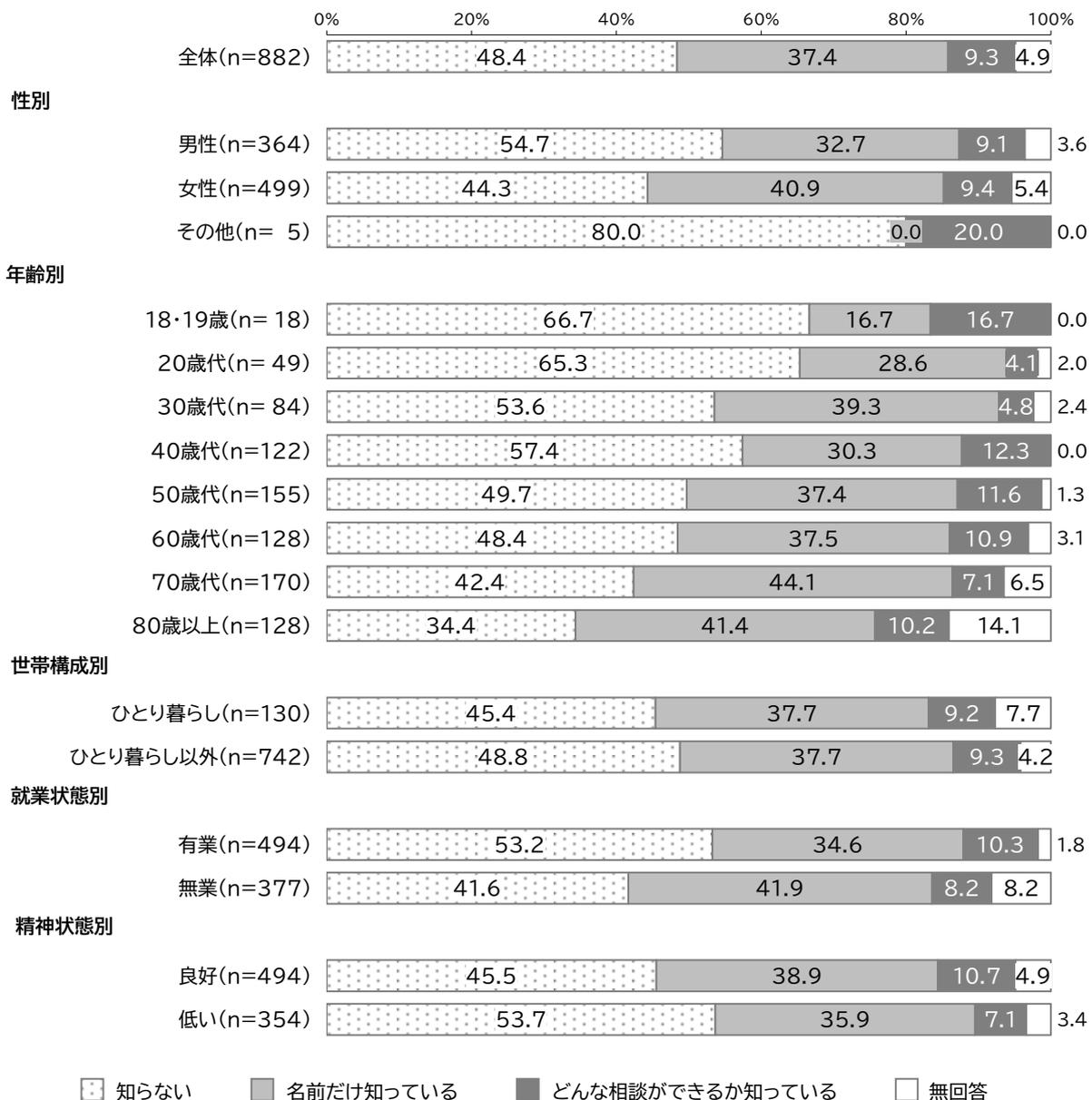
障がい者相談支援事業所の認知度について、「知らない」と回答した割合が 48.4%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」と回答した割合が 37.4%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が 9.3%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも約 10 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代以下で6割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも 10 ポイント以上高くなっています。

図 ⑦障がい者相談支援事業所



### ⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口

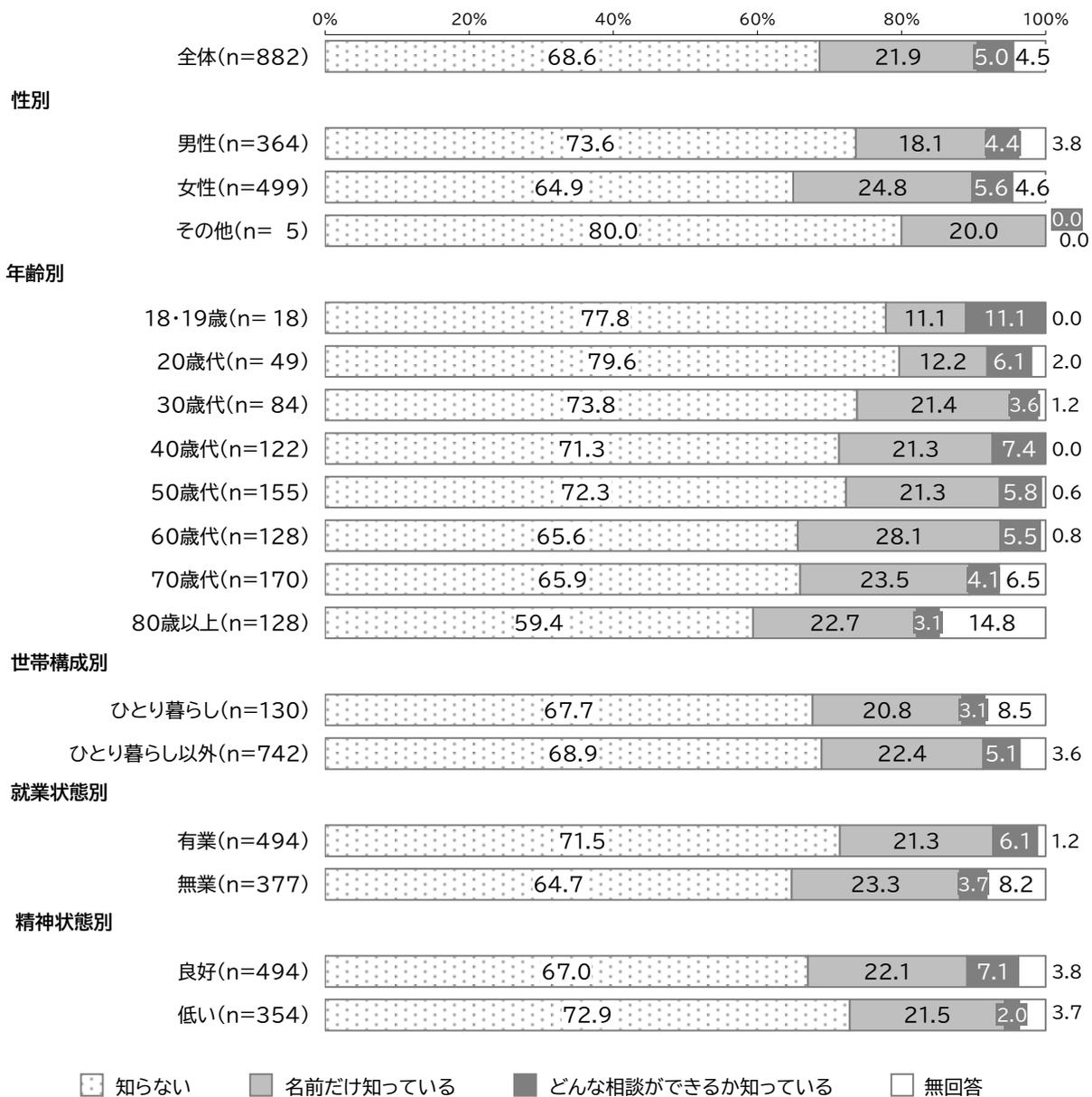
八尾市ひきこもり等若者相談窓口の認知度について、「知らない」と回答した割合が 68.6%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」と回答した割合が 21.9%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が 5.0%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 8.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代で約8割となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも 6.8 ポイント高くなっています。

図 ⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口



### ⑨ワークサポートセンター

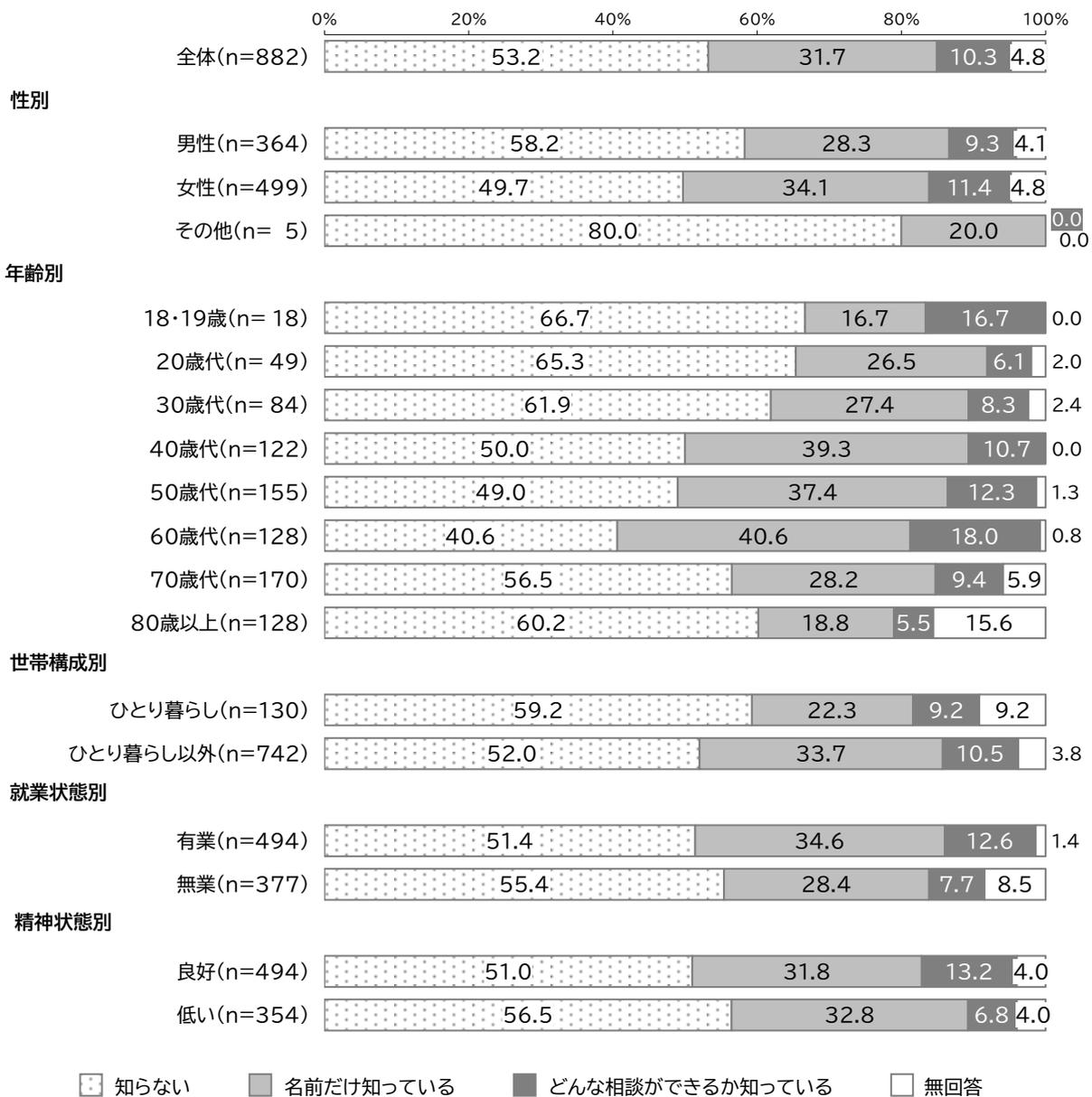
ワークサポートセンターの認知度について、「知らない」と回答した割合が 53.2%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」と回答した割合が 31.7%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が 10.3%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 8.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、60 歳代で「知らない」の割合が4割台と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 7.2 ポイント高くなっています。

図 ⑨ワークサポートセンター



## ⑩男女共同参画センター「すみれ」

男女共同参画センター「すみれ」の認知度について、「知らない」と回答した割合が70.1%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」と回答した割合が21.3%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が4.2%となっています。

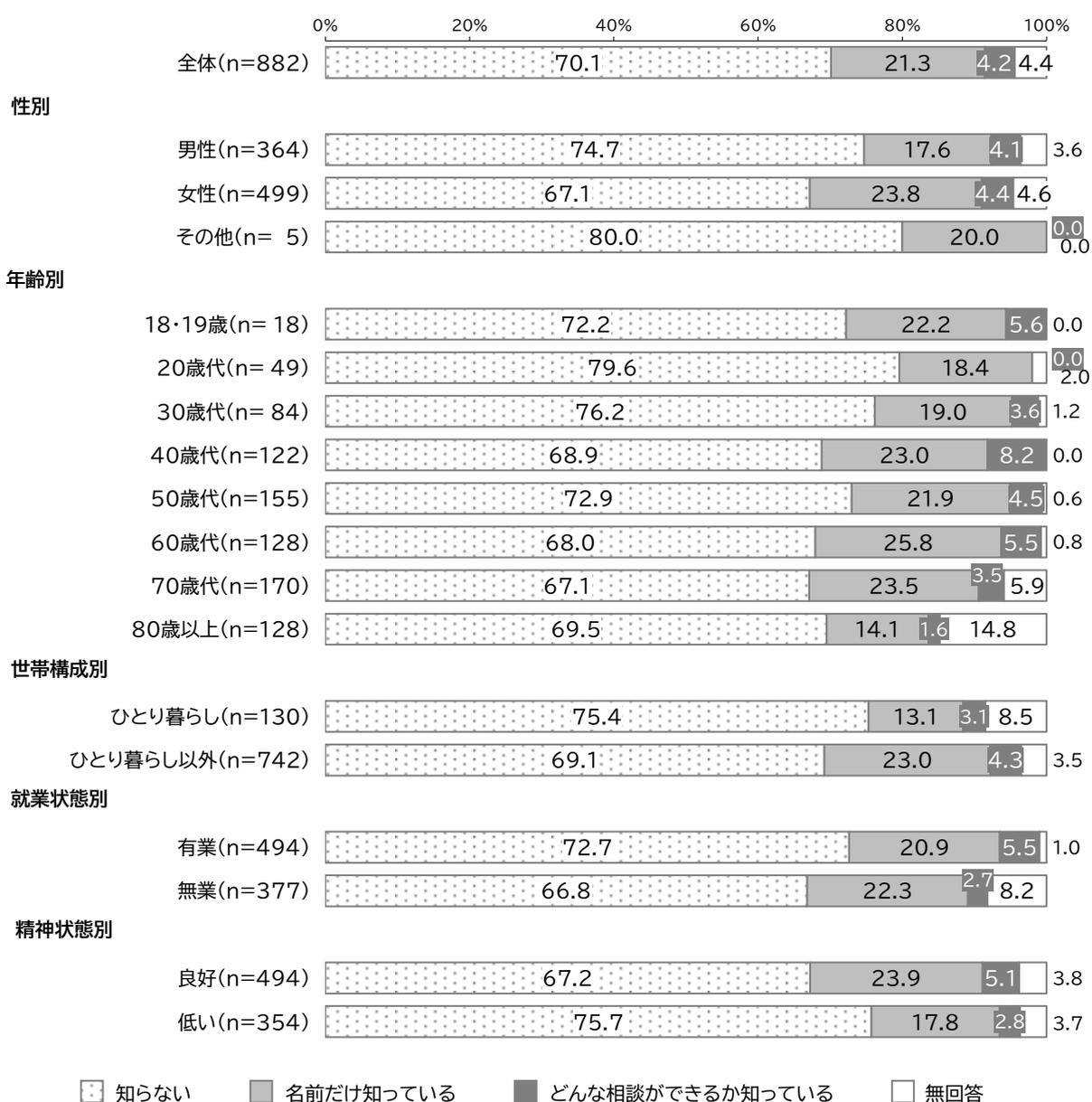
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも7.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、いずれの年齢層も「知らない」の割合が6～7割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも6.3ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「知らない」の割合が、良好なグループよりも8.5ポイント高くなっています。

図 ⑩男女共同参画センター「すみれ」



①無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)

無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)の認知度について、「知らない」と回答した割合が48.9%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」と回答した割合が33.4%、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合が13.8%となっています。

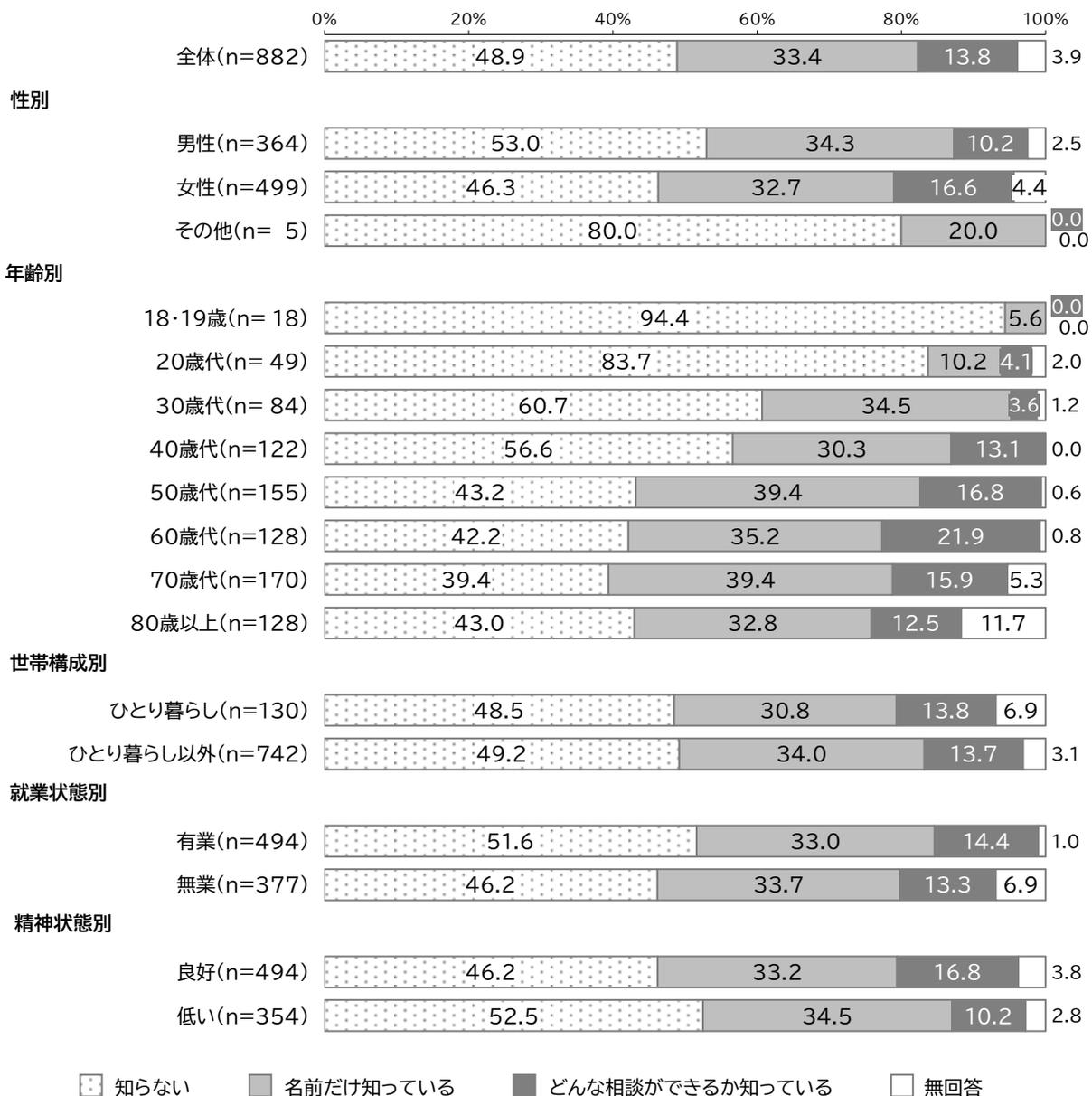
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも6.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、18・19歳で9割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも5.4ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、低いグループの「知らない」の割合が、良好なグループよりも6.3ポイント高くなっています。

図 ①無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)



## 5 自殺対策・予防等について

### (1)身近な方の自殺を経験した方の有無

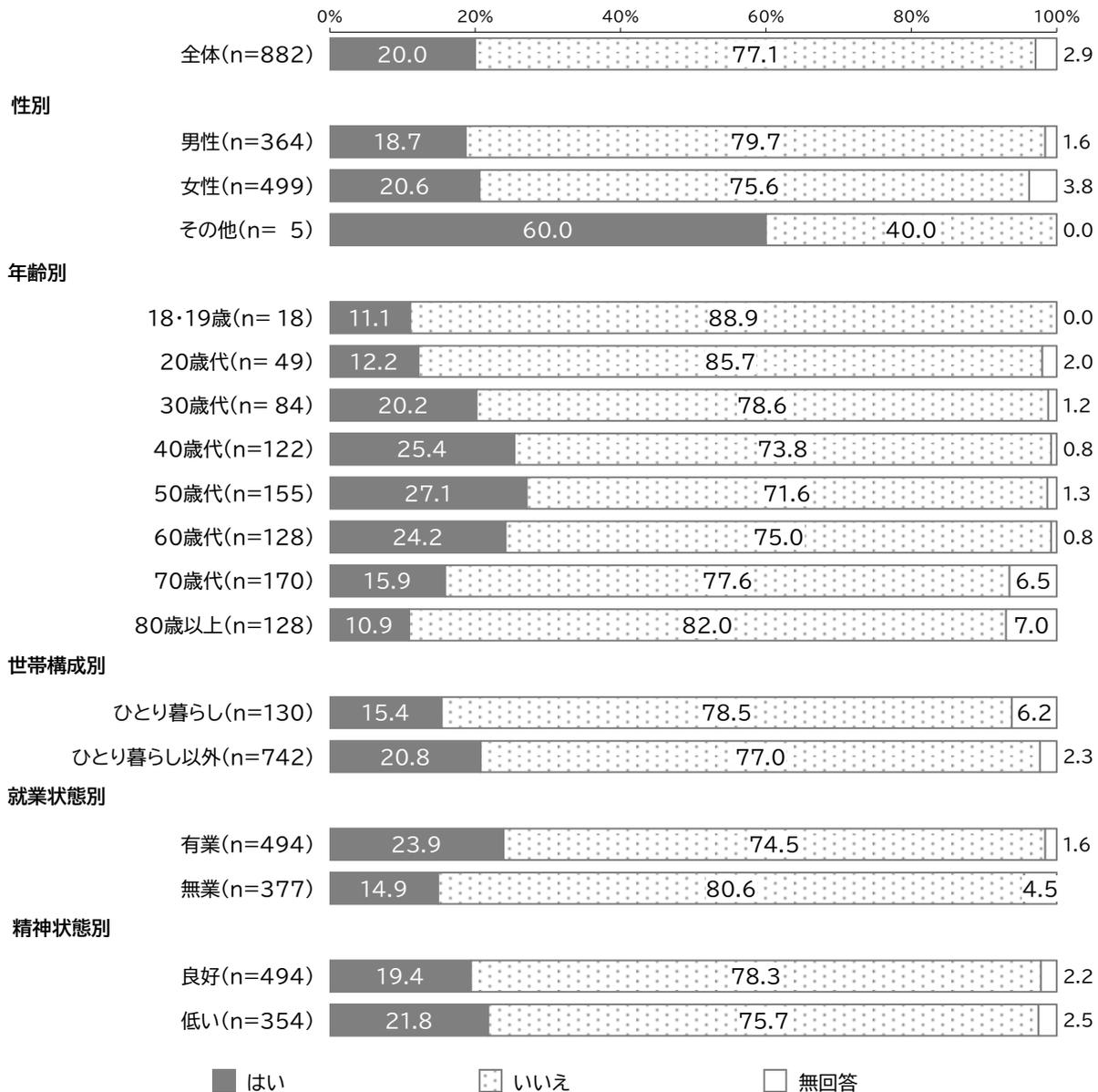
問17 あなたまたはあなたの身近な方で、身近な方の自殺（自死）を経験した方をご存知ですか。（〇は1つ）

身近な方の自殺を経験した方を知っているかどうかでは、「はい」と回答した割合が 20.0%、「いいえ」と回答した割合が 77.1%となっています。

年齢別にみると、「はい」の割合は 30 歳代～60 歳代が他の年代に比べて高く、50 歳代で 27.1%となっています。

就業状態別にみると、有業者の「はい」の割合が、無業者よりも 9.0 ポイント高くなっています。

図 身近な方の自殺を経験した方の有無



## (2)身近な方の自殺を経験した方に起きた影響

問17で「1. はい」と回答された方にお聞きします。複数の事例がある場合は、直近の一例についてお答えください。

問17-1 自殺（自死）を身近に経験された方は、自殺（自死）の起こった後、どんなことで困ってましたか。該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

身近な方の自殺を経験した方に起きた影響をみると、「身近な方を亡くした悲しみ」と回答した割合が61.9%で最も高く、次いで「精神的健康の悪化」と回答した割合が26.7%、「自殺(自死)についての家族や親族の理解」と回答した割合が18.8%となっています。

年齢別にみると、「身近な方を亡くした悲しみ」の割合は50歳代～60歳代が他の年代に比べて高く、どちらの年代も7割台となっています。

精神状態別にみると、低いグループの「身近な方を亡くした悲しみ」の割合が、良好なグループよりも7.5ポイント高くなっています。

図 身近な方の自殺を経験した方に起きた影響

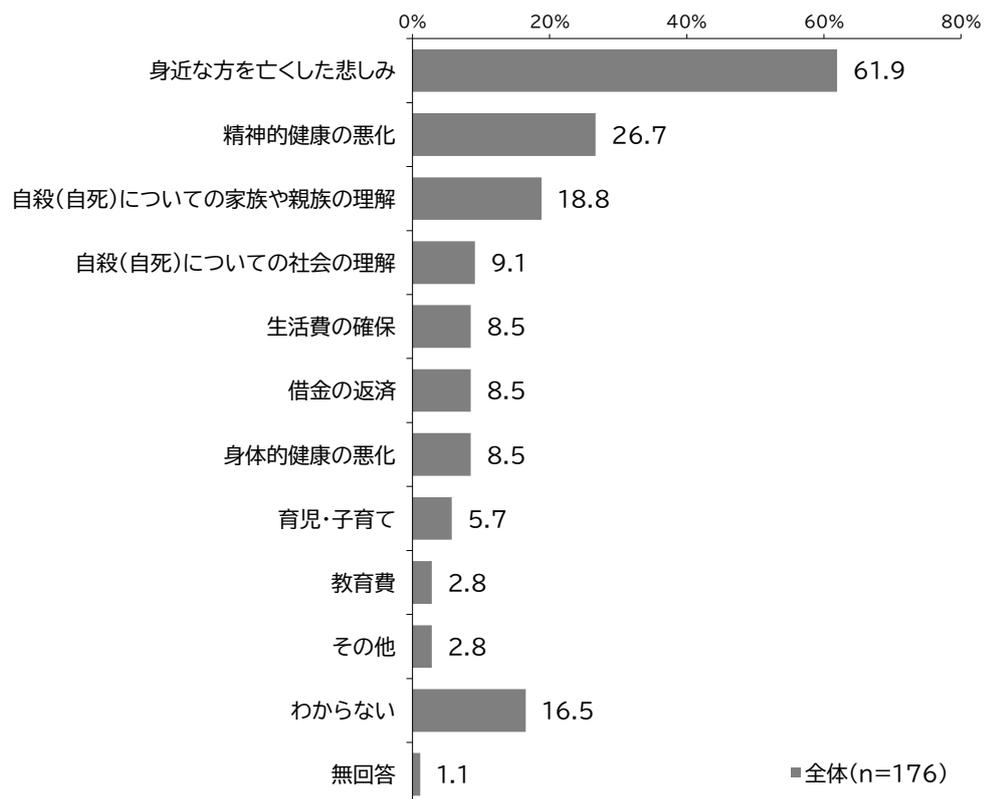


表 身近な方の自殺を経験した方に起きた影響

		回答者数(n)	身近な方を亡くした悲しみ	精神的健康の悪化	解の家族や親族の理	自殺(自死)についての社会的理解	生活費の確保	借金の返済	身体的健康の悪化	育児・子育て
全体		176	61.9	26.7	18.8	9.1	8.5	8.5	8.5	5.7
性別	男性	68	60.3	23.5	13.2	10.3	8.8	10.3	5.9	2.9
	女性	103	65.0	29.1	22.3	7.8	7.8	7.8	9.7	7.8
	その他	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-
年齢別	18・19 歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	20 歳代	6	83.3	-	-	-	-	-	-	-
	30 歳代	17	52.9	29.4	11.8	5.9	11.8	5.9	17.6	5.9
	40 歳代	31	67.7	38.7	16.1	9.7	9.7	9.7	6.5	3.2
	50 歳代	42	76.2	26.2	23.8	11.9	9.5	11.9	4.8	4.8
	60 歳代	31	74.2	35.5	22.6	16.1	3.2	9.7	6.5	9.7
	70 歳代	27	37.0	11.1	18.5	3.7	11.1	11.1	7.4	7.4
	80 歳以上	14	50.0	28.6	14.3	-	7.1	-	21.4	7.1
世帯構成別	ひとり暮らし	20	55.0	30.0	20.0	5.0	5.0	10.0	10.0	-
	ひとり暮らし以外	154	63.6	26.0	18.2	9.1	8.4	8.4	7.8	6.5
就業状態別	有業	118	64.4	28.0	19.5	10.2	10.2	11.0	7.6	5.9
	無業	56	57.1	23.2	16.1	5.4	3.6	3.6	8.9	5.4
精神状態別	良好	96	64.6	25.0	16.7	5.2	8.3	9.4	6.3	6.3
	低い	77	57.1	29.9	19.5	10.4	7.8	7.8	11.7	3.9

		回答者数(n)	教育費	その他	わからない	無回答
全体		176	2.8	2.8	16.5	1.1
性別	男性	68	1.5	2.9	17.6	-
	女性	103	2.9	1.9	13.6	1.9
	その他	3	33.3	33.3	33.3	-
年齢別	18・19 歳	2	-	50.0	50.0	-
	20 歳代	6	-	-	16.7	-
	30 歳代	17	5.9	5.9	29.4	-
	40 歳代	31	3.2	-	16.1	3.2
	50 歳代	42	2.4	-	11.9	-
	60 歳代	31	3.2	-	9.7	-
	70 歳代	27	-	7.4	14.8	-
	80 歳以上	14	-	-	14.3	7.1
世帯構成別	ひとり暮らし	20	-	-	20.0	-
	ひとり暮らし以外	154	2.6	2.6	15.6	1.3
就業状態別	有業	118	3.4	1.7	16.9	0.8
	無業	56	-	3.6	16.1	1.8
精神状態別	良好	96	2.1	3.1	14.6	1.0
	低い	77	2.6	2.6	19.5	1.3

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

